

平成 21 年度森林環境税活用事業実績 (HP 限定)

県民参加による 「森林環境の保全」と 「森林と共生する文化の創造」 をめざして



愛 媛 県

みんなの力で元氣もりもり



森林は
わたしたちの
財産です

E ~ もりくん

目 次

| | |
|------------------------|----------|
| 愛媛県森林環境税導入の経緯 | 1 |
| 森林環境税を活用した施策の仕組み | 7 |
| 森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値 | 8 |
| 平成21年度事業実績 | |
| 1 事業総括表 | 9 |
| 2 事業別実績 | |
| （1）県指定事業 | |
| ・ えひめ漁民の森づくり実践活動事業 | 10 |
| ・ 条件不利森林公的整備事業 | 12 |
| ・ 森林そ生集団間伐促進事業 | 14 |
| ・ 集落等山地災害危険地区整備事業 | 18 |
| ・ 松林保全事業 | 20 |
| ・ 森林そ生緊急対策事業 | 22 |
| ・ 木質バイオマス利用促進事業 | 24 |
| ・ えひめ材住宅普及啓発事業 | 26 |
| ・ 公共施設木材利用推進事業 | 28 |
| ・ 県立学校校舎整備事業 | 30 |
| ・ 自然公園木製施設整備事業 | 32 |
| ・ 木の香る公園施設整備事業 | 34 |
| ・ えひめ材の家づくり促進支援事業 | 36 |
| ・ バイオマスペレット利活用総合対策事業費 | 38 |
| ・ 木の香る環境整備支援事業 | 40 |
| ・ 愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業 | 42 |
| ・ 県民と森との交流促進事業 | 44 |
| ・ 県民参加の森設置・提供事業 | 48 |
| ・ 「森はともだち」推進事業 | 54 |
| ・ 自然観察会開催事業 | 56 |
| ・ 森とのふれあい活動促進事業 | 58 |
| ・ フォレスト・マイスター養成支援事業 | 60 |
| ・ 林業普及指導事業 | 62 |
| ・ 「森のめぐみ 木のものがたり展」開催事業 | 64 |
| ・ 「森の学校」開催事業 | 66 |
| （2）公募事業 | |
| ・ 県民参加の森づくり公募事業 | 68 |
| 資料編・税制度の概要 | |
| ・ 愛媛県森林環境税条例 | |
| ・ 愛媛県森林環境保全基金条例 | |
| ・ 愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿 | |
| ・ 森林環境税普及啓発用ロゴマーク・ポスター | |

表紙写真：森林環境税普及啓発用ポスター（作者：福田礼花）

森林環境税導入の経緯

1 森林の働き

(1) 森林の持つ機能の種類

森林は、土砂の流出や崩壊を防ぐ機能、洪水や渇水を緩和する機能、風害や潮害を防ぐ機能、騒音や気候を緩和する機能、安らぎや憩いの場、教育的利用の場を提供するなどの保健・文化・教育的な機能、再生可能で環境に与える負荷も少ない木材の生産機能などを有しており、有形・無形に古くから私達の生活と深く関わっています。

特に最近では、地球温暖化防止に寄与する二酸化炭素を吸収・貯蔵する機能や多種多様な動植物の生息・生育の場を提供する生物多様性を保全する機能についても国際的に関心が高まりつつあるなど、森林に対する期待は多様化・高度化してきています。

(2) 森林の機能の評価

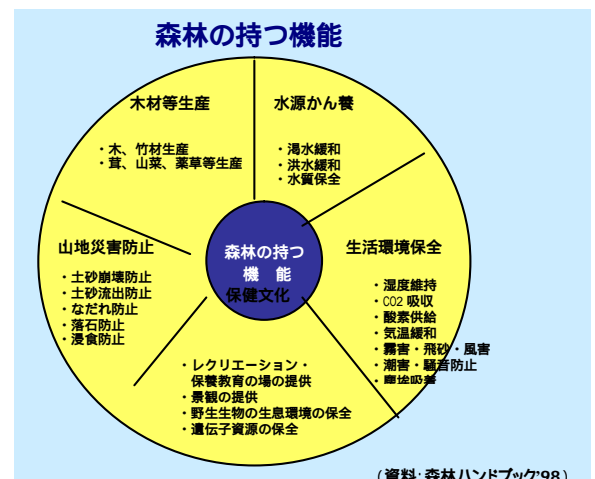
森林の機能については、本来、そのすべてを数値で評価することは不可能とされていますが、金額に置き換えることが可能な一部の公益的機能については、平成12年9月に林野庁から74兆9,900億とその評価額が公表されており、同じように愛媛県内の森林に置き換え算定したところ、1兆1,267億円となっています。

また、平成13年11月に日本学術会議が農林水産大臣に答申した「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価」では、年約70兆円と算定されています。

ただし、「森林の機能は総合的に発揮されるため、森林の価値を個々に評価し、単純に集計することは、森林の本質を正しく伝えられない可能性がある」こと、また「ひとつの機能を評価した場合、それ以外の機能が無視される傾向がある」ことなどに注意する必要があるとしています。

(3) 機能に応じた森林の取り扱い

県では、森林が有する主要な機能である水源かん養機能、山地災害防止機能、生活環境保全機能、保健文化機能、木材生産機能の5機能を考慮し、「水土保持林（水源かん養・山地災害防止機能の高度発揮を図る）」、「森林と人との共生林（生活環境・保健文化機能の高度発揮を図る）」、「資源循環利用林（木材生産機能の高度発揮を図る）」の



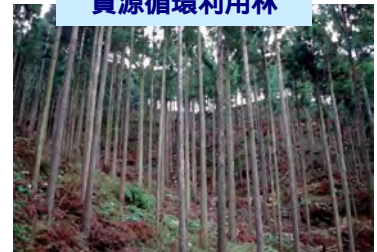
水土保持林



森林と人との共生林

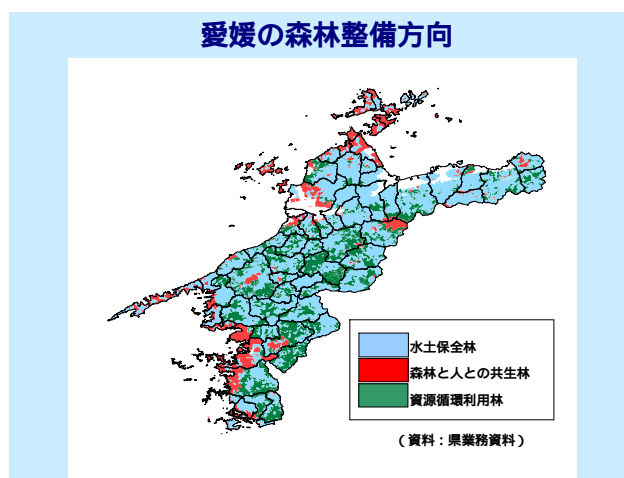


資源循環利用林



の3つに区分し、目的に応じた森林整備を推進することとしています。

県内の森林を、このように分類すると、水土保持林が63%、森林と人との共生林12%、資源循環利用林が25%となり、水土保持林は「県内のほぼ全域」、森林と人との共生林は「人口集中地域の近郊、国立及び国定公園、県立自然公園の区域」、資源循環利用林は「人工林として管理している森林」に多く分布しています。



2 愛媛の森林の現状

(1) 愛媛の森林の特徴

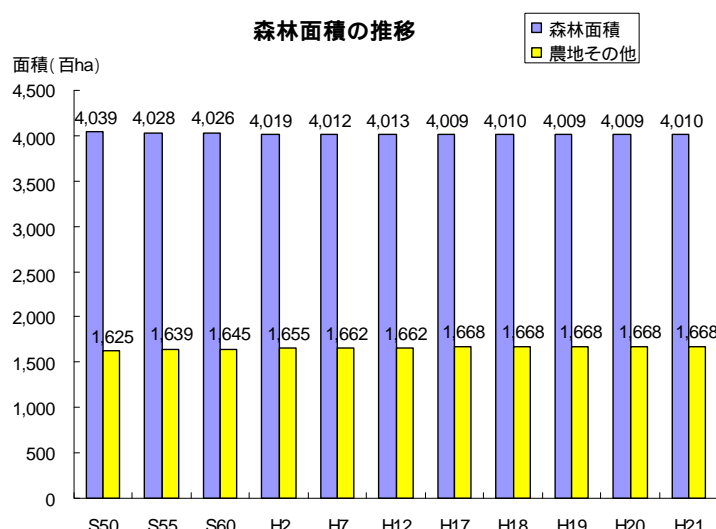
愛媛の森林面積は、平成21年度末現在、県総土地面積567,773haの71%に当たる400,982haとなっており、うち民有林面積の占める割合が90%、残り10%を国有林が占めています。民有林における人工林率は、戦後の積極的な植林によって62% (222,437ha) となっており、その内訳はスギ48% (106,998ha)、ヒノキ49% (108,603ha)、マツその他3% (6,836ha) となっています。

また、県内の森林から伐り出されている素材の生産量は、平成21年末現在で46万6千 m^3 で全国第11位で、四国では森林面積が愛媛よりも広い高知県を4万 m^3 超上回り、四国1位の生産量となっています。

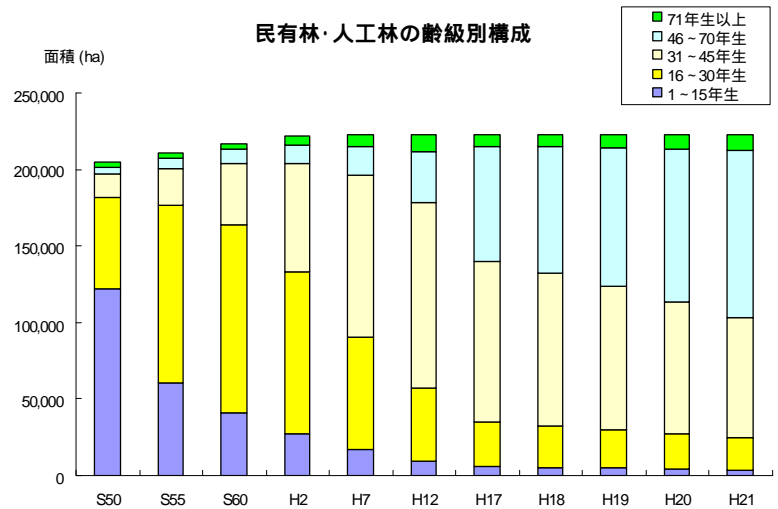
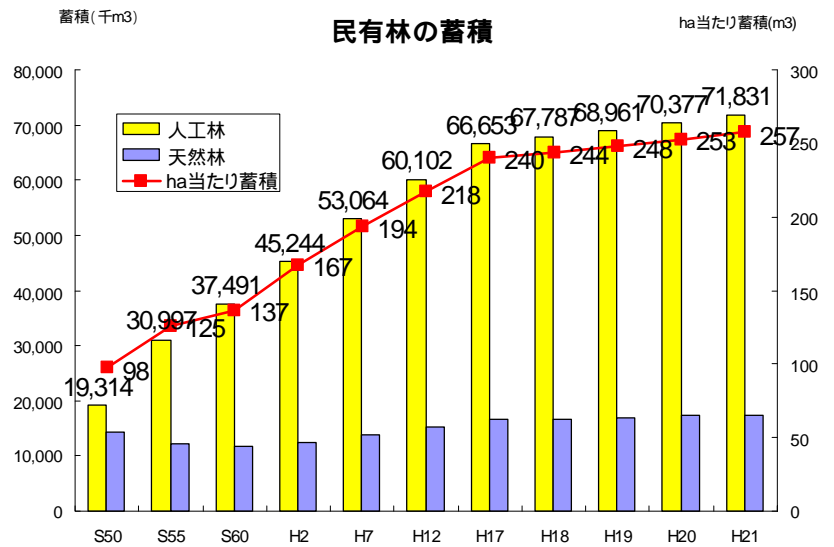
(2) 愛媛の森林の変遷

次に時系列で愛媛の森林の概要を見ると、平成21年の森林面積は昭和50年の403,900haと比べると約3,000ha減少していますが、森林の蓄積（立木の体積）は、昭和50年の約34万 m^3 に対して34年後の平成21年には89万3千 m^3 、2.6倍に増加しています。このうち、天然林の蓄積が横ばいで1.2倍にしかになっていないのに対して、人工林は植林による面積の増加、下刈や間伐などの保育作業の実施による植栽木の成長に伴い蓄積は3.7倍に増加しています。

この人工林の年齢構成を年齢別に見ると、昭和35年前後に植えられた46年～50年生の森林が最も多く45,562ha、また、除伐や間伐が必要な16年～45年生の森林が人工林面積の45% (99,177ha) を占めています。



しかし、人工造林が急速に進展し始めたのは、第二次大戦中の昭和10年代後半からであり、戦争資材確保のための緊急伐採に加え、戦後の住宅や道路、鉄道などの復興用の木材や熱エネルギー供給のための薪や木炭の原料としての木材の伐採などによる荒廃した森林の復旧に始まったもので、国土の保全、経済の再建・復興などその時代における国の政策などに応える形で造成されてきました。このことは、人工造林の樹種が、成長が早く主に建築用材として使われるスギ、ヒノキがほとんどであることからもうかがい知ることができます。



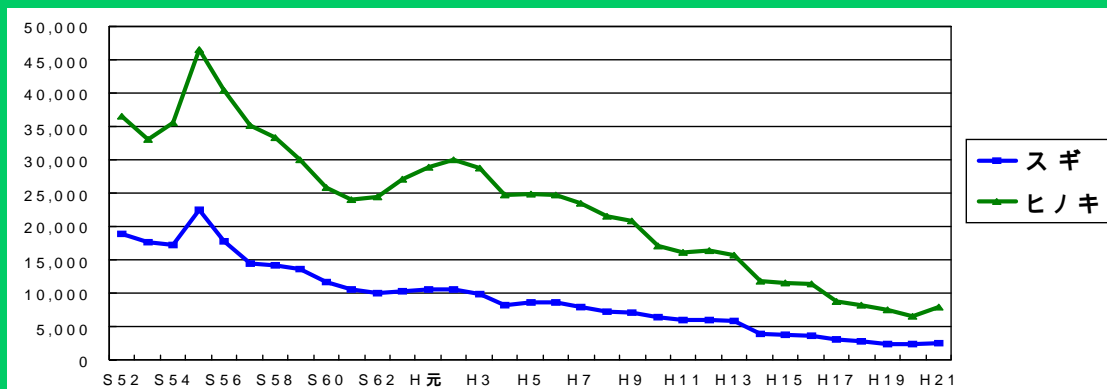
(3) 森林・林業を取り巻く状況

人工林の拡大は、昭和30年代における豊富な農山村の労働力等に支えられ、全国的な広がりを見せましたが、高度経済成長を担う急激な木材需要に応じるには若齢であり、利用可能な人工林が少なかったことなどから、外国産材の輸入が行われるようになり、今日では約8割を外国産材に頼らざるを得ない状況になっています。また、農山村から都会への人口流出、更には木材を代替する建築資材の台頭や生活様式の変化に伴う住宅の洋風化などの社会的要因により、間伐を行っても、その伐採された木材は売れない状況となってきています。このような理由から、造成された人工林も次第に管理不足や放置されるようになってきており、人工林は今、活力を失いつつあります。



これらの森林を守ってきた林家の林業経営状況等を見ると、県内の山元立木価格は、スギ・ヒノキともにピーク時だった昭和55年以降ずっと下落しており、1m³（柱に加工される長さ3mの丸太では20本程度）当たりの立木価格は平成21年でスギ約2,500円、ヒノキ約7,800円程度と、昭和50年のスギ約20,500円、ヒノキ約36,700円に比べてそれぞれ12%、20%にまで下落しています。昭和50年当時の物価水準を考えると価格の低下は著しいものと言わざるを得ません。また全国ベースでの林家の林業所得においても平成13年度は年間

山元立木価格の推移（愛媛県）



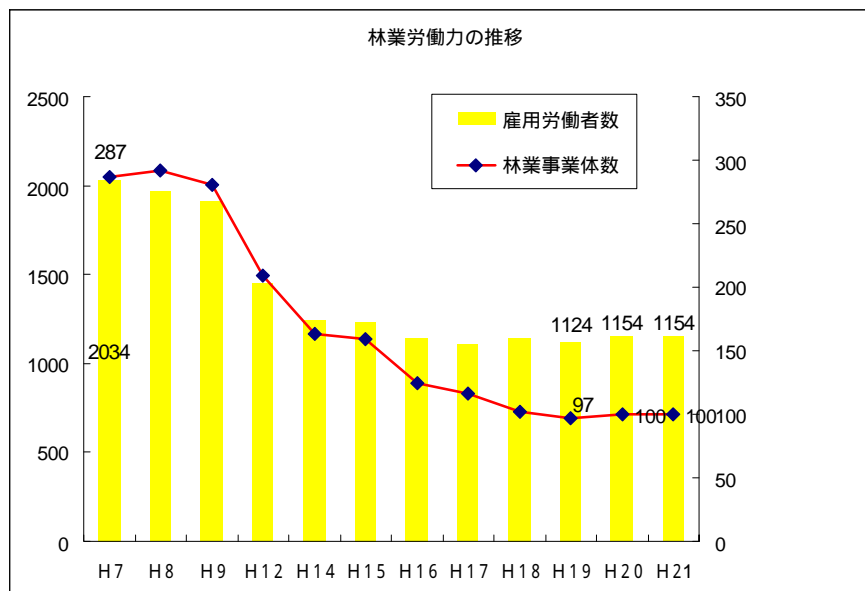
（資料：財）日本不動産研究会

約21万円まで下落しております。なお、この調査対象林家は山林所有規模が20ha以上500ha未満の林家であり、20ha未満の小規模林家が約95%を占める本県の林家においては、さらに厳しい経営状態となっています。

一方、林家と共に林業の担い手である

県内の林業事業体（森林組合・会社・第3セクター・個人）の数及び雇用労働者数は、平成7年には287事業体（1事業体当たり平均雇用労働者数7.1人）、2,034人（平均年齢56歳）が、平成21年には105事業体（1事業体当たり平均雇用労働者数11.0人）、1,158人（平均年齢49歳）にまで減少しています。この結果は、森林所有者からの受託施業の団地化、集約化及び生産性を向上させる高性能林業機械の導入ができない一人親方などの個人、経営規模の小さな事業体では、下げ止まることのない木材価格や高齢化といった厳しい現状の中で、林業経営が成り立たなくなった実態を示しています。

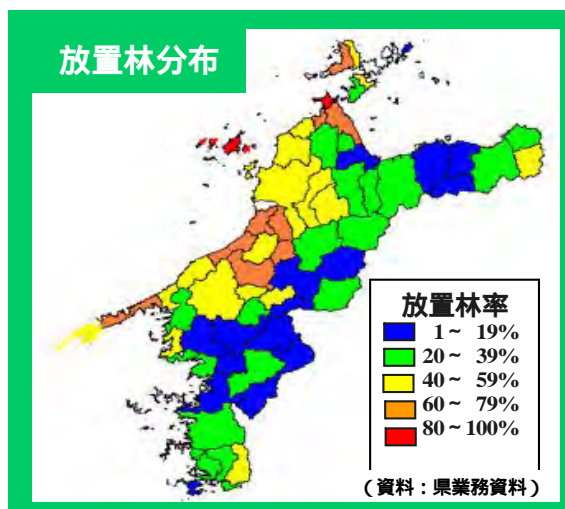
このような状況を反映して、平成12年度に県が行った放置された森林の実態調査によると、人工林（針葉樹）のうち約30%にあたる63,000haが、概ね10年間手入れされていない



いという結果となり、気象災害や病害虫の発生、表土の流出など森林の荒廃が懸念されています。この対策として、平成 14 年度から（財）愛媛の森林基金が事業主体となり、森林所有者に代わって間伐を行う「公的管理」による放置森林の整備を実施し、平成 21 年度末までに 3,396ha の人工林で間伐を行いました。

人工林を健全に維持していくために必要な間伐の実施面積の推移は、平成元年前後は約 11,500ha 実施されていましたが、平成12年度から 16 年度までの 5 年間実施した「緊急間伐 5 か年計画」の実施等によって毎年約 9,000ha が実施されました。その後平成 17 年度から 19 年度までの 3 年間では「間伐等推進 3 ヶ年対策」等により、年平均 8,500ha の間伐が実施されています。

また、平成 19 年度に策定した「森林吸収量確保推進計画」に基づき、平成 24 年度までの 6 年間毎年 9,500ha の間伐実施を計画しています。



(4) これからの森林・林業に必要なもの

これまで森林は、主として山村地域の人々と地域の仕組みによって、林業という形で維持されてきましたが、ここで見てきたように、限られた地域の力では、もはや大切な森林は守りきれなくなっています。これからは、県民全体が森林について理解し、それぞれのやり方で参加し、森林にかかわる活動を支援することが必要であると考えています。

森林作業に直接携わる「林業担い手」といわれる専門労働者を例に挙げてみると、毎年100人を確保しなければならないにもかかわらず、様々な補助事業を活用しても、60人を確保するのが精一杯の状態です。この大切な「担い手」についても、社会全体の理解と支持があれば、社会的地位や待遇が向上し、自らも働きがいを感じられるようになり、はじめて十分に確保できるようになっていくのではないのでしょうか。

3 森林環境税導入の必要性

これまで森林は、主として林業者や国、地方公共団体によって、世代を超えて、造成・維持・管理が行われてきましたが、県民や社会からの多様な要請や森林に対する深いかわりへの期待がますます高まりつつあり、これまでの体制や方法では、県民のニーズに到底こたえきれなくなってきました。

そこで、これまで県が進めてきた「森林そ生」の取り組みをさらに一歩進めて、

すべての県民の参加によって

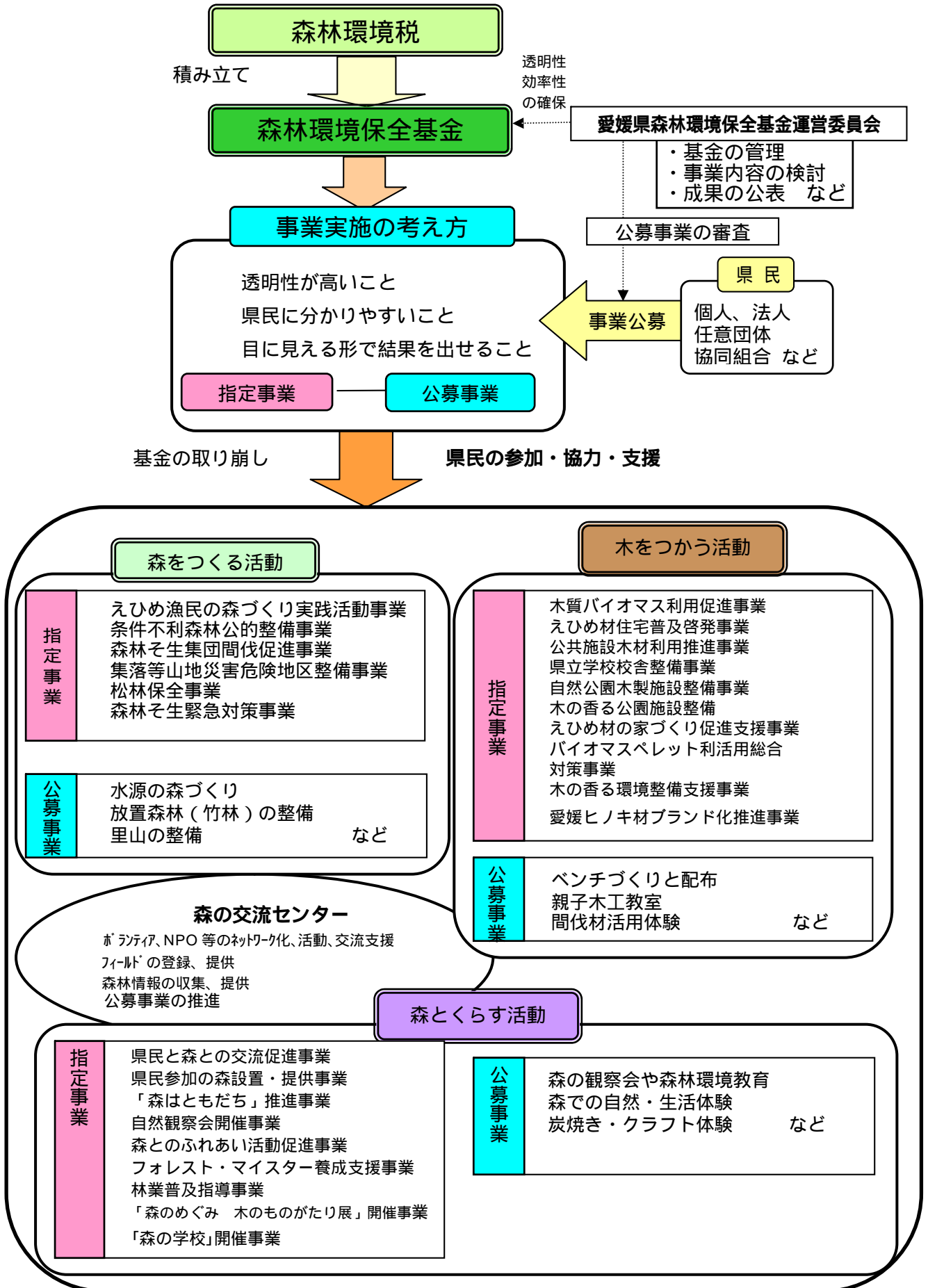
森林を守り、健全に育つことができるよう手助けをし

その働きをすべての県民が理解し、かつ主体的に享受する

具体的で効果的な仕組みづくりを始めることが必要であることから、すべての県民に参加していただく、もっとも重要で効果的な第一ステップとして、税負担による直接参加をお願いし、これを前提として、「県民参加による森林共生文化の創造」のための活動の仕組みを構築していくことといたしました。

森林環境税を活用した施策の仕組み（平成21年度）

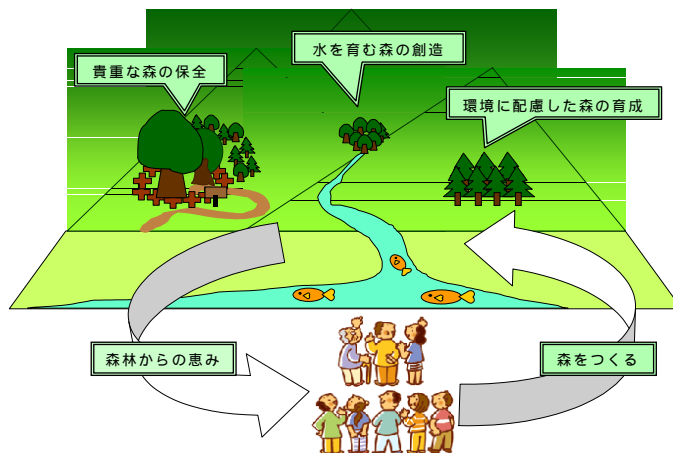
森林環境の保全と森林と共生する文化の創造



1 指定事業 ～県が用途を定め実施する方式～

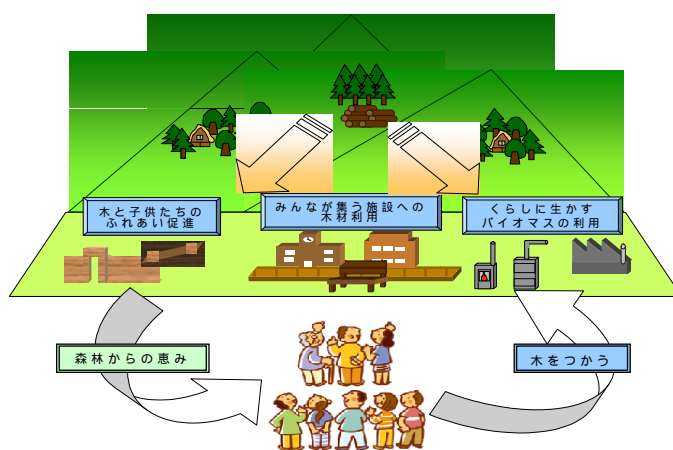
(1) 《森をつくる活動》

県民に様々な恵みを与えている森林のうち、特に生活に欠くことのできない「水」を育む働きを持つ河川上流域の森林の自然力等を活かした整備や、集落周辺の森林の防災機能を高めるなど、森林所有者等自らが環境に配慮した、持続可能な森林管理や経営に取り組む活動を推進しています。



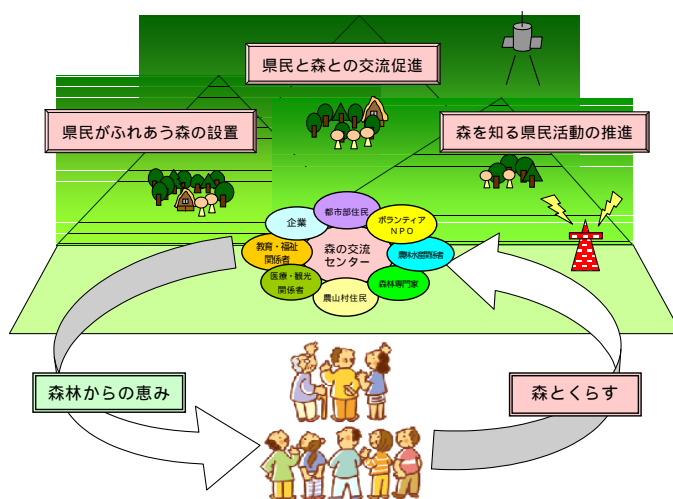
(2) 《木をつかう活動》

再生産が可能な自然素材である木材を暮らしの中につかうことは、日常生活を豊かにし、県民の健康、生活環境を改善するだけでなく、森林環境の改善、地球温暖化の防止や環境に負荷の少ない循環型社会の実現にも貢献するものであることから、県民が集い交流する公共的な施設やその周辺施設での木材の利用を推進するとともに、保育所、幼稚園、小学校、福祉施設などに木製遊具を設置し、子供たちの木とのふれあいを促進しています。



(3) 《森とくらす活動》

森林と出会い、森林とふれあい、そして森林に親しみながら森林を知り、様々な地域に存在する多様な森林を育てていくことにより、県民が森林とかかわりを持ち、暮らしの中により身近に森林を感じ、森林を愛する森林との共生関係を推進しています。

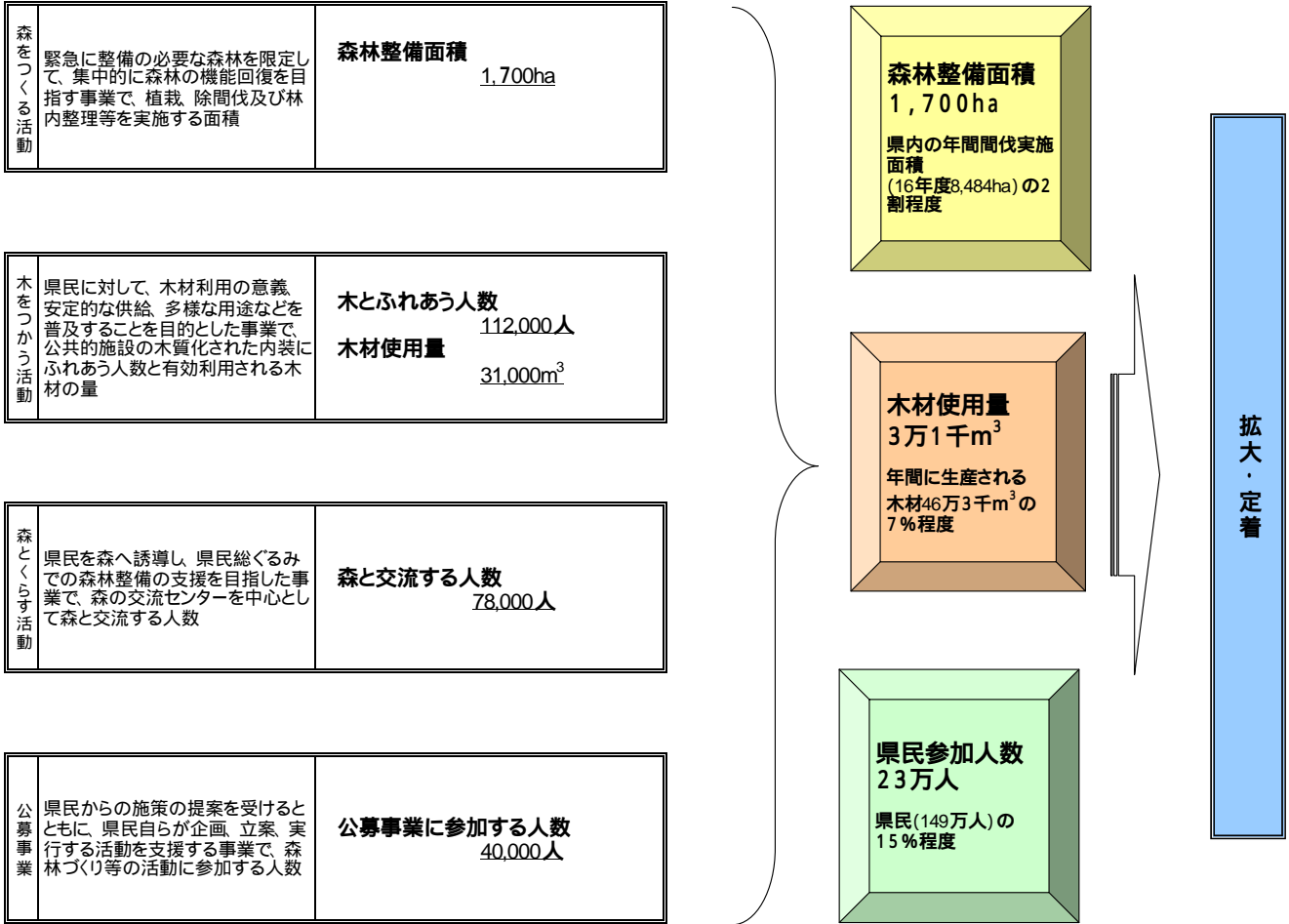


2 公募事業 ～県民から取組を公募し実施する方式～

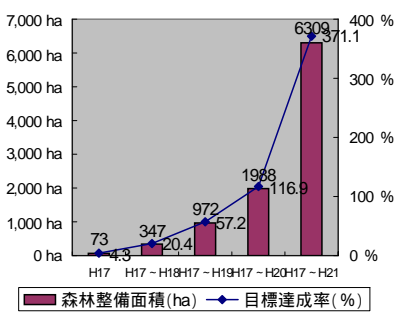
今後の森林環境整備には、県民の積極的な参加を仰がなければなりません、「森林環境税を納税する」ことによる「参加」とどまらず、「森林環境税を活用して県民自身が、その用途を企画・立案し、実行する」ことにより、「森林と共生する文化」を創造していただくというもので、平成17年度は41件、平成18年度は69件、平成19年度は71件、平成20年度は68件、平成21年度は66件の活動が行われました。

森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値（H17～H21年度の5カ年間）

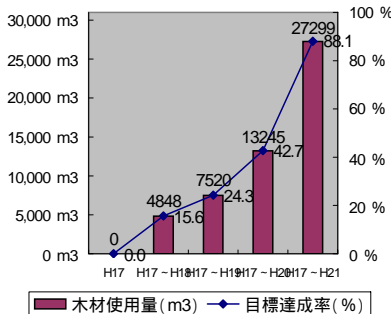
事業成果については、県民の皆さんにわかりやすいよう、目に見える形で公表することとしており、以下のような指標と目標値を設定しました。



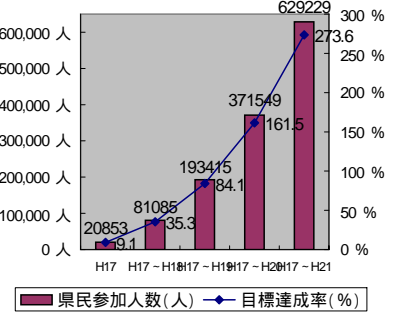
森林整備面積



木材使用量



県民参加人数



平成21年度事業実績

1 事業総括表

基金繰入額 399,342,916円

| 種立金 | 内 容 | 記 | 予算額 | 決算額 | 差引額 |
|-------------|---|-------------|--------------|--------------|------------|
| 森林環境保全基金積立金 | 森林環境税を財源に、全ての県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び公益的機能を発揮できる森林保全の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。 | 森林環境保全基金積立金 | 408,182,000円 | 399,342,916円 | 8,839,084円 |

歳出額

| 事業名 | 内 容 | 事 項 名 | 予算額 | 決算額 | 差引額 | |
|-----------------------------------|--|---|---------------|---------------|-------------|--|
| 森をつくる活動 | 生活に欠くことのできない水を育む働きをもつ河川上流域の森林を対象に、自然力等を活かした整備・保全をしていく活動を推進するとともに、山地防災機能の向上を図るため、山地災害危険地区のうち土砂流出防止機能が著しく低下し、降雨によって集落等に被害を及ぼす恐れのある地区の森林について、森林整備を実施する。 | | 297,792,000円 | 274,911,568円 | 22,880,432円 | |
| | | えひめ漁民の森づくり実践活動事業費(漁政課) | 2,813,000円 | 1,229,015円 | 1,583,985円 | |
| | | 漁業者が中心となり豊かな「漁民の森」づくり活動の実施条件不利森林公的整備事業費 | 2,791,000円 | 2,785,000円 | 6,000円 | |
| | | 放置されている森林を「美しい森林」へ誘導するための事業費 | | | | |
| | | 森林そ生集団間伐促進事業 | 188,400,000円 | 170,524,819円 | 17,875,181円 | |
| | | 「森林そ生対策」を更に進めるための施業地の団地化により間伐等コストを軽減 | | | | |
| | | 集落等山地災害危険地区整備事業 | 97,815,000円 | 96,266,000円 | 1,549,000円 | |
| | | 山地災害危険地区の森林を土砂流出防止機能の高い健全な森林へ誘導 | | | | |
| | | 松林保全事業 | 4,473,000円 | 3,868,529円 | 604,471円 | |
| | | 県木である松を守るための松林保全活動を支援 | | | | |
| | | 森林そ生緊急対策事業 | 1,500,000円 | 238,205円 | 1,261,795円 | |
| | | 間伐や路網の整備、製材施設・バイオマス利用施設等の整備等 | | | | |
| 木をつかう活動 | 公共的施設や民間住宅に対して木造化・木質化を推進するとともに、林内に放置されている未利用材の有効活用を図り、再生可能なエコ・マテリアル(環境素材)である木材を暮らしの中に取り入れ、人にやさしい生活環境を創造する。 | | 179,475,000円 | 176,290,511円 | 3,184,489円 | |
| | | 木質バイオマス利用促進事業費 | 13,100,000円 | 12,978,000円 | 122,000円 | |
| | | 未利用材を木質バイオマスとして有効利用 | | | | |
| | | えひめ材住宅普及啓発事業費 | 6,641,000円 | 6,597,000円 | 44,000円 | |
| | | 木造住宅に関する窓口の設置など木造住宅、木材利用の意識啓発を行う | | | | |
| | | 公共施設木材利用推進事業費 | 111,025,000円 | 111,025,000円 | 0円 | |
| | | 地域のシンボルとなる公共施設の木造化 | | | | |
| | | 県立学校校舎整備事業費(高校教育課) | 8,000,000円 | 8,000,000円 | 0円 | |
| | | 県立学校校舎の内装木質化 | | | | |
| | | 自然公園木製施設整備事業費(自然保護課) | 5,800,000円 | 5,734,721円 | 65,279円 | |
| | | 自然公園に県産木材を使った標識、木柵、階段などを整備 | | | | |
| | | 木の香る公園施設整備費(都市整備課) | 5,000,000円 | 5,000,000円 | 0円 | |
| 都市公園に県産木材を使った休憩所やベンチなどを整備 | | | | | | |
| えひめ材の家づくり促進支援事業費 | 23,392,000円 | 20,807,000円 | 2,585,000円 | | | |
| 民間住宅に良質な柱材を無償提供し、木造住宅の建設を促進 | | | | | | |
| バイオマスペレット活用総合対策事業費(農政課) | 1,668,000円 | 1,434,200円 | 233,800円 | | | |
| 地域に散在する未利用バイオマスをペレット化 | | | | | | |
| 木の香る環境整備支援事業費 | 2,899,000円 | 2,886,000円 | 13,000円 | | | |
| 公共的施設等を対象に地域材を利用した内装の木質化等に対して支援 | | | | | | |
| 愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業費 | 1,950,000円 | 1,828,590円 | 121,410円 | | | |
| 全国一の生産量であるヒノキの消費拡大と流通体制の確立 | | | | | | |
| 森とくらす活動 | 森林づくりを行う市民グループや団体間の交流や情報の提供、森づくりの場(フィールド)の提供を行い、さらに県民活動を通じて、暮らしの中に森林との共生関係を推進するため、次代を担う青少年を対象とした森林環境学習を行う。 | | 60,562,000円 | 49,248,653円 | 11,313,347円 | |
| | | 県民と森との交流促進事業費 | 16,062,000円 | 11,240,291円 | 4,821,709円 | |
| | | 県民と森との交流促進 | | | | |
| | | 県民参加の森設置・提供事業費 | 19,827,000円 | 19,111,000円 | 716,000円 | |
| | | 県民活動の拠点整備 | | | | |
| | | 「森はともだち」推進事業費(義務教育課) | 1,575,000円 | 1,575,000円 | 0円 | |
| | | 小中学生に対する森林環境教育の推進 | | | | |
| | | 自然観察会開催事業費(自然保護課) | 1,900,000円 | 1,133,531円 | 766,469円 | |
| | | 一般県民を対象とした自然観察会を開催 | | | | |
| | | 森とのふれあい活動促進事業費 | 2,908,000円 | 2,599,675円 | 308,325円 | |
| | | 森林づくりを行う青少年や県民の活動を支援 | | | | |
| | | フォレスト・マイスター養成支援事業費 | 11,987,000円 | 9,884,875円 | 2,102,125円 | |
| 森林を面的・効果的に整備する作業技術者と作業管理者を養成 | | | | | | |
| 林業普及指導事業費 | 4,289,000円 | 2,110,701円 | 2,178,299円 | | | |
| 森林そ生プロジェクトの成果を県下に普及するための体験と広報誌の発行 | | | | | | |
| 「森のめぐみ 木のものがたり展」開催事業費(生涯学習課) | 1,012,000円 | 897,060円 | 114,940円 | | | |
| 森林の自然と歴史に対する県民の理解を深めるための展覧会を開催 | | | | | | |
| 「森の学校」開催事業費 | 1,002,000円 | 696,520円 | 305,480円 | | | |
| 幼稚園や保育所の園児等を対象に森林観察会を開催 | | | | | | |
| 公募事業 | 森林環境税の目指す「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県民の豊かな発想や自発的な活動を引き出すことにより、県民参加を具体化する。 | | 30,000,000円 | 25,416,000円 | 4,584,000円 | |
| | | 県民参加の森づくり公募事業費 | 30,000,000円 | 25,416,000円 | 4,584,000円 | |
| 計 | | | 567,829,000円 | 525,866,732円 | 41,962,268円 | |
| 保留額 | | | -159,647,000円 | -126,523,816円 | | |

えひめ漁民の森づくり実践活動事業

漁業者が中心となり、森林関係者や市町と連携を図りながら、豊かな海を育む「漁民の森」づくり活動を実施するとともに、水産関係の市場や加工流通業者、一般県民に対して、漁民が森づくり活動を行う趣旨を普及啓発し、県民参加型の漁民の森づくり活動の定着促進を図ります。

1 ポイント

漁業者の間に、森、川、海を一体的に捉え、水の源である森林の創造や保全が、将来漁場環境の保全等に繋がるとの認識が定着しつつあり、森づくり活動を継続的に実施する機運が高まっており、今後とも漁業者が主体となって、森林関係者や市町と連携を図りながら、豊かな海を育む「漁民の森」づくり活動を継続して実施します。

また、水産関係の市場や加工流通業者、一般県民に対して、漁民が森づくり活動を行う趣旨を普及啓発し、県民の森林への関心や保全の意識の向上を図ることにより、県民参加型の漁民の森づくり活動の定着促進を図ります。

2 事業内容

えひめ漁民の森づくり推進協議会の開催

漁民の森づくり活動を計画的に、適切かつ安全に推進できるよう、実施計画や植林、育林、保全の体制づくり、実績の評価等について協議・検討するとともに、実践主体を指導します。

えひめ漁民の森づくり活動

| | | |
|-------------------|---|---|
| 実施箇所 | 3地区（平成21年度：今治地区、大洲地区、愛南地区） | |
| 漁民の森づくり連絡会議 | 地域の水産関係者、森林関係者、市町等を構成員とし、漁民の森づくり活動の実施体制や実施箇所、日程等の計画について協議するとともに現地指導を行う。 | |
| 活動実践主体名 | 今治地区漁民の森づくり連絡会議、大洲地区漁民の森づくり連絡会議、愛南地区漁民の森づくり連絡会議 | |
| 構成員 | 地元の漁協、漁協青年協、漁協女性部、森林組合、県等 約10名 | |
| 漁民の森づくり活動（1地区当たり） | クヌギ・コナラなどの広葉樹等の植林活動を行う。 | 過去に植林した漁民の森の育林活動を行う。（施肥、補植、シカ避けネット設置） |
| 実施箇所 | 今治市頓田川流域 約0.6ha | 漁民の森2箇所 1.0ha（各地区0.5ha） |
| 実施日 | 平成21年11月14日 | 大洲地区：平成22年3月6日 愛南地区：平成22年3月11日 |
| 内容 | 活動の説明、作業指導、植林（約600本） | 活動の説明、作業指導、育林（大洲地区は施肥、愛南地区は補植及びシカ避けネットの設置） |
| 参集者 | 地区漁業関係者、地元水産関係者（市場、流通加工関係）、地区森林関係者、市民ボランティア等約90名 | 大洲地区：地区漁業関係者等約20名 愛南地区：地区漁業関係者等約50名 |
| 補助額 | 1,278千円（標準事業費1,556千円のうち1,000千円までを全額、1,000千円を超える額の1/2を補助し、補助の上限額を1,278千円とする） | 1,260千円（標準事業費560千円のうち280千円までを全額、280千円を超える額の1/2を補助し、補助の上限額を420千円とする） |

漁民の森づくり活動定着促進指導

森の維持管理方法を地元漁業者に習得させるため、育林の必要性の講義や下草刈り等の実習を行う育林講習会の開催等を平成20年度に植栽した宇和島地区（北灘地区漁民の森）で実施しました。

森をつくる活動

3 平成21年度実績

(1)実績額 1,229千円

(2)実施状況

えひめ漁民の森づくり活動（今治市頓田川流域）



（大洲市）



（愛南町）



漁民の森づくり活動定着促進指導（宇和島市北灘地区漁民の森）



4 事業期間 平成19年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H 17 | H 18 | H 19 | H 20 | H 21 | 計 |
|--------|--------------|------|------|---|--|---|-------|
| 計 画 | 森づくり面積ha（箇所） | - | - | 1（2） | 1（2） | 2（4） | 4（8） |
| | 事業費（千円） | - | - | 2,831 | 2,831 | 2,813 | 8,475 |
| 実 績 | 森づくり面積ha（箇所） | - | - | 2（2） | 1（2） | 2（3） | 5（7） |
| | 事業費（千円） | - | - | 2,073 | 2,188 | 1,229 | 5,490 |
| 実施箇所 | | - | - | 森づくり2箇所 西条市加茂川流域 今治市蒼社川流域 育林講習会1箇所 西条市加茂川流域 | 森づくり2箇所 宇和島市岩松川流域 愛南町僧都川流域 育林講習会1箇所 今治市蒼社川流域 | 森づくり3箇所 今治市頓田川流域 漁民の森2箇所（育林） 大洲市、愛南町 育林講習会1箇所 宇和島市北灘地区漁民の森 | |

条件不利森林公的整備事業（一部森林環境税事業）

（未整備森林緊急公的整備導入モデル事業）

森林の立地、森林所有者の特性等において条件が不利な森林を対象に、地域の実情を踏まえた創意工夫を凝らした事業を定額助成方式でモデル的に実施することとし、もって地域の森林整備の推進を図ります。

1 ポイント

間伐の量的拡大を図るためには、林業の採算性の低下、森林所有者の施業意欲の低下等の中で、相対的に条件が劣る森林を含めて困難性の高い森林整備に取り組むこと必要となっている。特に、到達路網がない奥地森林等については、多くの時間と間接的な経費を要するなど、非定型的な経費の掛かり増しが生じています。

このため、間伐等促進法に基づき市町村が作成する特定間伐等促進計画の間伐実施主体が、条件不利の整備の行われていない森林を対象にして、モデル的に、間伐、作業路網の整備、関連条件整備（対象森林の調査及び森林所有者の同意の取り付け等）に要する経費を定額で助成します。

2 事業内容及び採択要件等

| 事業種 | 事業内容 | 採択要件 |
|------|--|--|
| 森林整備 | 施業の実施 除間伐等・作業道の開設 関連条件整備 対象森林の調査・ 森林所有者の確認・境界確定等 | 1施行面積0.1ha以上 間伐率は本数率で30%以上 次のいずれかに該当すること ・10年間皆伐をしない ・森林施業計画の作成 ・長期施業受委託契約の締結 |

事業実施主体 市町村が作成する特定間伐等促進計画に位置づけられている者（県、市町、森林組合、森林整備法人、林業事業者等）

3 平成21年度実績

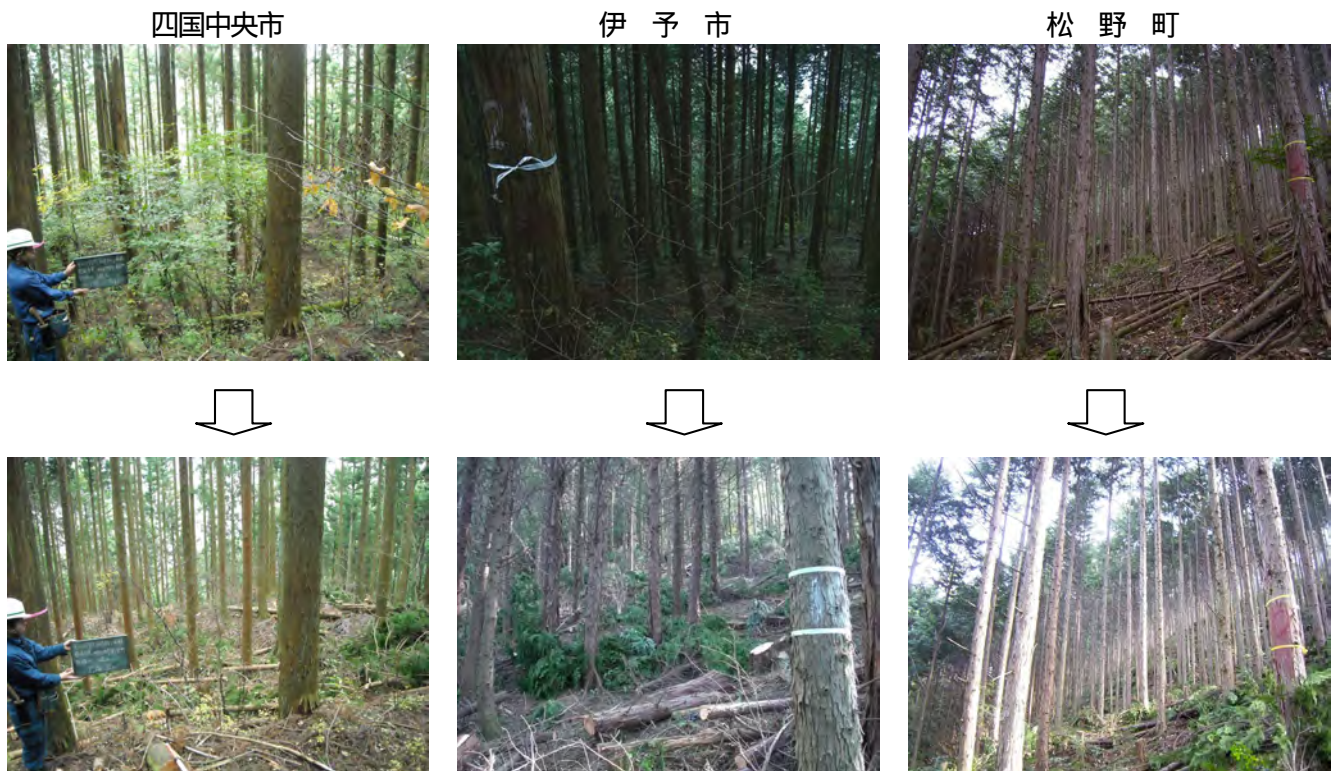
(1) 実績額 356,007千円（うち森林環境税 2,785千円充当）

(2) 実施内容

| 実施主体 | 実施箇所 | 事業量(ha) | 補助金額(千円) | 備考 |
|----------------|-------|------------|------------------|-----------------------------------|
| 宇摩森林組合 | 四国中央市 | 120 | 30,000 | |
| いしづち森林組合 | 西条市 | 70 | 17,500 | |
| 越智今治森林組合 | 今治市 | 35 | 8,750 | |
| 松山市 | 松山市 | 20 | 5,000 | |
| 松山流域森林組合 | 松山市外 | 80 | 20,000 | |
| 伊予森林組合 | 伊予市 | 40 | 10,000 | |
| 砥部町森林組合 | 砥部町 | 30 | 7,500 | |
| 久万広域森林組合 | 久万高原町 | 205 166 | 42,800 41,500 | (未整備分) |
| 大洲市森林組合 | 大洲市 | 202 | 50,500 | |
| 内子町森林組合 | 内子町 | 50 | 12,500 | |
| (株)小田森林ログハウジング | 内子町 | 31 19 | 7,137 4,250 | (未整備分) |
| 八西森林組合 | 八幡浜市 | 40 | 10,000 | |
| 西予市森林組合 | 西予市 | 55 | 13,750 | |
| 南予森林組合 | 松野町 | 86 | 19,250 | |
| 南宇和森林組合 | 愛南町 | 40 | 10,000 | |
| (財)愛媛の森林基金 | 今治市外 | 139 | 30,000 | |
| 愛媛県 | 宇和島市外 | 44 | 10,000 | |
| 事務費 | | | 848 4,722 | (未整備)うち森林環境424千円 うち森林環境2,361千円 |
| 計 | | 1,472 | 356,007 | うち森林環境2,785千円 |

森をつくる活動

(3) 実施状況



4 事業期間

平成19年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|-------------|-----|-----|---|---|---|--|
| 計 画 | 施業面積(ha) | - | - | 240 | 365 | 1,401 | 2,006 |
| | 補助金額(千円) | - | - | 61,020 | 92,801 | 356,019 | 509,840 |
| | うち森林環境税(千円) | - | - | 510 | 776 | 2,791 | 4,077 |
| 実 績 | 施業面積(ha) | - | - | 242 | 430 | 1,472 | 2,144 |
| | 補助金額(千円) | - | - | 59,748 | 108,116 | 356,007 | 523,871 |
| | うち森林環境税(千円) | - | - | 499 | 903 | 2,785 | 4,187 |
| 実施箇所 | | - | - | 11市町 (四国中央市、今治市、松山市、伊予市、砥部町、久万高原町、八幡浜市、大洲市、宇和島市、松野町、愛南町) | 14市町 (四国中央市、西条市、今治市、松山市、東温市、伊予市、砥部町、久万高原町、八幡浜市、大洲市、内子町、宇和島市、松野町、愛南町) | 14市町 (四国中央市、西条市、今治市、松山市、東温市、伊予市、砥部町、久万高原町、八幡浜市、大洲市、内子町、宇和島市、松野町、愛南町) | [H21 計画] 1,401ha = 未 199ha+条 1202ha (当初 408+補正 794) 356,019千円 = 未 50,785千円+条 305,234千円 (103,734+201,500) 2,791千円 = 未 424千円+条 2,367千円 (867+1,500) [H21 実績] 1,472ha = 未 236ha+条 1,236ha 356,007千円 = 未 50,785千円+条 305,222千円 2,785千円 = 未 424千円+条 2,361千円 |

森林そ生集団間伐促進事業（一部森林環境税事業）

「えひめ森林そ生プロジェクト」による「森林そ生対策」を更に進めるため、施業地の団地化と作業道等の基盤整備、高性能林業機械導入による間伐等の施業コストの軽減に努め、森林の持つ公益的機能の高度発揮と林業の活性化、ひいては、地球温暖化防止に貢献します。

1 ポイント

森林に対する国民の要請の多様化や都市化の進展に伴い、自然環境等の保全のため、森林への欲求が強まっています。

また、平成 20 年度(2008 年度)からは、京都議定書第 1 約束期間(2008～2012 年)における森林吸収目標 1300 万炭素トンの達成のため、効果的・効率的な取り組みが必要となっており、具体的には、森林吸収目標達成のため 2007 年以降 6 年間で全国で 330 万 ha の間伐を必要としています。

このため、県においても、県民が一丸となり、愛媛の森林を適正に管理し、健全な森林の育成、多様な森林の造成等に努めるため、団地化、作業道等の整備、高性能林業機械の導入をさらに推進し、森林の持つ公益的機能の高度発揮と林業の活性化を図り、ひいては、地球温暖化防止に貢献します。

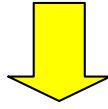
2 事業内容

| 事業種 | 事業内容 | 採択要件 |
|-------------------------|--|---|
| 団地設定支援事業 (森林環境税事業) | 森林そ生推進団地等の設定に係る ・検討会や協議会の会議費 ・境界測量等 ・現地調査に要する経費 ・路網配置及び作業車道等の機能別設定基準作成 ・計画生産に対する合意形成を図るために必要な経費 | 1 団地面積 約 10.0ha 施行面積 約 5.0ha (森林そ生推進団地) |
| 森林整備事業 (一部森林環境税事業) | 団地設定支援事業により設定された団地内において間伐等森林整備を実施する。 | 森林環境保全整備事業においては、森林の機能区分のうち、資源循環林及び水土保全林で行う、流域育成林整備事業 里山エリア再生交付金事業においては、里山エリア実施区域内で行うもの |
| 高性能林業機械導入事業 (国庫補助事業) | 新たな伐採・搬出システムである ・スイングヤーダー ・プロセッサ ・フォーワーダ(グラッパ) のセットを既存の整備機械と併せて導入する。 | 施業の団地化によるコスト縮減が図られる計画に基づく高性能林業機械施設の導入 |

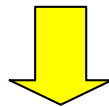
森をつくる活動



団地設定支援



森林整備・高性能林業機械導入



森林整備完了

森をつくる活動

3 平成21年度実績

(1) 実績額 609,425千円(うち森林環境税170,525千円充当)

(2) 実施内容

団地設定支援事業

| 事業主体名 | 実施箇所 | 団地名 | 団地面積 (ha) | 補助金額 森林環境税(千円) |
|----------|-------|-------|-----------|-------------------|
| いしづち森林組合 | 西条市 | 旦之上団地 | 99 | 400 |
| | | 河之内団地 | 108 | |
| 伊予森林組合 | 伊予市 | 大久保団地 | 99 | 300 |
| 久万広域森林組合 | 久万高原町 | 父野川団地 | 408 | 2,000 |
| | | 柳井川団地 | 1,060 | |
| | | 大川団地 | 647 | |
| | | 前組団地 | 367 | |
| | | 直瀬団地 | 1,300 | |
| | | 東川団地 | 729 | |
| (株)エフシー | 西予市 | 雨包団地 | 220 | 1,600 |
| 計 | | 10団地 | 5,037 | 4,300 |

森林整備事業

| 事業主体名 | 実施箇所 | 事業内容 | 事業量 (ha, m) | 補助金額(千円) | 左うち 森林環境税(千円) |
|-----------|-------------|---------------|----------------|----------|------------------|
| 四国中央市 | 四国中央市 | 除・間伐 作業路開設 | 1 0 | 253 | 63 |
| 宇摩森林組合 | 四国中央市 | 除・間伐 作業路開設 | 130 10,100 | 26,560 | 6,640 |
| いしづち森林組合 | 新居浜市 西条市 | 除・間伐 | 500 | 72,850 | 18,210 |
| | | 作業路開設 | 12,400 | | |
| 越智今治森林組合 | 今治市 | 除・間伐 作業路開設 | 60 1,700 | 10,380 | 2,590 |
| 松山流域森林組合 | 松山市 東温市 | 除・間伐 | 50 | 13,080 | 3,270 |
| | | 作業路開設 | 5,400 | | |
| 伊予森林組合 | 伊予市 | 除・間伐 作業路開設 | 80 22,500 | 30,070 | 7,520 |
| 砥部町森林組合 | 砥部町 | 除・間伐 作業路開設 | 20 17,200 | 14,460 | 3,610 |
| 久万広域森林組合 | 久万高原町 | 除・間伐 作業路開設 | 440 110,600 | 170,000 | 42,500 |
| 大洲市森林組合 | 大洲市 | 除・間伐 作業路開設 | 60 3,500 | 15,050 | 3,760 |
| 内子町森林組合 | 内子町 | 除・間伐 作業路開設 | 230 8,000 | 40,340 | 10,090 |
| 小田口グハウジング | 内子町 | 除・間伐 作業路開設 | 1 0 | 250 | 43 |

森をつくる活動

| | | | | | |
|---------|------------------|---------------|------------------|---------|---------|
| 八西森林組合 | 八幡浜市 | 除・間伐 作業路開設 | 20 5,600 | 9,870 | 2,470 |
| 西予市森林組合 | 西予市 | 除・間伐 作業路開設 | 120 15,100 | 30,350 | 7,590 |
| 南予森林組合 | 宇和島市, 鬼北町,松野町 | 除・間伐 作業路開設 | 590 45,300 | 123,590 | 30,900 |
| 南宇和森林組合 | 愛南町 | 除・間伐 作業路開設 | 90 6,900 | 14,825 | 3,726 |
| 事務費 | | | | 33,197 | 23,243 |
| 計 | | | 2,392 264,300 | 605,125 | 166,225 |

除・間伐面積については、小数点以下を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

金額については、千円未満四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

高性能林業機械導入事業

| 事業主体名 | 実施箇所 | 施設名等 | 台数 | 補助金額(千円) | 備考 |
|----------|-------------|-------|----|----------|---------------------|
| いしづち森林組合 | 新居浜市 西条市 | ハーベスタ | 1 | (7,400) | |
| (株)プロシーズ | 伊予市 | ハーベスタ | 1 | (7,196) | |
| (株)エフシー | 西予市 | ハーベスタ | 1 | (7,200) | |
| 事務費 | | | | (388) | 左のうち 一般財源194千円 |
| 計 | | | 3 | (22,184) | 事務費388千円 以外は全て国費 |

4 事業期間 平成20年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|--------------|-----|-----|-----|--|--|---------|
| 計 | 団地設定面積(ha) | - | - | - | 1,770 | 3,377 | 5,147 |
| | 団地数 | - | - | - | 11 | 8 | 19 |
| | 森林整備面積(ha) | - | - | - | 300 | 3,500 | 3,800 |
| | 高性能林業機械導入(台) | - | - | - | 13 | 5 | 18 |
| 画 | 補助金額(千円) | | - | - | 98,378 | 638,759 | 737,137 |
| | うち森林環境税(千円) | | | | 24,040 | 199,859 | 223,899 |
| 実績 | 団地設定面積(ha) | - | - | - | 2,762 | 5,037 | 7,799 |
| | 団地数 | - | - | - | 9 | 10 | 19 |
| | 森林整備面積(ha) | - | - | - | 187 | 2,392 | 2,579 |
| | 高性能林業機械導入(台) | - | - | - | 9 | 3 | 12 |
| | 補助金額(千円) | - | - | - | 98,280 | 609,425 | 707,705 |
| | うち森林環境税(千円) | | | | 23,944 | 170,525 | 194,469 |
| 実施箇所 | | - | - | - | 11市町 (四国中央市・新居浜市・西条市・今治市・伊予市・久万高原町・八幡浜市・西予市・内子町・宇和島市・愛南町) | 17市町 (四国中央市・新居浜市・西条市・今治市・松山市・東温市・伊予市・砥部町・久万高原町・大洲市・内子町・八幡浜市・西予市・宇和島市・鬼北町・松野町・愛南町) | |

集落等山地災害危険地区整備事業

「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨によって集落等に被害を及ぼす恐れのある地区の森林について、本数調整伐を実施し、下層植生を導入するなど土砂流出防止機能の高い健全な森林へと誘導します。

1 ポイント

近年、局地集中型豪雨や大規模地震等の異常天然現象が増加する傾向にあり、山地災害の様相が大きく変化していることから、県下の「山地災害危険地区」について再調査を行ったところであり、継続的な公共治山事業と併せて、これまで想定していなかった山地災害に対する新たな対応が求められています。

本事業では、公共治山事業として採択されない危険地区のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨によって集落等へ被害を及ぼす恐れのある地区の森林を緊急に整備して山地災害危険地の解消を図ります。

2 事業内容

| | |
|---|---|
| <p>(1) 渓流タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本数調整伐（間伐率 40%程度） ・簡易木製構造物（木製ダム・柵工等） ・堆積物除去（渓流内に異常堆積した流木等の除去） ・その他森林機能回復のために必要なもの | <p>【実施場所】 県が定めている山地災害危険地区であって、民有林治山事業の採択基準を満たさない箇所であること。</p> <p>【事業主体】 県</p> <p>【採択要件】 林分が過密化等して土砂流出防止機能等が低下している箇所、次のいずれかに該当するもの。</p> <p>渓流タイプ 現に森林が荒廃等して渓流に土砂の流出が認められる箇所、整備対象森林面積が 10ha 以上、かつ、1 箇所の工事費（年度計画額）が 500 万円以上であること。</p> <p>山腹タイプ 人家 5 戸以上の集落後背部の森林で、整備対象面積が 5 ha 以上、かつ、1 箇所の工事費（年度計画額）が 250 万円以上であること。</p> |
| <p>(2) 山腹タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本数調整伐（間伐率 40%程度） ・簡易木製構造物（木製土留工、柵工等） ・その他森林機能回復のために必要なもの | |

3 平成 21 年度実績

(1) 実績額 96,266 千円（事務費 4,850 千円含む）

(2) 実施内容

【渓流タイプ】

| 実施箇所数 | 面積 | 事業費 | 備考 |
|-------|---------|-----------|--|
| 10 | 162.4ha | 80,997 千円 | 西条市、今治市、東温市、大洲市（2箇所）、内子町（2箇所）、西予市（2箇所）、愛南町 |

【山腹タイプ】

| 実施箇所数 | 面積 | 事業費 | 備考 |
|-------|--------|-----------|-------------|
| 2 | 30.1ha | 15,269 千円 | 四国中央市、久万高原町 |

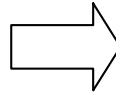
森をつくる活動

(3) 実施状況

四国中央市土居町入野地区



(施工前)



(施工後)

4 事業期間 平成20年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|-------------|-----|-----|-----|--|--|--|
| 計 画 | 山地保全面積 (ha) | - | - | - | 210 | 212 | 422 |
| | 事業費 (千円) | - | - | - | 99,510 | 97,815 | 197,325 |
| 実 績 | 山地保全面積 (ha) | - | - | - | 194 | 193 | 387 |
| | 事業費 (千円) | - | - | - | 99,510 | 96,266 | 195,776 |
| 実施箇所数 | | - | - | - | 溪流 11箇所 四国中央市、西 条市、今治市、 東温市、松山市 、久万高原町、 大洲市、内子町 、西予市、鬼北 町 (2箇所) 山腹 4箇所 四国中央市、 今治市、西予市 、愛南町 【計】 15箇所 | 溪流 10箇所 西条市、今治市 、東温市、大洲 市 (2箇所)、 内子町 (2箇所)、西予市 (2 箇所)、愛南町 山腹 2箇所 四国中央市、 久万高原町 【計】 12箇所 | 溪流 21箇所 山腹 6箇所 【計】 27箇所 |

松林保全事業(H21 新規・一部森林環境税事業)

県木である松を守るため、地域住民やボランティア等による抵抗性マツ等の植栽等、県民参加による松林保全活動を通じ、緑豊かな地域づくりを推進します。また、重要な松林を対象に松くい虫薬剤処理を行い、松林の保全を行います。

1 ポイント

県木である松を守るため、地域住民やボランティアの活動を通じた、抵抗性マツ等の植栽等緑豊かな地域づくりをするための松林保全活動に対し、支援を行うこととしており、従来から行っている空中散布、地上散布の予防措置と被害木の伐倒駆除の駆除措置を効果的に組み合わせ、引き続き適切な防除に努めることとします。

2 事業内容

(1) 松のみどりを守る活動事業(森林環境税を活用)

【伐倒駆除】松くい虫の繁殖源を除去し、被害木を含む不用木及び不良木の伐倒、薬剤処理等を行うもの

【樹幹注入】松くい虫が運ぶ線虫類による枯死を予防するため、松の生立木に樹幹注入剤の施用を行うもの

【松林保全活動】地域のボランティアにより、抵抗性マツ等の植栽等を行うもの

| 区 分 市町名 | 伐倒駆除 | 樹幹注入 | 松林保全活動 |
|------------|-----------------------------------|--------------------------|--|
| 今治市 | 115m ³ 1,574(315)千円 | 749 本 8,970(2,242)千円 | 2 箇所 0.07ha 304(150)千円 (志島ヶ原、桜井漁港) |
| 上島町 | | | 2 箇所 2.00ha 100(49)千円 (法王ヶ原、日比地区) |
| 伊予市 | 164m ³ 2,382(476)千円 | 174 本 2,058(514)千円 | 1 箇所 0.20ha 140(70)千円 (えひめ森林公園) |
| 東温市 | 17m ³ 263(53)千円 | | |
| 計 | 296m ³ 4,219(844)千円 | 923 本 11,028(2,756)千円 | 5 箇所 2.27ha 544(269)千円 |

(注) ()書きは森林環境税額。

(2) 松くい虫薬剤防除事業

【空中散布】松の健全木に対し、航空機から薬剤を散布し、被害を予防するもの

【地上散布】松の健全木に対し、地上から薬剤を散布し、被害を予防するもの

| 区 分 市町名 | 空中散布 | | 地上散布 |
|------------|----------------------|------------------|---------------------|
| | 一般散布 | ガンノズル散布 | |
| 今治市 | 13.25ha 734 千円 | | 11.54ha 718 千円 |
| 上島町 | | | 3.25ha 202 千円 |
| 伊予市 | 157.15ha 7,570 千円 | | 1.40ha 82 千円 |
| 東温市 | | | 3.00ha 201 千円 |
| 久万高原町 | | 7.50ha 656 千円 | |
| 計 | 170.40ha 8,304 千円 | 7.50ha 656 千円 | 19.19ha 1,203 千円 |

森をつくる活動

3 平成21年度実績額

(1) 全体事業費 25,954千円(うち森林環境税3,869千円充当)

(2) 実施状況



樹幹注入(伊予市 五色浜公園)



松林保全活動(今治市 志島ヶ原)

4 事業期間 平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|--------------|-----|-----|-----|---|---------|---------|
| 計 画 | 伐倒駆除量(m3) | - | - | - | - | 345 | 345 |
| | 樹幹注入(本) | - | - | - | - | 923 | 923 |
| | 松林保全活動箇所数 | - | - | - | - | 4 | 4 |
| | 薬剤防除量(ha) | - | - | - | - | 199.32 | 199.32 |
| | 事業費(千円) | - | - | - | - | 19,333 | 19,333 |
| | うち森林環境税(千円) | - | - | - | - | 4,473 | 4,473 |
| 実 績 | 伐倒駆除量(m3) | - | - | - | - | 296 | 296 |
| | 樹幹注入(本) | - | - | - | - | 923 | 923 |
| | 松林保全活動箇所(ha) | - | - | - | - | 5(2.27) | 5(2.27) |
| | 薬剤防除量(ha) | - | - | - | - | 197.09 | 197.09 |
| | 事業費(千円) | - | - | - | - | 25,954 | 25,954 |
| | うち森林環境税(千円) | - | - | - | - | 3,869 | 3,869 |
| 実施箇所 | - | - | - | - | 伐倒駆除 3市(今治市、伊予市、東温市) 樹幹注入 2市(今治市、伊予市) 松林保全活動 2市1町(今治市、上島町、伊予市) 空中散布 2市1町(今治市、伊予市、久万高原町) 地上散布 3市1町(今治市、上島町、伊予市、東温市) | | |

森林そ生緊急対策事業（H21新規・一部森林環境税事業）

地球温暖化の防止に向けた森林吸収目標の達成並びに木材及び木質バイオマスを活用した低炭素化社会の実現が求められる中、間伐等の森林整備の促進及び間伐材等の森林資源を活用した林業、木材産業等の地域産業の再生を図り、もって水源のかん養等の多面的機能を有する森林をそ生させます。

1 ポイント

地球温暖化防止に向けた森林吸収目標の達成と木材・木質バイオマスを活用した低炭素化社会の実現が求められる中、地域の実情に応じて、その創意工夫に基づき、間伐や路網の整備、製材施設・バイオマス利用施設等の整備、木質バイオマスや間伐材の流通円滑化、公共施設等での地域材利用の促進等の事業を実施し、間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の再生を図ります。

2 事業内容

| 事業種 | 事業内容 | 備考 |
|----------------------|--|----------------------------------|
| 協議会の運営、調査・調整、計画作成、普及 | 協議会運営、調査・計画作成、間伐・路網等計画・間伐材供給・需要等の調整、地域材利用拡大等の普及の取組 | 愛媛県森林そ生緊急対策基金を財源とした事業（一部森林環境税事業） |
| 間伐 | 除間伐等の実施 | |
| 林内路網整備 | 路網（中核作業道、基幹作業道及び作業路）の整備 | |
| 森林境界の明確化 | 間伐等の実施に必要な森林境界の明確化の取組 | |
| 里山再生対策 | 里山再生のための侵入竹の除去、森林病虫害対策、広葉樹林等の再生、修景等環境保全 | |
| 高性能林業機械等の導入 | 高性能林業機械の導入 | |
| 木材加工流通施設等整備 | 製材工場等が行なう加工施設など流通施設の整備及び燃料用チップ、ペレットの加工業者が行なうチップ、ペレット等の加工流通施設の整備 | |
| 木造公共施設等整備 | 地域材を活用した公共施設等の整備 | |
| 木質バイオマス利用施設等整備 | 公共施設等における燃料用ボイラーの整備等 | |
| 特用林産施設整備 | きのこ等特用林産物の生産加工施設等の整備 | |
| 間伐材安定供給コスト支援 | 燃料用チップ・ペレット加工業者が、間伐材の安定取引協定に基づき、燃料用間伐材を、伐採・搬出・運搬等コストに見合う価格で安定的に買取る取組 | |
| 流通経費支援 | 素材生産業者と製材加工等が、間伐材の安定取引協定に基づく、協定価格での安定的な取引 | |
| 利子助成 | 素材生産業者と製材加工等が、安定供給協定の実施に資する原料の積極的な手当や資金回収の長期化に対応するための資金の借入れ | |
| 地域材利用開発 | 地域材の新たな利用法を開発する製品化に向けた実証試験等の取組 | |
| 市町指導等事業 | 事業の指導等に必要な経費 | |
| 県指導等事業 | 事業の指導等に必要な経費 | |

3 平成21年度実績

(1) 実績額 190,794千円（うち森林環境税 238千円充当）

森をつくる活動

(2) 実施状況

間伐
四国中央市



(施工前)



(施工後)

4 事業期間 平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|-------------|---------------------|-----|-----|-----|--|-----------|-----------|
| 計 画 | 間伐面積(ha) | - | - | - | - | 849 | 849 |
| | 林内路網整備(m) | - | - | - | - | 142,700 | 142,700 |
| | 森林境界の明確化(ha) | - | - | - | - | | |
| | 里山再生対策(侵入竹の除去)(ha) | - | - | - | - | | |
| | 里山再生対策(森林病虫害対策)(m3) | - | - | - | - | 126 | 126 |
| | 高性能林業機械(台) | - | - | - | - | 7 | 7 |
| | 木材流通加工施設(施設) | - | - | - | - | 18 | 18 |
| | 木造公共施設等整備(施設) | - | - | - | - | 3 | 3 |
| | 木質バイオマス利用施設等整備(施設) | - | - | - | - | 1 | 1 |
| | 間伐材安定供給コスト支援(m3) | - | - | - | - | | |
| | 流通経費支援(m3) | - | - | - | - | 9,000 | 9,000 |
| | 補助金額(千円) | - | - | - | - | 1,582,714 | 1,582,714 |
| | うち森林環境税(千円) | - | - | - | - | 1,500 | 1,500 |
| 実 績 | 間伐面積(ha) | - | - | - | - | 215 | 215 |
| | 林内路網整備(m) | - | - | - | - | 19,600 | 19,600 |
| | 森林境界の明確化(ha) | - | - | - | - | - | - |
| | 里山再生対策(侵入竹の除去)(ha) | - | - | - | - | - | - |
| | 里山再生対策(森林病虫害対策)(m3) | - | - | - | - | 126 | 126 |
| | 高性能林業機械(台) | - | - | - | - | 6 | 6 |
| | 木材流通加工施設(施設) | - | - | - | - | 7 | 7 |
| | 木造公共施設等整備(施設) | - | - | - | - | 0 | 0 |
| | 木質バイオマス利用施設等整備(施設) | - | - | - | - | 0 | 0 |
| | 間伐材安定供給コスト支援(m3) | - | - | - | - | - | - |
| | 流通経費支援(m3) | - | - | - | - | 500 | 500 |
| 補助金額(千円) | - | - | - | - | 190,794 | 190,794 | |
| うち森林環境税(千円) | - | - | - | - | 238 | 238 | |
| 実施箇所 | - | - | - | - | 17市町 (四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、上島町、松山市、東温市、伊予市、砥部町、久万高原町、八幡浜市、大洲市、内子町、西予市、宇和島市、鬼北町、松野町) | | |

木質バイオマス利用促進事業

災害に強い山づくりや二酸化炭素の吸収・固定による地球温暖化防止等を通じて、森林・林業が環境保全などに貢献するよう、未利用間伐材等、木質バイオマス資源の利用促進を図ります。

1 ポイント

林内に放置されている低質材（著しい曲材、変色・腐り材、根元部、梢端部）を製紙用原料や化石燃料の代替として発電用燃料に利用する取組みへの支援を行い、木質バイオマスの利用促進による二酸化炭素の削減や災害に強い山づくりに貢献します。

2 事業内容

| | |
|------|--|
| 事業内容 | えひめ森林そ生プロジェクト対象団地等から搬出される低質材等 1 m ³ 当たり、炭素貯蔵効果額 10,248 円の製紙用原料歩留り 40%の 1 / 2 を助成する。 |
| 補助対象 | 森林そ生推進団地等から搬出し、製紙用原料や発電用燃料等に有効活用する低質材等、木質バイオマス資源 |
| 事業主体 | 愛媛県森林組合連合会、宇摩森林組合、内子町森林組合、八西森林組合、西予市森林組合 |
| 補助単価 | 10,248 円 × 0.4 × 1/2 = 2,000 円 / m ³ |
| 補助金額 | 6,439 m ³ × 2,000 円 / m ³ = 12,878 千円 |

3 平成 21 年度実績

(1) 実績額 12,978 千円（事務費 100 千円含む）

(2) 実施内容

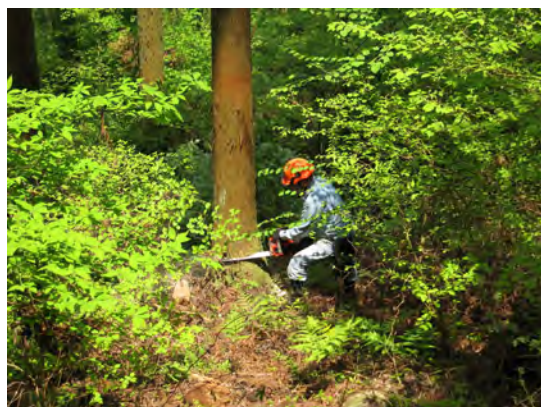
| 補助対象材積 | 補助金額 |
|----------------------|-----------|
| 6,439 m ³ | 12,878 千円 |

4 事業期間 平成 18 年度～平成 21 年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|---------------------------------|-----|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| 計 画 | 低質材の有効 利用量 (m ³) | - | 13,000 m ³ | 3,900 m ³ | 3,900 m ³ | 6,500 m ³ | 27,300 m ³ |
| | 事業費 | - | 26,000 千円 | 7,850 千円 | 7,850 千円 | 13,100 千円 | 54,800 千円 |
| 実 績 | 低質材の有効 利用量 (m ³) | - | 309 m ³ | 185 m ³ | 2,625 | 6,439 | 9,558 m ³ |
| | 事業費 | - | 617 千円 | 413 千円 | 5,300 千円 | 12,978 千円 | 19,308 千円 |
| 実施箇所 | | - | 県内一円 | 県内一円 | 県内一円 | 県内一円 | |

6 事業イメージ



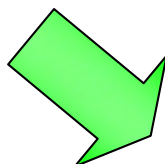
森林の適正な管理



森林そ生推進団地内での低質材



愛媛県森林組合連合会買い取り



チップに加工

製紙会社



原紙



えひめ材住宅普及啓発事業

木造住宅に関する相談窓口の開設、研修会や見学会の開催、県産材を使用した展示住宅への支援を行うことで県産材の需要拡大を図り、木材利用を通しての健全な森林整備を目指します。

1 ポイント

木造住宅やその他木材利用全般に関する相談窓口を開設するほか、研修会や見学会、ホームページ等により木造住宅、木材利用の意識啓発を行うとともに、県産材を使用した展示住宅の建設を支援し県産材のPRを行います。

2 事業内容

(1) 木と暮らしの相談窓口開設事業

事業主体（委託） 愛媛県林業振興会議

相談ブースの設置 愛媛県林業会館内（常設）

相談員を常時1名配置、月に1日建築や不動産に関する専門相談日を設定
（相談内容 木の特性、木造住宅の工法、材料、価格、助成制度の説明）

研修会の開催 県産材を使った家づくり説明会、建築士、工務店対象の木材利用に関する研修会の開催

出前木材利用相談窓口 県内主要都市で行われる催しなどへ、パネル展示や相談員を派遣する

見学会の開催 「えひめ材住宅普及啓発事業」や「えひめ材の家づくり促進支援事業」等で建築中又は完成した住宅の見学会を開催し、施主の生の声を聞いたり、森林で立木に直に触れることによって木材の魅力をもPRする

普及啓発用パンフレットの作成、木材利用相談ホームページの開設

(2) えひめ材展示住宅建設支援事業

| | |
|------|--|
| 事業内容 | 日本農林規格に合格したものの又は社団法人愛媛県木材協会が旧JAS法に準じて格付けしたもので、品質・性能が保証され、かつ乾燥された県産材を、主要部材等に使用して展示住宅を建築した場合、大工・工務店に対し、使用量に応じて補助金を交付する。 |
| 補助対象 | 次の条件をすべて満たす展示住宅 別表に掲げる主要部材に、えひめJAS材を80%以上使用して建築する展示住宅 延床面積80m ² 以上、かつえひめJAS材使用量が0.15m ³ /m ² 以上の展示住宅 図面等により木材の配置及び寸法が明示されている展示住宅 補助採択後、棟上げが行われ、3月中旬までに完成する展示住宅 建設中及び事業完了後から3ヶ月間、県産材の普及啓発活動の協力を行うことのできる展示住宅 |
| 事業主体 | 県内に事務所をおく建築業者 |
| 補助金額 | えひめJAS材を使用した材積1m ³ 当たり27千円を交付する。 ただし、1棟当たり補助金の上限は60万円とする。 |

| | | |
|------|--------|--|
| 主要部材 | 在来工法 | 土台、大引、根太、通柱、管柱、間柱、桁、梁、筋交、小屋束、棟木、母屋、垂木 |
| | 枠組壁工法等 | 土台、床根太、端根太、側根太、まぐさ、天井根太、垂木、棟木、壁の上枠及び頭つなぎ、壁のたて枠、筋交い |

3 平成21年度実績

(1) 実績額 6,597千円（事務費111千円を含む）

(2) 実施内容

「木と暮らしの相談窓口」の開設

・相談受付時間 9:00～17:00（休館日：日、月、祝日）

・木造住宅に関する専門相談日 毎月第2土曜日

・現地見学会の開催

第1回 10月3日

第2回 11月7日

木をつかう活動

展示住宅の建設

| 所在地 | 施工業者名 | 施工業者住所 | 延床面積 | えひめ JAS 材使用量 | 補助金額 |
|----------------|-------------|----------------|---------------------|------------------------|----------|
| 西条市大町 | 白石木材商工株式会社 | 西条市喜多川 209-1 | 130.0m ² | 24.7880m ³ | 600 千円 |
| 今治市蒼社町 | 藤山住宅株式会社 | 今治市郷桜井 4-9-43 | 101.7m ² | 30.9329m ³ | 600 千円 |
| 喜多郡内子町 大瀬中央 | 武田建設 | 喜多郡内子町大瀬南 2830 | 119.9m ² | 24.9921m ³ | 600 千円 |
| 大洲市大洲 | トミナガ不動産有限公司 | 大洲市東大洲 155-2 | 192.2m ² | 51.6584m ³ | 600 千円 |
| 宇和島市三間町 小沢川 | 有限会社丸万住宅 | 西予市宇和町野田 400-6 | 139.7m ² | 43.5670m ³ | 600 千円 |
| 計 | | | | 175.9384m ³ | 3,000 千円 |



展示住宅建設中



木と暮らしの相談窓口

4 事業期間 平成18年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|------|---|--------------------------------------|--|--|-----------|
| 計 画 | 訪問者数 | 3,000 人 | 3,000 人 | 3,000人 | 3,000人 | 12,000人 |
| | 事業費 | 3,368 千円 | 3,289 千円 | 6,621千円 | 6,641千円 | 19,919 千円 |
| 実 績 | 訪問者数 | 1,094 人 | 557 人 | 760 人 | 1,139人 | 3,550人 |
| | 事業費 | 3,234 千円 | 3,183 千円 | 6,561 千円 | 6,597千円 | 19,575 千円 |
| 実施箇所 | | ・展示住宅の建設 (西条市2箇所、 西予市、宇和島市、 内子町) | ・展示住宅の建設 (西条市、今治市2箇所 大洲市、宇和島市) | ・相談窓口の開設 (松山市内) ・現地見学会の開催 (中予地区) ・研修会の開催 (松山市) ・出前相談窓口の実施 (松山市) ・展示住宅の建設 (西条市2箇所、 今治市、松山市、 西予市) | ・相談窓口の開設 (松山市内) ・現地見学会の開催 (中予地区) ・出前相談窓口の実施 (松山市) ・展示住宅の建設 (西条市、今治市、 内子町、大洲市、 宇和島市) | |

公共施設木材利用推進事業

地域のシンボルとして多数の県民への波及効果等が期待される公共施設の木造化を支援し、地域材の需要拡大を図っていきます。

1 ポイント

多くの県民が集い、地域のシンボルとなる公共施設を、地域の風土にふさわしい木材を使用して木造で建設し、木の香りのする環境の提供と、木のやわらかさ、ぬくもり等木材の良さの普及を図るとともに、木材の使用により資金を還元し、県民の共有財産である森林の整備を行います。

2 事業内容

| | |
|------|--|
| 補助対象 | 幼稚園、保育所、小中学校、図書館、公民館、集会所、医療・福祉施設、野外活動施設等を新規に建設する経費（役場庁舎は除く） |
| 採択条件 | 建築基準法第2条第5号に定める主要構造部が木造である建築物で、延床面積200m ² 以上であるもの。 木材使用量に占める地域材使用割合の合計は60%以上とする。 建設単価（建築物本体工事費/延床面積）がm ² 当たり200,000円を上回るもの。 建設単価には、建築物の本体工事に要する経費のみを含めることとし、用地造成、外構工事、備品購入、設計等に係る経費は含めない。 他の補助事業、又は起債の対象となる場合は、その補助金、又は地方債を充当した後の市町負担額に対する木造化経費の補助とする。 工事期間が2ヶ年以上に渡る場合は、施工箇所、事業費区分等で当年度分として区分できるものを補助対象の事業費とする。ただし、採択の条件の確認が各年度において行えない場合は、最終年度において補助金の交付を行うものとする。 |
| 事業主体 | 市町（事業実施主体：市町、学校法人、社会福祉法人 他） |
| 補助金額 | 木造化による設計建設単価が、延床面積当たり200,000円を上回る場合に、200,000円と設計建設単価との差額（入札後においてはこれに落札率を乗じた額）の1/2以内を、床面積当たり20,000円を上限として補助する。 ただし、他の補助事業の対象となる場合は次のとおりとする。 他の補助事業の補助単価が、200,000円を上回る場合には、木造化による設計建設単価と補助単価との差額（入札後はこの差額に落札率を乗じた額と、入札後の建設単価と補助単価との差額のどちらか低い額）の1/2以内を、床面積当たり20,000円を上限として補助する。 他の補助事業の補助単価が、200,000円を下回る場合には、木造化による設計建設単価と200,000円との差額（入札後は、この差額に落札率を乗じた額と、入札後の建設単価と補助単価との差額のどちらか低い額）の1/2以内を、床面積当たり20,000円を上限として補助する。 ここで適用する落札率とは、設計金額に対する落札金額の割合とする。 |

3 平成21年度実績

(1) 実績額 111,025千円（県事務費113千円を含む）

(2) 実施内容

| 事業主体 | 施設名 | 施設概要 | 補助金額 | 備考 |
|-------|-------------|--------------------------------|-----------|----|
| 西条市 | 西条北中学校 | 木造平屋建て 300.00 m ² | 1,532千円 | |
| 今治市 | 宮窪小学校 屋内運動場 | 木造2階建て 1,038.83 m ² | 20,000千円 | |
| 今治市 | 大西中学校 屋内運動場 | 木造2階建て 1,535.27 m ² | 20,000千円 | |
| 松前町 | 松前中学校 体育館 | 木造2階建て 1,532.39 m ² | 20,000千円 | |
| 伊予市 | おおひら保育所 | 木造平屋建て 469.25 m ² | 9,380千円 | |
| 久万高原町 | 面河小学校 | 木造平屋建て 1,376.14 m ² | 20,000千円 | |
| 西予市 | 宇和中学校 屋内運動場 | 木造2階建て 2,457.98 m ² | 20,000千円 | |
| 計 | 7施設 | | 110,912千円 | |

木をつかう活動

(3) 実施状況



松前中学校体育館（松前町）



宮窪小学校屋内運動場（今治市）



面河小学校（久万高原町）



西条北中学校（西条市）

4 事業期間 平成18年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|--------|-----|---|---|---|---|------------|
| 計画 | ふれあう人数 | - | 10,980 人 | 11,200 人 | 11,420 人 | 11,640人 | 45,240人 |
| | 事業費 | - | 64,898 千円 | 40,848 千円 | 25,576 千円 | 111,820 千円 | 243,142 千円 |
| 実績 | ふれあう人数 | - | 1,222 人 | 3,817 人 | 1,236人 | 2,777人 | 9,052人 |
| | 事業費 | - | 64,898 千円 | 20,836千円 | 10,076千円 | 111,025千円 | 206,835千円 |
| 実施箇所 | | - | 三島東中屋内運動場（四国中央市） 久万小管理教室棟、 父二峰小屋内運動場（久万高原町） 大和保育所、 新谷公民館喜多山分館（大洲市） 魚成小（西予市） 篠山小中学校合同校舎（愛南町） | 西条小学校ことばの教室、 石根公民館（西条市） 伯方中学校屋内運動場（今治市） 親和園（松山市） 直瀬小学校屋内運動場（久万高原町） 三瓶中学校屋内運動場（西予市） | 日土小学校（八幡浜市） 西条小学校（西条市） 大野ヶ原小学校（西予市） | 西条北中学校(西条市) 宮窪小学校屋内運動場、 大西中学校屋内運動場（今治市） 松前中学校体育館（松前町） おおひら保育所(伊予市) 面河小学校(久万高原町) 宇和中学校屋内運動場（西予市） | |

県立学校校舎等整備事業(一部森林環境税事業)

校舎等の耐震化の推進に重点をおき、緊急性、必要性を勘案しながら、計画的に整備し、生徒に木材の良さとぬくもりを感じてもらうことを目的としています。

1 ポイント

東南海・南海地震の発生が予測されているなか、生徒の安全確保を図るため旧耐震基準で建築された校舎を対象に整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることによる情操教育を進めます。

3階建て以上のものはRC造としますが、内装の木質化を図ります。

2 事業内容

| 学校名 | 施設名 | 整備概要 |
|--------|-----|---|
| 野村高等学校 | 本館 | (改築) RC造4階 2,876㎡ 内装木質化 設置教室：校長室、職員室、保健室、普通 教室、理科実験室ほか |

3 平成21年度実績

(1)実績額 571,867千円(うち、森林環境税8,000千円充当)

(2)実施状況



本館外観



正面玄関



正面玄関飾り棚



廊下

木をつかう活動



生徒出入口



職員出入口



普通教室前面



普通教室後面

4 事業期間 平成17年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|---------|--------------------------------|---|-----------------------------|----------------------------|-------------|-------------|
| 計画 | ふれあう人数 | 2,400人 | 2,800人 | 3,200人 | 3,600人 | 4,000人 | 16,000人 |
| | 事業費 | 1,340,708千円 | 1,291,132千円 | 1,038,486千円 | 1,389,974千円 | 668,706千円 | 5,729,006千円 |
| | うち森林環境税 | 16,000千円 | 17,000千円 | 16,000千円 | 16,000千円 | 8,000千円 | 73,000千円 |
| 実績 | ふれあう人数 | 2,167人 | 4,936人 | 8,215人 | 12,053人 | 15,006人 | 42,377人 |
| | 事業費 | 1,271,363千円 | 1,220,043千円 | 956,947千円 | 1,171,140千円 | 571,867千円 | 5,191,360千円 |
| | うち森林環境税 | 16,000千円 | 17,000千円 | 16,000千円 | 16,000千円 | 8,000千円 | 73,000千円 |
| 実施箇所 | | 松山商業高校本館（松山市）、川之江高校普通教棟（四国中央市） | 今治西高校本館（今治市）、今治北高校特別教棟（今治市）、しげのぶ特別支援学校板堀（東温市） | 今治北高校本館（今治市）、宇和島東高校本館（宇和島市） | 伊予農業高校本館（伊予市）、松山東高校本館（松山市） | 野村高校本館（西予市） | |

自然公園木製施設整備事業

県内の自然公園等において、人と環境に優しい自然素材である木材を使用して、標識、木柵、階段等の公園利用施設を整備します。

1 ポイント

自然公園等（瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園、石鎚国定公園、県立自然公園等）において、県内産木材を使用した公園利用施設等を整備することにより、利用者の利便性・安全性の向上を図るとともに、自然とのふれあいの場を通じて、ゆとりと潤いのある県民生活の実現を図り、自然環境の保全に対する理解と関心を深めます。

2 事業内容

自然公園等において、間伐材を用いた標識、木柵等の施設を整備する。

事業主体 県（自然保護課）

| 公園名 | 箇所名 | 市町名 | 整備内容 |
|--------------------------|------------------|---------|------------|
| 瀬戸内海国立公園 | 笠松山園地 | 今治市 | 木製案内板、木製標識 |
| 足摺宇和海国立公園 | 鹿島一周線道路 | 愛南町 | 木製ベンチ |
| 皿ヶ嶺連峰県立自然公園 | 大谷池、谷上山 | 伊予市 | 木製標識 |
| 佐田岬半島宇和海県立自然公園 | 権現山、阿弥陀池、番匠鼻、堂々山 | 伊方町 | 木製標識 |
| 愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例保護区 | | 今治市・西条市 | 木製標識、木柵 |

3 平成21年度実績

(1) 実績額 5,735千円

(2) 実施状況

木製標識等の設置



瀬戸内海国立公園 笠松山園地（今治市）



瀬戸内海国立公園 笠松山園地（今治市）



皿ヶ嶺連峰県立自然公園 大谷池（伊予市）

木をつかう活動



皿ヶ嶺連峰県立自然公園 谷上山（伊予市）佐田岬半島宇和海県立自然公園 権現山（伊方町）佐田岬半島宇和海県立自然公園 阿弥陀池（伊方町）



愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する
条例保護区（西条市）



愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する
条例保護区（今治市）



木製看板に貼り付けた
プレート

4 事業期間 平成19年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|--------|-----|-----|--|-----------------------------|--|-------------------|
| 計画 | ふれあう人数 | - | - | 30,000人 (6施設) | 30,000人 (3施設) | 30,000人 (6施設) | 90,000人 (15施設) |
| | 事業費 | - | - | 12,860千円 | 7,800千円 | 5,800千円 | 26,460千円 |
| 実績 | ふれあう人数 | - | - | 30,000人 (6施設) | 30,000人 (3施設) | 30,000人 (5施設) | 90,000人 (14施設) |
| | 事業費 | - | - | 11,861千円 | 7,438千円 | 5,735千円 | 25,034千円 |
| 実施箇所 | | - | - | 鷹鴉山園地、正味名駒線道路、高茂岬園地、石鎚土小屋ロータリー園地、皿ヶ嶺頂上北分岐、小田深山 | 桜井海岸線道路（車道）、須ノ川集団施設地区、高茂岬園地 | 笠松山園地、鹿島一周線道路、大谷池他、権現山他、愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例保護区 | |

木の香る公園施設整備

利用者に優しい公園施設の整備を進めていきます。

1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所やベンチなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供します。

県管理の都市公園

愛媛県総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

2 事業内容

事業箇所 愛媛県総合運動公園（とべ動物園）
（伊予郡砥部町上原町）

施設効果 東屋 2基

整備効果 とべ動物園の「風の庭」に新たな木製東屋を整備することにより、利用者へのサービス向上、公園のイメージアップとなる。

様々な人が集い、ふれあいの場となる都市公園に間伐材を利用した施設を設置することは、木材に対する理解や関心を深めることになる。

3 平成21年度実績

(1) 実績額 5,000千円

(2) 実施内容

| 公園名、地区名 | 事業主体 | 事業内容 | 事業費 |
|---------|------|-------------------------------|---------|
| とべ動物園 | 愛媛県 | 東屋2基 (7.2m×2.0m、2.7m×2.7m) | 5,000千円 |
| 計 | | | 5,000千円 |

(3) 実施状況（東屋設置後の状況）



木をつかう活動

4 事業期間 平成19年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|------------|-----|-----|-----------------------------|--------------------------------------|-----------------|------------|
| 計 画 | ふれあう人数(箇所) | - | - | 2,780(1) | 2,780(1) | 111,970(1) | 117,530(3) |
| | 事業費(千円) | - | - | 1,850 | 3,570 | 5,000 | 10,420 |
| 実 績 | ふれあう人数(箇所) | - | - | 2,310(1) | 2,240(1) | 120,000(1) | 124,550(3) |
| | 事業費(千円) | - | - | 1,850 | 3,570 | 5,000 | 10,420 |
| 実施箇所 | | - | - | 第3号南レク 公園(花木園) 東屋設置工事 | 第3号南レク公 園(香木園,山 頂広場) 東屋設置工事 | とべ動物園 東屋設置工事 | |

えひめ材の家づくり促進支援事業

これから県内に住宅を建築する施主に対し良質な柱材 80 本を無償で提供し、木造住宅の建設を促進することにより、県産材の需要拡大を通しての健全な森林整備を目指します。

1 ポイント

これから県内に住宅を建築する施主に対し、良質な柱材 80 本を無償提供します。

2 事業内容

| | |
|------|--|
| 提供材 | 柱材 80 本 (184 千円以内=2,300 円(スギ 10.5 cm角の 3m材相当分) × 80 本) 県内で生産されたスギ・ヒノキの柱材で、日本農林規格 (JAS) に合格した物 または同等の品質を有するもの、かつ、天然乾燥又は人工乾燥により 25%以下の 含水率まで乾燥させた材。 |
| 補助対象 | 次の条件をすべて満たす住宅を建築する施主 県内において自らが 5 年以上居住するために建築する住宅 柱材提供申請年度の 3 月中旬までに上棟される住宅 別表に掲げる主要部材に県産材を概ね 80% 以上使用し、延床面積 80m ² 以上の 住宅 提供された柱が見える部屋を 1 室以上設置 県内に事務所を置く業者により建築される住宅 建設中、愛媛県林材業振興会議から貸し出されるのぼりを設置し PR に協力 することができる住宅 完成後、アンケートに答えるなど 3 年間のモニター協力できる者が建てる住宅 建築基準法及びその他関係法令 (用地等も含む) に準拠して建築する住宅 |
| 事業主体 | 愛媛県林材業振興会議 (会長:窪田 亀一) |

| | | |
|------|--------|--|
| 主要部材 | 在来工法 | 土台、大引、根太、通柱、管柱、間柱、桁、梁、筋交、小屋束、棟木、母屋、垂木 |
| | 桝組壁工法等 | 土台、床根太、端根太、側根太、まぐさ、天井根太、垂木、棟木、壁の上桝及び頭つなぎ、壁のたて桝、筋交い |

3 平成 21 年度実績

(1) 実績額 20,807 千円 (事務費 114 千円含む)

(2) 実施内容
木造住宅を建築する施主に対し、柱材を無償で提供する。

(3) 実施状況
施主 106 名に対し、柱材 80 本を無償提供した。

木をつかう活動



建築中（松山市内）



上棟時（松山市内）

4 事業計画 平成19年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|--------|-----|-----|----------|----------|----------|----------|
| 計 画 | 無償提供件数 | - | - | 45件 | 45件 | 115件 | 205件 |
| | 事業費 | - | - | 9,062 千円 | 8,984 千円 | 22,610千円 | 40,656千円 |
| 実 績 | 無償提供件数 | - | - | 37件 | 43件 | 106件 | 186件 |
| | 事業費 | - | - | 7,524 千円 | 8,604 千円 | 20,807千円 | 36,935千円 |

バイオマスペレット利活用総合対策事業(一部森林環境税事業)

地域に散在する未利用バイオマスをペレット化することにより、バイオマスの発生から加工、利用に至る循環過程を総合的にシステム化し、資源循環型地域社会の構築を目指します。

1 ポイント

バイオマスペレットの利活用を推進するため、ペレット製造・販売業者や利用者、関係自治体等で構成された推進会議を設立・運営し普及啓発を行なうとともに、燃料、堆肥、飼料の各用途別に生産から流通・利用体制の整備を行います。

2 事業内容

| | |
|-----------------------|---|
| (1) バイオマスペレット利用促進対策事業 | ・バイオマスペレット利活用推進会議の運営 ・県内イベント会場(特設ブース)での普及啓発活動 |
| (2) 木質ペレット利活用促進事業(燃料) | ・普及啓発用ペレットストーブの導入助成(森林環境税事業) ・農業用ハウスにおける木質ペレット暖房機導入に向けた実証試験 |
| (3) 堆肥ペレット利活用促進事業(堆肥) | ・堆肥ペレットの運搬、散布に係るコントラクター組織(作業請負組織)づくりのための協議会の開催 ・果樹園地等での省力的散布方法の検討や放牧地等の急傾斜地での堆肥散布技術の実証 |
| (4) 竹ペレット利活用促進事業(飼料) | ・竹林整備への助成(補助率1/2以内)(森林環境税事業) ・畜産業者に対する普及啓発及び給与家畜等への影響調査 |

3 平成21年度実績

(1) 実績額 3,531千円(うち、森林環境税1,434千円充当)

| 事業区分 | 決算額 | うち森林環境税充当額 |
|-----------------------|---------|------------|
| (1) バイオマスペレット利用促進対策事業 | ゼロ予算 | |
| (2) 木質ペレット利活用促進事業(燃料) | 2,266千円 | 1,434千円 |
| (3) 堆肥ペレット利活用促進事業(堆肥) | 560千円 | |
| (4) 竹ペレット利活用促進事業(飼料) | 705千円 | |



(2) 事業イメージ



木をつかう活動

(3) 実施状況



松山市野外活動センター



八幡浜市立日土小学校



西予市立宇和町小学校



西予市立大野ヶ原小学校

4 事業期間 平成19～21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H 1 9 | H 2 0 | H 2 1 | 計 |
|--------|---------|-----|-----|---|---|---|--------------------------|
| 計 画 | ふれあう人数 | - | - | 1,800人 | 2,585人 | 2,380人 | 6,765人 |
| | 竹使用量 | - | - | 1,000m ³ | 1,000m ³ | - | 2,000m ³ |
| | 事業費 | - | - | 11,158千円 | 8,528千円 | 3,168千円 | 22,854千円 |
| | うち森林環境税 | - | - | 3,167千円 | 4,091千円 | 1,668千円 | 8,926千円 |
| 実 績 | ふれあう人数 | - | - | 11,095人 | 43,122人 | 32,575人 | 86,792人 |
| | 竹使用量 | - | - | 140m ³ (6ha) | 140m ³ (6ha) | - | 280m ³ (12ha) |
| | 事業費 | - | - | 9,993千円 | 7,340千円 | 3,531千円 | 20,864千円 |
| | うち森林環境税 | - | - | 2,992千円 | 3,689千円 | 1,434千円 | 8,115千円 |
| 実施箇所 | | - | - | ペレットストーブ：7台(県民総合相談プラザ、新居浜シルバー人材センター、東温市立南吉井保育園、砥部町交流ふるさと研修の宿、伊予市中山町クラフトの里、久万高原町役場、内子町役場小田支所) 竹林整備6ha：内子町 | ペレットストーブ：9台(東中予地方局県民相談プラザ各1台、宇摩森林組合木材展示施設、いしづち森林組合本所、東温市斎場桜花苑、砥部町林間休憩施設、内子町立五十崎小学校、西予市役所ロビー) 竹林整備6ha：内子町 | ペレットストーブ：6台 (いしづち森林組合周桑支所、松山市野外活動センター、内子町役場本庁、八幡浜市立日土小学校、西予市立宇和町小学校、西予市立大野ヶ原小学校) | |

木の香る環境整備支援事業

公共的施設等を対象に、地域材を利用した内装の木質化及び外構等への木製品導入等に対して支援を行い、県民に快適な空間を提供するとともに、直接木を見て触れることにより、木材に対する理解を深めます。

1 ポイント

公共的施設等において、地域材を利用した内装の木質化、屋外施設整備、小規模木造建築物の整備及び木の机・椅子の新規導入に対し支援を行います。

2 事業内容

内装木質化支援事業

事業内容：鉄筋コンクリート構造等の公共的施設の内装等（床・壁・天井等）に地域材を使用した場合の木工事経費に対する助成

対象施設：公共施設、学校施設、福祉施設、病院施設、交通施設（鉄道、空港、港湾等）等で公共性が高いと認められる施設

事業主体：市町（事業実施主体：市町・学校法人・社会福祉法人等）

補助対象経費及び補助率

- ・内装等（床・壁・天井等）に地域材を使用した場合の木工事経費
補助率 1/2 以内 限度額 8,000 千円/施設

木製屋外施設整備支援事業

事業内容：公共的施設における木製屋外施設（ベンチ・デッキ・遊具・木レンガ舗装等）の導入に係る経費に対する助成

対象施設：公共施設、学校施設、福祉施設、病院施設、交通施設（鉄道、空港、港湾等）等で公共性が高いと認められる施設

事業主体：（事業実施主体：市町・学校法人・社会福祉法人等）

補助対象経費及び補助率

- ・地域材を使用した木製屋外施設の整備にかかる経費
補助率 1/2 以内 限度額 3,000 千円/箇所

小規模木造建築物整備支援事業

事業内容：公共的施設における、延床面積 200 m²未満の小規模木造建築物の整備に係る経費に対する助成

対象施設：公共施設、学校施設、福祉施設、病院施設、交通施設（鉄道、空港、港湾等）等で公共性が高いと認められる施設

事業主体：（事業実施主体：市町・学校法人・社会福祉法人等）

補助対象経費及び補助率

- ・地域材を使用した小規模建築物の整備にかかる経費
補助率 1/2 以内 限度額 3,000 千円/箇所

木の机等整備支援事業

事業内容：幼稚園や小中学校及び児童福祉施設等に、地域材を利用した木の机・椅子の新規導入にかかる経費

対象施設：学校施設、児童福祉施設等で公共性が高いと認められる施設

事業主体：（事業実施主体：市町・学校法人・社会福祉法人等）

補助対象経費及び補助率

- ・地域材を使用した木の机・椅子の新規導入に係る経費

木をつかう活動

3 平成21年度実績

(1) 実績額 2,886千円(事務費50千円含む。)

(2) 実施内容

| 事業区分 | 事業主体 | 事業内容 | 補助金額 |
|----------------|------|-------------|---------|
| 内装木質化支援事業 | 宇和島市 | 番城小学校第二音楽室 | 363千円 |
| | | 天神小学校特別活動教室 | 339千円 |
| 木製屋外施設整備支援事業 | 松山市 | 御手洗公園 四阿 | 1,417千円 |
| 小規模木造建築物整備支援事業 | 八幡浜市 | 大島待合所 | 717千円 |
| 計 | | | 2,836千円 |

(3) 実施状況

内装木質化支援事業



番城小学校(宇和島市宮下)

木製屋外施設整備支援事業



天神小学校(宇和島市丸穂)

小規模木造建築物整備支援事業



御手洗公園(松山市泊町)



大島待合所(八幡浜市大島)

4 事業期間 平成20年度~平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|------------|-----|-----|-----|--|--|-----------|
| 計 画 | ふれあう人数(施設) | - | - | - | 1,100(6) | 1,300(4) | 2,400(10) |
| | 事業費(千円) | - | - | - | 9,253 | 2,886 | 12,139 |
| 実 績 | ふれあう人数(施設) | - | - | - | 8,384(4) | 1,477(4) | 9,861(8) |
| | 事業費(千円) | - | - | - | 2,881 | 2,886 | 5,767 |
| 実施箇所 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 内装木質化支援事業 城南中学校(宇和島市) 番城小学校(宇和島市) 木製屋外施設整備支援事業 六町公園(松山市) 小規模木造建築物整備支援事業 一本松地区倉庫(愛南町) | <ul style="list-style-type: none"> 内装木質化支援事業 番城小学校(宇和島市) 天神小学校(宇和島市) 木製屋外施設整備支援事業 御手洗公園(松山市) 小規模木造建築物整備支援事業 大島待合所(八幡浜市) | |

愛媛ヒノキ材ブランド化推進事業(H21 新規)

愛媛県産ヒノキに関する品質向上試験や協議会による技術普及を行い、ブランド化を推進します。

1 ポイント

全国一の生産量を誇る愛媛県産のヒノキを使用した柱や梁・桁等の横架材について一定以上の品質・性能を有する製品を安定的に生産する技術開発を行うとともに、関係業界に普及することにより生産・流通体制を確立し、将来的に愛媛ブランドとして本県ヒノキ材の信頼性の向上と差別化を図り、県産材の消費拡大による林業振興とそれに伴う森林整備の促進を推進します。

2 事業内容

- (1) 林業研究センターにおけるブランド化に向けた技術開発
- (2) 愛媛ヒノキ材ブランド化推進協議会（仮称）の設置
- (3) 県による普及啓発等の支援
ブランド化に向けた普及啓発や技術研修・指導の実施、生産加工施設の導入支援

事業イメージ

| 実施機関 項目 年度 | 愛媛県林業研究センター ブランド化に向けた技術開発 | | 愛媛ヒノキ材ブランド化推進協議会 |
|------------------|---------------------------------|----------------------------------|--|
| | 新製品(横架材等) | 製材品(柱材等) | ブランド化に向けた生産・流通体制整備の確立 |
| H21 | 新製品開発 (製材試験) | 品質向上試験 (製材・乾燥試験) | 協議会の開催 (品質基準・生産流通体制整備協議) ↓ 業界対象研修会の開催 (東・中・南予1回) |
| H22 | 新製品開発 (乾燥試験) | 品質向上試験 (強度試験) ↓ マニュアル作成 | ↓ 柱材の品質基準の作成・生産 |
| H23 | 新製品開発 (強度試験) ↓ マニュアル作成 | ↓ ブランド材生産に向けた生産技術指針 | 新製品の品質基準・生産 |
| | ↓ ブランド材生産に向けた技術指針の作成 | | |

3 平成21年度実績額

- (1) 実績額 1,829千円

木をつかう活動
 (2) 実施状況

愛媛ヒノキ材ブランド化推進協議会（仮称）の設置のための検討会



大洲市での開催状況



松山市での開催状況

4 事業期間 平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H 2 1 | 計 |
|--------|-------------|-----|-----|-----|-----|--------------|-------|
| 計 画 | 研修会開催（参加人数） | - | - | - | - | 90 | 90 |
| | 事業費（千円） | - | - | - | - | 1,950 | 1,950 |
| 実 績 | 研修会開催（参加人数） | - | - | - | - | 96 | 96 |
| | 事業費（千円） | - | - | - | - | 1,829 | 1,829 |
| 実施箇所 | | - | - | - | - | 2 大洲市・松山市 | 2 |

県民と森との交流促進事業

森林ボランティア活動をはじめとする県民の皆様の森林を利活用する活動の支援など、森林の積極的な利活用を促進します。

1 ポイント

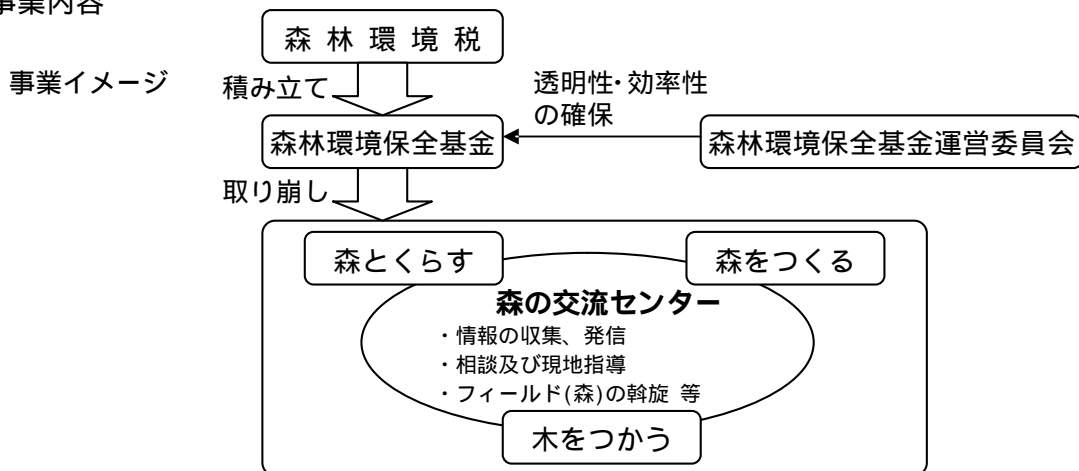
森林の利活用促進を図るため、愛媛県森の交流センターを拠点として、森林の利活用に役立つ様々な情報提供をはじめ、個別の相談や現地での指導といった支援を積極的に行うとともに、決定したロゴマークや啓発用ポスター原画の活用等により、森林を利活用する活動への参加に向けた、県民の関心を喚起しています。

また、平成 16 年 11 月に制定した「えひめ山の日」を普及啓発するため、「えひめ山の日集い」を開催しています。

加えて、森林環境税を財源とした事業について、適切な実施と透明性の確保を図るため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催し、事業の調査・審議を行うほか、平成 22 年度からの第 2 期森林環境税について審議を行います。

また、県民を森へ誘い、森林の意義を普及啓発するために、森林に関する知識や活動方法などの講座を開催しています。

2 事業内容



3 平成 21 年度実績

(1) 実績額 11,240千円

(2) 事業内容

| | |
|-------------------------|--|
| (1) 県民と森との交流促進 | 【内容】 愛媛県森の交流センターの運営 ・森林の利活用に関する情報の収集と発信 ・森林ボランティア活動等に関する相談及び現地指導 ・森林利活用活動のためのフィールド(森)の斡旋 等 |
| (2) 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営 | 【委員会の概要】 森林環境税を財源とした事業について、調査・審議を行うため、委員 10 名からなる愛媛県森林環境保全基金運営委員会を開催。 |
| (3) 森林環境税啓発事業 | 森林環境税の導入後、最終 5 年目を迎えるにあたり、5 ヶ年間の取組実績を広く県民に普及啓発するため、新聞への広告掲載や普及啓発冊子等を作成し配布。 |
| (4) 「えひめ山の日集い」開催事業 | 「えひめ山の日」を普及啓発するシンボル事業として、「えひめの森を守り育てる活動」をテーマに「えひめ山の日集い」を開催。 【開催日】平成 21 年 11 月 11 日(水) 【開催場所】式典、事例発表：内子座 分科会：内子自治センター |
| (5) 森への誘い推進事業 | 「えひめ森の案内人会」による、県民が森にふれあうための知識や活動方法などの講座を開催。 |

(3) 実施状況

愛媛県森の交流センターの運営

愛媛県森の交流センターは、森林環境税の導入目的である「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を実現するため、森づくりを行う市民グループや団体間の人的交流や情報の発信を行い、

森林・林業等にかかわる情報の提供、あるいは森林所有者等による森づくりを行う拠点として、平成17年度に東温市田窪に設置した施設であり、以下の業務を行いました。

ア 組織

県庁農林水産部森林局森林整備課保護緑化係に属し、担当係長、担当職員、森との交流相談員（2名）の4名

イ 業務内容

- (ア) 森林ボランティア、NPO、森づくりを行う市民グループ等の活動を支援するため、指導者又は指導機関の斡旋、紹介や技術指導を行いました。
- (イ) 森林・林業・木材業にかかる情報について、正しい情報と的確な技術の提供・伝達や国・県・市・町が行うイベントや研修、学習会等の普及広報を行いました。
- (ウ) 県民参加の森林づくりを推進するため、森林所有者から活動フィールドの提供を受けて、活動を希望する団体にフィールドの斡旋を行いました。
- (エ) その他、県民参加による森林との共生文化の創造に関して、森林環境税を活用した事業の実施や、県下で活動される団体の組織、活動内容等を情報として発信するなど、団体相互の交流を支援しました。

愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営
愛媛県森林環境保全基金運営委員会の開催

任 期：平成21年4月1日～平成23年3月31日（2年間）

内 容：事業の透明性・公平性を確保するため、県指定事業及び公募事業の調査・審議を実施。

開催状況：

| | |
|--------------------|---|
| 第1回委員会開催(H21.6.19) | <ul style="list-style-type: none"> ・H20 森林環境保全基金事業の実績について ・H21 森林環境保全基金事業について ・第2期森林環境税について |
| 第2回委員会開催(H21.7.28) | <ul style="list-style-type: none"> ・第2期森林環境税を活用した事業について |
| 第3回委員会開催(H22.3.26) | <ul style="list-style-type: none"> ・H21 森林環境保全基金事業の実施状況について ・第1期森林環境税の事業実績と第2期森林環境税の事業目標について ・H22 森林環境保全基金事業について ・H22 森林環境保全基金公募事業の審査について |



第1回委員会開催状況



第2回委員会開催状況

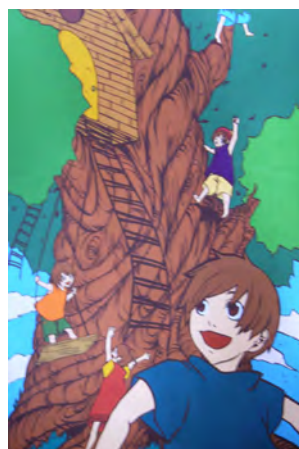


第3回委員会開催状況

森林環境税啓発事業

ポスター原画最優秀作品1点を活用して森林環境税のしくみや事業内容の普及啓発を行いました。

また、森林環境税の用途を広く県民にPRするため、森林環境税活用事業の取り組み状況について新聞広告を行いました。



「自然と触れ合う」

平原 舞子

県立今治工業高等学校

(平成17年10月選定当時)

「えひめ山の日の集い」の開催

ア 式典及び事例発表

県内から約 450 名の参加を得て、事例発表などのメイン行事と、森の青空市などのサブ行事を盛大に開催しました。

| 時間 | 次第 | 内容 | 出演者等 |
|-------|--|--|--|
| 9:30 | プロローグ～森の音楽会～ | アルプホルン演奏 五十崎大凧出世太鼓演奏 | 県立内子高等学校吹奏楽部・郷土芸能部 |
| 10:00 | 開会 式典 主催者あいさつ 歓迎あいさつ CO ₂ 吸収証書授与 森の名手・名人認定証伝達 緑の募金感謝状贈呈 | 太陽石油(株)へ授与 名手・名人4名へ伝達 (株)伊予銀行ほか2社へ贈呈 | 愛媛県知事 内子町長 愛媛県知事 (財)愛媛の森林基金理事長 " |
| 10:40 | 「えひめの森を守り育てる活動」事例発表 | | えひめ森の案内人会ほか7団体 |
| 12:00 | 閉会 | | |

イ 分科会

3つのグループに分かれて日頃の森づくり活動について紹介し、これからの活動が向かうべき姿を検討しました。

| 時間 | 内容 | テーマ | 参加者 |
|-------|--|--|--|
| 13:30 | 分科会「えひめ山の日の集い」 森林環境保全基金公募事業 活動発表大会 森林ボランティア活動情報 交換会 愛媛県林業研究グループ連 絡協議会交歓研修会 | 「これまで、そしてこれから」 「えひめの森林ボランティアの これまで、そしてこれから」 「えひめの森を守り育てる」 | 公募事業実施団体 えひめ森林ボランティア連絡 協議会 愛媛県林業研究グループ連絡 協議会 |



プロローグ



CO₂ 吸収証書授与



事例発表



森の青空市

分科会

森への誘い推進事業

一般県民に森林に関する知識や技術の普及を図り、「県民参加の森林づくり」活動を推進するため、えひめ森の案内人会に計6回の講座を開催いただき、32名の方が受講されました。

えひめ森の案内人会・・・H14～H18 年度に開催した「えひめ森の案内人養成講座」の修了者有志で構成される団体で、県下各地で県民の皆さんを森へ案内し、森に親しむための手助けをしています。

| 回 | 内容 | 実施日・場所 |
|---|--|--------------------------------|
| 1 | 開講式 講座「森林のしくみ（環境）」 森林の多様な機能 | 平成21年8月29日(土) えひめ森林公園 |
| 2 | 講座「森林のしくみ（植物）」 森林の観察方法、植物の名前と由来、見分け方 | 平成21年9月12日(土) えひめ森林公園 |
| 3 | 講座「森林のしくみ（動物）」 森林の観察方法、動物の名前、野鳥の観察 | 平成21年10月3日(土) えひめ森林公園 |
| 4 | 講座「森林に親しむ（登山）」 山での安全、野山の楽しみ方、楽しい山歩き | 平成21年10月24日(土) 森の交流センター、皿ヶ嶺 |
| 5 | 講座「森林に親しむ（野外）」 地図の見方、ロープワーク、コンパスゲーム | 平成21年11月14日(土) えひめ森林公園 |
| 6 | 講座「森林ボランティアを楽しむ」 里山との共生、人工林の間伐 閉講式 | 平成21年12月5日(土) えひめ森林公園 |



森林のしくみ（環境）室内講義



森林に親しむ（登山）現地実習

4 事業期間 平成17年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 計画 | 森の交流センター 相談件数 | 10,000 件 | 10,000 件 | 10,000 件 | 10,000 件 | 10,000 件 | 50,000 件 |
| | 「えひめ山の日の 集い」参加者数 | 1,000 人 | 1,000 人 | 1,000 人 | 1,000 人 | 1,000 人 | 5,000 人 |
| | 森への誘い人数 | - | - | 40 人 | 40 人 | 40 人 | 120 人 |
| | 事業費 | 21,723 千円 | 12,293 千円 | 12,475 千円 | 15,291 千円 | 16,062 千円 | 77,844 千円 |
| | うち森林環境税 | 16,115 千円 | 7,461 千円 | 8,114 千円 | 15,124 千円 | 16,062 千円 | 62,876 千円 |
| 実績 | 森の交流センター 相談件数 | 1,178 件 | 1,311 件 | 1,485 件 | 1,534 件 | 1,282 件 | 6,790 件 |
| | 「えひめ山の日の 集い」参加者数 | 700 人 | 550 人 | 3,900 人 | 530 人 | 453 人 | 6,133 人 |
| | 森への誘い人数 | - | - | 32 人 | 30 人 | 32 人 | 94 人 |
| | 事業費 | 17,163千円 | 11,195 千円 | 10,206千円 | 11,859 千円 | 11,240 千円 | 61,663千円 |
| | うち森林環境税 | 12,828千円 | 6,449千円 | 5,944千円 | 11,859 千円 | 11,240 千円 | 48,320千円 |

県民参加の森設置・提供事業

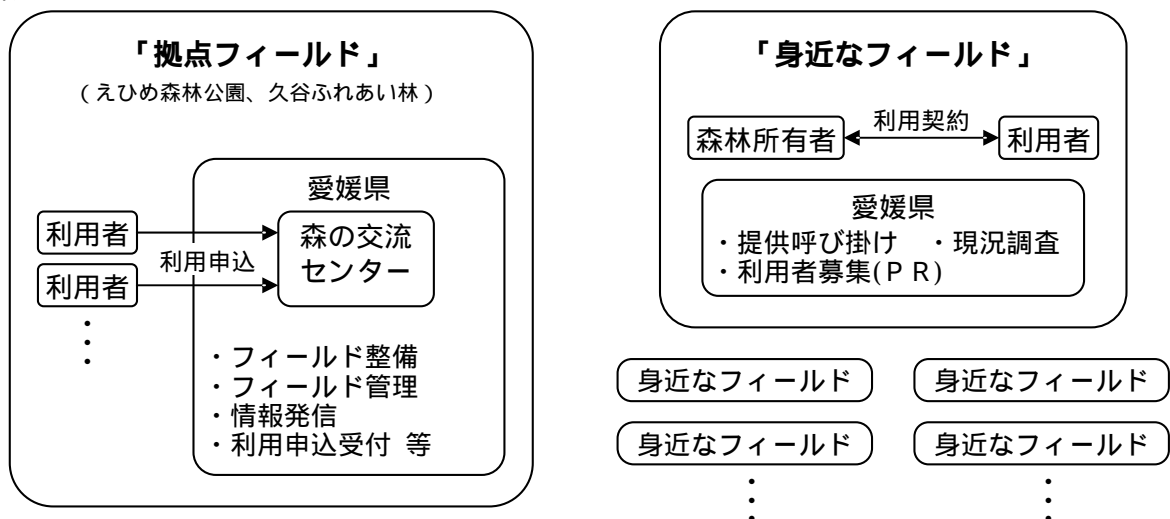
県民の皆様が、手軽に森林ボランティアなどの森林を利活用する活動に参加できるようにするため、そのフィールドとなる森林を整備し、活用の場として提供します。

1 ポイント

手入れが行き届かず、荒廃した森林の再生を図るため、県民が手軽に、また身近に利活用できる森林を整備し提供することで、森林ボランティア活動などによる身近な山の手入れを可能にするとともに、こうした活動を通じて、県民の森林の大切さに対する意識高揚を図っています。

2 事業内容

・事業イメージ



3 平成21年度実績

(1) 実績額 19,111千円

(2) 実施内容

| | |
|----------------------------|--|
| <p>県民参加の「拠点フィールド」設置事業</p> | <p>【概要】 伊予市の県民参加の森(52.83ha)において、管理道(W=2.00m)472.55m、作業歩道(W=0.60m)165.06mを開設。</p> <p>【利用方法】 「森の交流センター」を窓口として、森林ボランティア活動等を希望する団体からの申込を受け付け、活動の場を提供。</p> <p>【面積】 県民参加の森:52.83ha、久谷ふれあい林:11.10ha</p> |
| <p>県民参加の「身近なフィールド」提供事業</p> | <p>【概要】 県は森林所有者へ森林の提供を呼びかけ、候補森林の現況調査や提供可能な森林の情報発信を行い、活動を希望する団体や企業等へ斡旋するとともに、企業によるCSR活動としての森林づくり活動を側面から支援するために、作業道開設や今後の活動を助長する林内整備を行った。</p> <p>伊予市の上灘(21.21ha)において、間伐2.85ha、作業道開設709.5m(幅員2.5m)を実施し、企業の森づくりを支援。</p> <p>【登録件数】 平成21年度新規登録件数31件(平成21年度末累計64件、1,481.19ha)</p> |

拠点フィールド



アクセス等

県民参加の森
住所：愛媛県伊予市上三谷
「えひめ森林公園」内

アクセス：

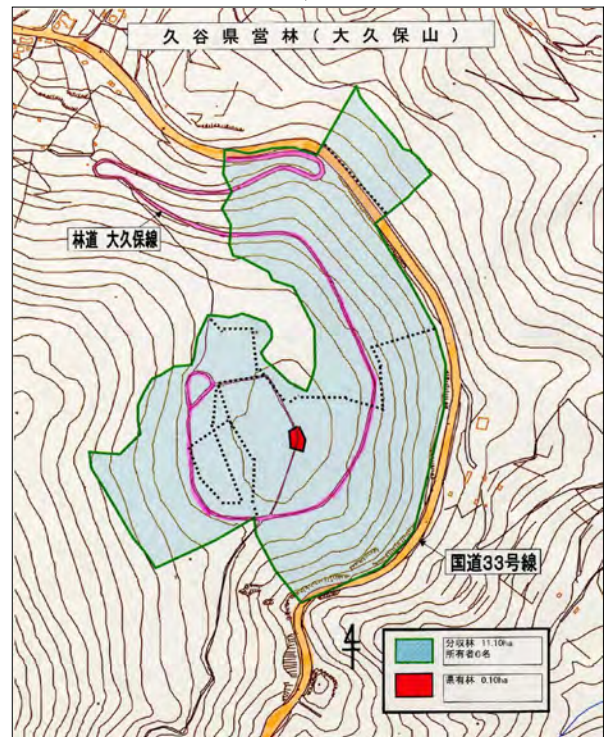
- ・伊予市方面のR 5 6 から県道伊予川内線へ、案内標識を右折
- ・R 3 3 砥部町拾町交差点から県道伊予川内線へ、案内標識を右折
- ・J R いよ横田駅から徒歩 1 時間

久谷ふれあい林

住所：愛媛県松山市久谷町

アクセス：

- ・松山市内から R 3 3 で久万高原町方面へ、大久保坂付近



「県民参加の森」は、えひめ森林公園に隣接する国有林 5 2 . 8 3 ha を借り受け、森林ボランティア活動を実施する団体の「拠点フィールド」として、管理道、歩道等の整備を行っています。なお、活動に必要な機材、器具類の貸し出しもえひめ森林公園管理棟で行っていますので御利用ください。

「久谷ふれあい林」は、昭和 4 1 年に本県で開催された「第 1 7 回全国植樹祭」の会場であり、平成 1 8 年度から「拠点フィールド」として間伐や管理道改良等の整備を進めております。平成 2 0 年 1 0 月 2 5 日には、本県で開催された「第 3 2 回全国育樹祭」において、昭和天皇・香淳皇后がお手植えされたスギに、皇太子殿下による「お手入れ」が行われました。

拠点フィールド及び身近なフィールド

森林づくりフィールド登録一覧

| 番号 | 登録年度 | 名称 | 所有者 | 所在地 | 面積(ha) | 樹種 | 利用団体 | 利用人数 | 「企業の森づくり」の名称 |
|----|------|------------|------|-------|----------|-------------------|---|-----------------------|---------------|
| 1 | 17 | 横谷山 | 市 | 松山市 | 0.60 | ケヤキ、伐採跡地 | | | |
| 2 | 17 | 豊岡山 | 町 | 松野町 | 1.51 | 広葉樹(一部クスギ) | | | |
| 3 | 17 | 横吹森林公園 | 団体 | 鬼北町 | 3.12 | スギ、ヒノキ、マツ | | | |
| 4 | 17 | 加茂川水源の森1 | 個人 | 西条市 | 0.49 | スギ、ヒノキ(クスギ、ケヤキ) | 石鎚水源の森くらぶ | | |
| 5 | 17 | 加茂川水源の森2 | 個人 | 西条市 | 2.60 | スギ、ヒノキ(ケヤキ、ヤマザクラ) | 石鎚水源の森くらぶ | | |
| 6 | 17 | 若山 | 市 | 八幡浜市 | 21.42 | スギ、ヒノキ、その他広葉樹 | | | |
| 7 | 17 | 田処山 | 個人 | 大洲市 | 0.97 | ヒノキ | | | |
| 8 | 17 | 三滝渓谷林 | 市 | 西予市 | 0.16 | ヒノキ | | | |
| 9 | 17 | ふくさの森 | 個人 | 東温市 | 1.87 | スギ、ヒノキ、タケ、サカキ | 愛媛県林研グループ女性会議等 個人 | 31 50 | |
| 10 | 17 | 黒谷2号 | 県 | 西条市 | 5.63 | ヒノキ、クスギ、マツ | 東予青年漁業者連絡協議会 西条市藻場づくり環境保全協議会 | 5 45 | |
| 11 | 17 | 久谷ふれあい林 | 県 | 松山市 | 11.10 | スギ、ヒノキ | 木っと根っとワーク | 16 | |
| 12 | 17 | 横谷 | 県 | 松山市 | 38.16 | スギ、ヒノキ | 企業の森づくり：(株)愛媛銀行 | 117 | 愛媛銀行eHoの森 |
| 13 | 17 | 松瀬川2号 | 県 | 東温市 | 77.86 | スギ、ヒノキ | 企業の森づくり：愛媛トヨペット(株) | 35 | 愛媛トヨペットの森 |
| 14 | 17 | 御嶺1号 | 県 | 宇和島市 | 463.74 | スギ、ヒノキ | | | |
| 15 | 17 | 御嶺2号 | 県 | 宇和島市 | 0.80 | ヒノキ | | | |
| 16 | 17 | 県民参加の森 | 国(県) | 伊予市他 | 52.83 | スギ、ヒノキ、広葉樹 | ひのきしん隊愛媛教区隊 愛媛県トラック協会 えひめ学生森林ボランティア 愛媛新聞社地域読者局 | 60 151 46 50 | |
| 17 | 17 | 塩ヶ森ふるさと公園 | 市 | 東温市 | 1.23 | モミジ、サクラ、ヒノキ | | | |
| 18 | 17 | 黒岩山公園 | 市 | 宇和島市 | 1.05 | ケヤキ等広葉樹 | 滑床千年の森をつくる会 | | |
| 19 | 17 | 深山 | 財産区 | 西予市 | 1.74 | ヤマザクラ等広葉樹 | 水源の森くらぶ | | |
| 20 | 17 | 千疋山 | 市 | 今治市 | 0.98 | モミジ等広葉樹 | | | |
| 21 | 18 | 龍王山 | 市 | 西条市 | 3.30 | ヒノキ、ザツ | | | |
| 22 | 18 | 小松山 | 市 | 西条市 | 2.40 | ヒノキ、クスギ | | | |
| 23 | 18 | 湯谷口山1 | 個人 | 西条市 | 0.17 | 竹 | | | |
| 24 | 18 | 湯谷口山2 | 個人 | 西条市 | 0.16 | 竹 | | | |
| 25 | 18 | 藤野山 | 個人 | 松山市 | 0.51 | 竹(砂刈竹) | (財)愛媛の森林基金 | 18 | |
| 26 | 18 | 旧林業試験場山 | 県 | 東温市 | 2.58 | スギ、ヒノキ、マツ | コスモ松山石油株式会社 | 45 | |
| 27 | 19 | 奈良原山 | 団体 | 今治市 | 24.83 | 広葉樹 | 奈良原山を育む会 | | |
| 28 | 19 | 長岡山公園 | 県 | 内子町 | 5.14 | スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹 | 内子町城廻自治会 | 50 | |
| 29 | 19 | 宅並山 | 団体 | 松山市 | 1.07 | 広葉樹 | 宅並山を育てる会 | | |
| 30 | 19 | 今治共有山 | 市 | 今治市 | 177.08 | スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹 | 企業の森づくり：太陽石油(株) | 50 | 今治市 太陽が育む森 |
| 31 | 19 | 宮内財産区 | 市 | 八幡浜市 | 113.47 | スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹 | | | |
| 32 | 19 | 西条市有林 | 市 | 西条市 | 49.78 | スギ、ヒノキ、マツ、広葉樹 | 企業の森づくり：(株)アサヒビール (社)新居浜シルバー人材センター | 105 169 | アサヒビール生命の森 |
| 33 | 20 | 森の交流センター | 県 | 東温市 | 5.20 | 広葉樹、針葉樹 | 農林水産部ボランティア推進グループ 園内森林ボランティア活動 | 113 505 | |
| 34 | 20 | 大洲市有林 | 市 | 大洲市 | 12.04 | 広葉樹、針葉樹 | 企業の森づくり：(株)伊予銀行 | 201 | 伊予銀行エバーグリーンの森 |
| 35 | 20 | 今治市有林玉川町鈍川 | 市 | 今治市 | 244.88 | 広葉樹、針葉樹 | 一部コープえひめ協定林 | 85 | コープえひめ未来の森 |
| 36 | 21 | 下川町 | 市 | 四国中央市 | 1.35 | 広葉樹(雑・草地) | | | |
| 37 | 21 | 寒川山 | 個人 | 四国中央市 | 2.33 | スギ、ヒノキ | | | |
| 38 | 21 | 川滝町 | 個人 | 四国中央市 | 0.68 | マダケ | | | |
| 39 | 21 | 別子山 | 市 | 新居浜市 | 6.60 | スギ、ヒノキ | | | |
| 40 | 21 | 船木 | 市 | 新居浜市 | 1.39 | ヒノキ | | | |
| 41 | 21 | 鈍川神子森奥 | 市 | 今治市 | 7.64 | スギ、ヒノキ、その他広葉樹 | | | |
| 42 | 21 | 法界寺 | 団体 | 今治市 | 1.35 | クスギ他 | | | |
| 43 | 21 | 久万1 | 町 | 久万高原町 | 0.38 | サクラ | | | |
| 44 | 21 | 久万2 | 町 | 久万高原町 | 4.46 | イチヨウ他4種 | | | |
| 45 | 21 | 菅生1 | 町 | 久万高原町 | 0.63 | ヤマザクラ他広葉樹 | | | |
| 46 | 21 | 菅生2 | 町 | 久万高原町 | 2.37 | 広葉樹 | | | |
| 47 | 21 | 東明神 | 町 | 久万高原町 | 1.02 | スギ、トチ、ヤマザクラ、ケヤキ | | | |
| 48 | 21 | 下畑野川 | 町 | 久万高原町 | 1.02 | サクラ、モミジ | | | |
| 49 | 21 | 直瀬1 | 町 | 久万高原町 | 0.32 | クスギ、コナラ、ケヤキ | | | |
| 50 | 21 | 直瀬2 | 町 | 久万高原町 | 2.56 | クスギ | | | |
| 51 | 21 | 直瀬3 | 町 | 久万高原町 | 0.40 | ヤマザクラ、イロハモミジ | | | |
| 52 | 21 | 中津 | 町 | 久万高原町 | 5.12 | サクラ他広葉樹 | | | |
| 53 | 21 | 緑 | 町 | 愛南町 | 2.46 | スギ、ヒノキ | | | |
| 54 | 21 | 僧都1 | 町 | 愛南町 | 10.57 | ヒノキ | | | |
| 55 | 21 | 僧都2 | 町 | 愛南町 | 18.00 | ヒノキ | | | |
| 56 | 21 | 南川 | 市 | 西条市 | 44.87 | ヒノキ、松、雑 | | | |
| 57 | 21 | 上瀬 | 県 | 愛媛県 | 21.21 | スギ、ヒノキ、雑 | | | |
| 58 | 21 | 北只 | 市 | 大洲市 | 1.15 | スギ、ヒノキ | | | |
| 59 | 21 | 椎ノ森 | 市 | 大洲市 | 5.26 | ヒノキ、竹、桜、雑 | | | |
| 60 | 21 | 中川 | 町 | 内子町 | 56.55 | スギ、ヒノキ | | | |
| 61 | 21 | 食場町 | 市 | 松山市 | 1.50 | スギ、ヒノキ | | | |
| 62 | 21 | 東温河之内 | 市 | 東温市 | 0.60 | スギ | | | |
| 63 | 21 | 砥部川登 | 町 | 砥部町 | 7.00 | クスギ、ケヤキ等広葉樹10種 | | | |
| 64 | 21 | 青波町 | 個人 | 松山市 | 1.10 | ヒノキ、クスギ他 | | | |
| 65 | 21 | 福見川町 | 個人 | 松山市 | 2.76 | スギ、ヒノキ | | | |
| 66 | 21 | 米野町 | 個人 | 松山市 | 2.00 | スギ、ヒノキ | | | |
| | | | | | 1,545.12 | | | 1,947 | |

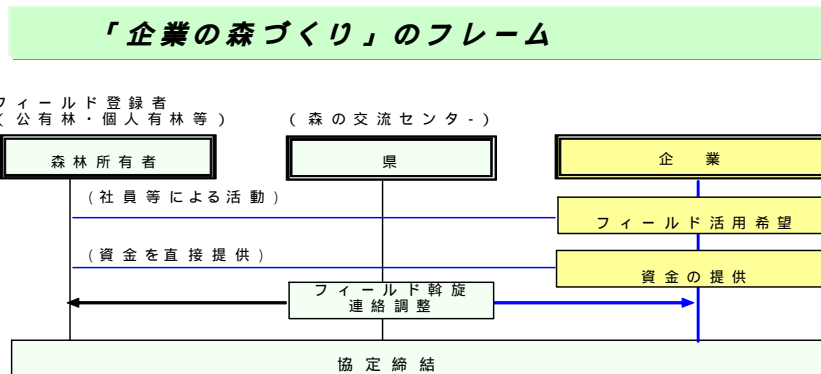
企業の森づくり推進

「企業の森づくり」森林づくり活動協定の実績

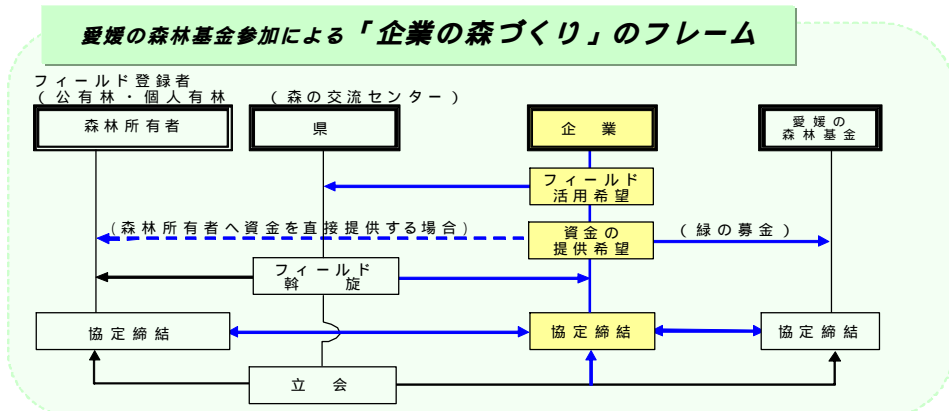
| 番号 | 企業名 | 森林所有者・場所 | 協定締結者 | 協定期間 | 協金 |
|----|--|--|---|--|--|
| 1 | 太陽石油(株) (協定名) 「今治市 太陽が育む森」 1期(協定締結日 平成19年8月22日) 2期(協定締結日 平成23年3月25日) | 今治市 市有林 41.80ha | 3者(タイプA) 太陽石油, 市, 県(斡旋) | 3年間 1期 19年8月22日 ~22年3月31日 2期 22年4月1日 ~25年3月31日 | 200万円/年 |
| 2 | アサヒビール(株) (協定名) 「アサヒビール ^{いのち} 生命の森」 (協定締結日 平成20年3月10日) | 西条市 市有林 49.78ha | 4者(タイプB) アサヒビール, 愛媛の森林基金, 市, 県(斡旋) | 3年間 20年3月10日 ~23年3月31日 | 3~6月売り上げの 一部(1本1円) 2,133,103円/H20年 |
| 3 | (株)愛媛銀行 (協定名) 「愛媛銀行ecHoの森」 (協定締結日 平成20年3月10日) | 愛媛県 県有林横谷事業所 38.16ha | 3者(タイプB) 愛媛銀行, 愛媛の森林基金, 県(森林所有者) | 5年間 20年4月1日 ~25年3月31日 | 50万円/年 |
| 4 | 愛媛トヨペット(株) (協定名) 「愛媛トヨペットの森」 (協定締結日 平成20年3月10日) | 愛媛県 県有林松瀬川事業所 5.63ha | 3者(タイプB) 愛媛トヨペット, 愛媛の森林基金, 県(森林所有者) | 3年間 20年4月1日 ~23年3月31日 | 100万円/3年 |
| 5 | (株)伊予銀行 (協定名) 「伊予銀行エバークリーンの森」 (協定締結日 平成20年10月31日) | 愛媛県 県有林松瀬川事業所 7.63ha 大洲市 市有林 7.62ha | 4者(タイプB) 伊予銀行, 愛媛の森林基金, 市, 県(森林所有者) | 5年間 20年10月31日 ~25年3月31日 | 100万円/年 |
| 6 | 生活協同組合コープえひめ (協定名) 「コープえひめ未来の森」 (協定締結日 平成21年3月25日) | 今治市 市有林 40.96ha | 3者(タイプA) 生活協同組合コープえひめ, 市, 県(斡旋) | 3年間 21年3月25日 ~24年3月31日 | 70万円/年 |

「企業の森づくり」のフレーム

Aタイプ



Bタイプ



(3) 実施状況



えひめ森林公園(拠点フィールド)



上灘(身近なフィールド)

「企業の森づくり」協定の締結式と森林づくりの状況



太陽石油(株)、今治市、県



今治市 太陽が育む森(今治市)



アサヒビール(株)、(株)愛媛銀行、愛媛トヨペット(株)、
(財)愛媛の森林基金、県



アサヒビール^{いのち}生命の森(西条市)



愛媛銀行 ecHo の森(松山市)



愛媛トヨペットの森(東温市)

森とくらす活動



㈱伊予銀行、大洲市、・愛媛の森林基金、県



伊予銀行エバーグリーンの森（大洲市）



生活協同組合コープえひめ、今治市、県



コープえひめ未来の森（今治市）



太陽石油㈱、今治市、県（第2期）



今治市 太陽が育む森（今治市）

4 事業期間 平成17年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 | |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-------|
| 計画 | ボランティア人数 | 1,800人 | 3,600人 | 3,600人 | 3,600人 | 3,600人 | 16,200人 | |
| | 身近なフィールド | 800人 | 800人 | 800人 | 800人 | 800人 | 4,000人 | |
| | 設置箇所数 | 拠点フィールド | 1箇所 | 1箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 2箇所 |
| | | 身近なフィールド | 50箇所 | 50箇所 | 50箇所 | 50箇所 | 50箇所 | 250箇所 |
| | 事業費 | 19,600千円 | 19,667千円 | 34,095千円 | 34,385千円 | 19,827千円 | 127,574千円 | |
| 実績 | ボランティア人数 | 0人 | 115人 | 300人 | 100人 | 353人 | 868人 | |
| | 身近なフィールド | 185人 | 364人 | 244人 | 1,803人 | 1,570人 | 4,166人 | |
| | 設置箇所数 | 拠点フィールド | 1箇所 | 1箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 2箇所 |
| | | 身近なフィールド | 18箇所 | 6箇所 | 6箇所 | 3箇所 | 31箇所 | 64箇所 |
| | 事業費 | 15,130千円 | 16,545千円 | 33,740千円 | 32,240千円 | 19,111千円 | 116,766千円 | |

「森はともだち」推進事業

小・中学校において、森林環境を大切にしている児童生徒を育てるために、「総合的な学習の時間」に森林をテーマにした体験学習を実施する事業実施校を設置し、実践的な研究を行います。

1 ポイント

森林は、森林所有者の財産であるだけでなく、様々な公益的機能を有しています。森林の保全や整備については、世代を超える年月と多くの労力を要することなどについて、多くの県民の理解を深めていくことが求められています。そのためには、義務教育の段階から森林環境に関する学習を進めていくことが有意義です。

そこで、「総合的な学習の時間」を活用して体験的に森林環境について学習する事業実施校を5校設置し、森林の保全や整備に関する理解を深めるとともに、森林環境を大切にしていこうとする態度を育て、森林環境保全意識をもった人づくりに貢献します。

2 事業内容

事業主体 愛媛県教育委員会義務教育課

事業内容

補助金交付先 市町（平成20・21年度指定公立小中学校5校）

補助金額 300千円×5校=1,500千円（補助10/10）

実施主体 市町

補助対象事業 「森はともだち」推進事業

- ・ 目的 森林環境を大切にしている児童生徒を育てる。

- ・ 事業実施校の設置

（平成20・21年度指定）公立小・中学校5校

西条市立橋小学校 伊予市立由並小学校 愛南町立緑小学校

今治市立菊間中学校 伊方町立三崎中学校

- ・ 活動例 「緑の少年団」活動を実施する。

身近な森林や河川、海の状況を調査する。

森林の植樹、枝打ち、間伐、清掃等の森林整備活動をする。

森林地域における野鳥や貴重な動植物の保護をする。

県産木材や竹材を利用したグッズ作成や炭づくりを行う。

「緑の少年団」活動を実施する。

地域生活における防災学習を行う。

3 平成21年度実績

(1) 実績額 1,575千円（事務費75千円含む。）

(2) 事業内容（20・21年度）

| 指定年度 | 事業実施校 | テーマ | 実施内容 | 参加人数 | 事業費 |
|--------|-----------|--|-------------------------------------|--------|---------|
| H20・21 | 西条市立橋小学校 | 心豊かにたくましく生きぬく橘っ子の育成 みどりの活動を通して | ・パイロット山探検・防災学習 ・間伐材工作・森林体験教室 | 399人 | 300千円 |
| H20・21 | 今治市立菊間中学校 | 体験活動を通して森への関心と理解を深め、森林環境を大切にしていこうとする態度を育てる | ・榎原山森林体験 ・間伐材木工 ・森林組合職場体験・河川の調査 | 258人 | 300千円 |
| H20・21 | 伊予市立由並小学校 | ふるさとを愛し、双海の自然と共に生きる児童の育成 | ・枝打ち体験 ・森のつみ木広場 ・ふるさとの海と森体験 | 218人 | 300千円 |
| H20・21 | 伊方町立三崎中学校 | 環境と森との関係を深く考えていくことのできる生徒の育成 | ・伽藍山自然観察 ・森を育てる活動 ・自然素材を使ったものづくり | 239人 | 300千円 |
| H20・21 | 愛南町立緑小学校 | 緑の自然に親しみ森を大切にしようとする児童の育成 | ・地域の山探検・炭焼き・椎茸植菌 ・間伐体験・地域の川と海の調査 | 124人 | 300千円 |
| 計 | | | | 1,238人 | 1,500千円 |

(3) 実施状況



間伐体験（三崎中）



森のつみ木広場（由並小）



クルミ取り（緑小）



橋防災キャンプ（橘小）



愛大農学部演習林実習（菊間中）

4 事業期間 平成18年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|-----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 計画 | ふれあう人数(人) | - | 1,230 | 2,460 | 2,460 | 1,230 | 7,380 |
| | 事業費(千円) | - | 1,575 | 3,150 | 3,150 | 1,575 | 9,450 |
| 実績 | ふれあう人数(人) | - | 836 | 1,546 | 1,491 | 1,238 | 5,111 |
| | 事業費(千円) | - | 1,575 | 3,150 | 3,150 | 1,575 | 9,450 |

自然観察会開催事業

次代を担う青少年を対象に、自然環境保全、野生動植物保護思想の醸成を図るため、自然保護活動体験、野外教育及び環境教育を行う自然観察会を開催します。

1 ポイント

森林と共生する文化の創造を県民一体となって推進するため、次代を担う青少年を対象に自然保護活動体験や野外教育、環境教育を行い、森林が野生鳥獣に生活の場を提供していることなど、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図ります。

2 事業内容

対 象 県内在住の小・中学生及びその保護者等

事業主体 愛媛県（自然保護課）

事業内容

講習会

専門家から森林や野生鳥獣の話聞く

自然観察

森林内に生息する野鳥や虫、草花を観察する

森林教室

木の良さや森林の有する公益的機能の理解促進を図る

3 平成21年度実績

(1) 実績額 1,134千円

(2) 実施内容

| | 開催日 | 場 所 | 内 容 | 参加者数 |
|-----|----------|------------------------------|-----------|------|
| 第1回 | 5月16日(土) | 石鎚国立公園 (久万高原町 面河溪谷) | 講習会、自然観察 | 65人 |
| 第2回 | 雨天中止 | | | |
| 第3回 | 11月7日(土) | 足摺宇和海国立公園 (松野町 滑床溪谷・河後森城) | 自然観察、森林教室 | 68人 |
| 計 | 2回 | | | 133人 |

(3) 実施状況



第1回 講習会(面河渓谷)



第1回 自然観察(面河渓谷)



第3回 森林教室(滑床渓谷)



第3回 自然観察(河後森城)

4 事業期間 平成18年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|--------|-----|--------------------------|---------------------------------|--|----------------------------------|---------|
| 計画 | ふれあう人数 | - | 210人 | 210人 | 210人 | 210人 | 840人 |
| | 事業費 | - | 1,900千円 | 1,900千円 | 1,900千円 | 1,900千円 | 7,600千円 |
| 実績 | ふれあう人数 | - | 179人 | 177人 | 266人 | 133人 | 755人 |
| | 事業費 | - | 1,593千円 | 1,015千円 | 1,227千円 | 1,134千円 | 4,969千円 |
| 実施箇所 | | - | 県立自然公園(皿ヶ嶺連峰、四国カルスト、金砂湖) | 石鎚国定公園(面河渓谷、瓶ヶ森)足摺宇和海国立公園(滑床渓谷) | 瀬戸内海国立公園(桜井海岸)石鎚国定公園(面河渓谷)佐田岬半島国立自然公園(権現山) | 石鎚国定公園(面河渓谷)足摺宇和海国立公園(滑床渓谷、河後森城) | |

森とのふれあい活動促進事業

森林づくりを行う青少年や県民の皆様の活動を支援し、森とのふれあい活動を促進します。

1 ポイント

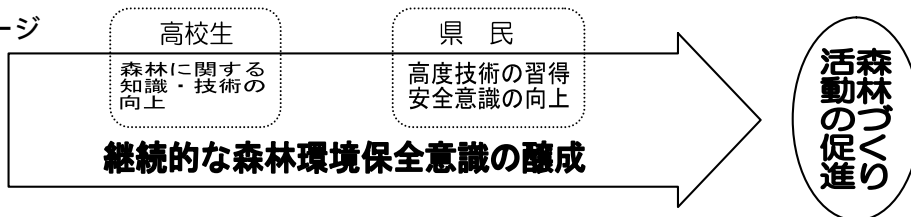
森林を県民共有の財産として守り育て、次の世代に健全な姿で引き継いでいくことを目的として、各世代における森林づくり活動をサポートし、継続的な森林環境保全意識の醸成を行います。

まず、意識的・体力的に比較的高いレベルにありながら、森林環境教育の機会が少ない高校生においては、森林ボランティア活動等の専門分野を含めた講習及び技術指導を行い、積極的に森林づくり活動への参加を促進します。

すでに高い森林保全意識をもって森林づくり活動を実施している県民においては、より一層の技術や安全意識の向上を図るため、技術研修及び交流研修会を実施します。

2 事業内容

事業イメージ



3 平成21年度実績

(1) 実績額 2,600千円

(2) 事業内容

森林づくり県民活動推進事業

【事業概要】

青少年の育成：高校生を対象として、森林環境教育と森林保全活動の技術指導を行うための合宿を実施

一般県民の育成：・森林づくり技術の安全教育を実施

・森林づくり活動や森とふれあう活動を行うグループの技術交流研修会の実施

(3) 実施状況

青少年の育成（森にとける - 高校生の夏 - ）

愛媛大学農学部附属演習林を拠点に、4泊5日の合宿で19名の高校生が座学や現地体験、グループ討議に熱心に取り組みました。

| 日程 | 内容 | 講師・指導者等 |
|--------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 平成21年8月1日(土) | 講演「愛媛県の森林・林業の現状と課題」 | 愛媛県農林水産部森林局長 相原誠一 |
| 平成21年8月2日(日) | 講義「木竹材の炭化法と炭焼きの現代的意義」 現地体験 炭焼き | 愛媛大学農学部教授 鶴見武道 えひめ森林ボランティア連絡協議会会員 |
| 平成21年8月3日(月) | 現地体験 窯開け・出炭 現地体験 枝打ち・間伐 | 愛媛大学農学部教授 鶴見武道 演習林技術専門職員 河野修一 |
| 平成21年8月4日(火) | 現地体験 石鎚山系森林生態系保護地域調査 | 面河山岳博物館学芸員 岡山健仁 えひめ森林ボランティア連絡協議会会員 |
| 平成21年8月5日(水) | 成果発表会(グループ討議まとめ) | えひめ森林ボランティア連絡協議会会員 |



石鎚山系森林生態系保護地域調査



発表会(グループ討議まとめ)

森とくらす活動

一般県民の育成（森林ボランティア交流研修会）

えひめ森林ボランティア連絡協議会会員を中心とした、県内で森林ボランティア活動を行う42名が、2つのコースに分かれて1泊2日の研修を行い、意見交換や実地体験などを通じて、技術の向上を図りました。

ア 安全技術・技能習得制度研修

| 日程 | 内 容 | 場 所 |
|----------------------|-------------------------------|-----------|
| 平成 21 年 12 月 12 日(土) | 技術講習 丸太切り実習、目立て実習、チェーンソー実習 | 大洲青少年交流の家 |
| 平成 21 年 12 月 13 日(日) | 技術講習 伐倒実習、補助具使用実習 参加団体活動発表 | |

イ 環境保全に関する研修

| 日程 | 内 容 | 場 所 |
|----------------------|---|-----------|
| 平成 21 年 12 月 12 日(土) | 講演 「“緑のダム”の保続」 - 森林の公益的機能 - (宇都宮大学名誉教授 藤原 信) 技術講習 炭焼き | 大洲青少年交流の家 |
| 平成 21 年 12 月 13 日(日) | 技術講習 窯開け 参加団体活動発表 | |



技術講習（目立て実習）



講 演



技術講習（炭焼き）

一般県民の育成（県民参加の森林づくり活動安全研修）

県内から公募で集まった20名の研修生が、県林業研究センターにおいて伐木造材作業等に関する基本知識や安全確保の技術について、座学と実技に取り組みました。

| 日程 | 内 容 |
|---------------------|---|
| 平成 22 年 2 月 20 日(土) | 座学「愛媛県における林業労働災害の現状について」 座学「森林・林業における安全作業の基本」 実習「ソーチェーンの目立て」「チェーンソーの操作」 |
| 平成 22 年 2 月 21 日(日) | 実習「伐木及び林業作業に必要な技術」「チェーンソーの収納」 |



座学「愛媛県における林業労働災害の現状」



実習「チェーンソーを使った伐倒」

4 事業期間 平成19年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|--------------|-----|-----|---------|---------|-------|---------|
| 計 画 | 少年団新規結成団数(団) | - | - | 20 | 30 | - | 50 |
| | (団員数(人)) | - | - | (800) | (1,200) | - | (2,000) |
| | 森にふれあう人数(人) | - | - | 80 | 480 | 80 | 640 |
| | 事業費(千円) | - | - | 6,227 | 9,662 | 2,908 | 18,797 |
| 実 績 | 少年団新規結成数(団) | - | - | 13 | 10 | - | 23 |
| | (団員数(人)) | - | - | (1,074) | (2,643) | - | (3,717) |
| | 森にふれあう人数(人) | - | - | 80 | 84 | 81 | 245 |
| | 事業費(千円) | - | - | 4,766 | 5,317 | 2,600 | 12,683 |

フォレスト・マイスター養成支援事業（一部森林環境税事業）

公益的機能を持つ森林を面的・効率的に整備する林業技術者(フォロスター)と作業管理者(フォロスト・マイスター)を養成するとともに、異業種から参入する事業者及び従事者に林業技術者を養成する研修を実施します。

1 ポイント

森林の持つ公益的機能を発揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要がある。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少・高齢化が進行しており、時代の要請に即した林業担い手の確保が急務となっている。

このため、県では就業初心者現場作業に必要な基本的知識・技術・資格を取得する研修を実施し、現場作業を行う林業技術者(フォロスター)を養成するとともに、現場リーダー及び現場作業の管理者(フォロスト・マイスター)を養成し、林業担い手の確保育成を図る。

さらに、異業種から林業界へ新規に参入する事業者に対し、林業の基礎知識等に関する研修会や従業員を林業技術者に養成する研修を実施し、幅広く林業の担い手を確保することとしている。

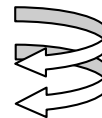
2 事業内容

| | |
|---|--|
| (1)フォロスター養成コース 対象人数 年間7名 (実績10名) 研修期間 20日間 | 森林整備に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 (緑の雇用担い手確保育成対策事業と共催で実施) 講習・実習内容 林業の基礎知識、造林技術、育林技術、伐採技術、機械の構造と仕組み、森林病虫獣害の防除 取得資格 玉掛技能講習、小型車両系建設機械運転特別業務、林内作業車を使用する集材作業従事者安全教育 |
| (2)フォロスト・マイスター養成初級コース 対象人数 年間12名 (実績11名) 研修期間 40日間 | 現場リーダーに必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 講習・実習内容 測量、選木、木材搬出実習、収穫技術、市場体験、素材評価、木材加工、集材機械操作、林道設計・開設、特用林産、森林・林業行政、育苗技術 取得資格 林業架線作業主任者免許、はい作業主任者技能講習、小型移動式クレーン運転技能講習、フォークリフト運転技能講習 |
| (3)フォロスト・マイスター養成上級コース 対象人数 年間12名 (実績5名) 研修期間 40日間 | 高性能林業機械活用およびコスト管理に必要な知識・技術・資格等の研修 講習・実習内容 高性能林業機械の基本操作、高性能林業機械の構造と仕組み、クワ-ヤダ-架設・撤収、システム運用実習、間伐作業の技術・経営・コスト管理 取得資格 大型車両系建設機械技能講習、不整地運搬車技能講習 |
| (4)異業種等新規参入促進支援事業 対象人数 年間6名 (実績13名見込) 研修期間 1~3ヶ月 (実績5名) | 参入研修(事業者) 森林林業の基礎知識や参入に必要な資格制度の周知、林業現地研修 林業従事者研修(従業員) 先進林業事業者へ派遣、OJT研修 ・対象人数：6名 ・研修期間：1~3ヶ月 |

(1)~(3)の事業主体は県、(4)の事業主体は林業労働力確保支援センターである。

事業イメージ

| 対象者 | 研 修 名 |
|--------|--|
| 初心者 | 林業就業支援事業、異業種等新規参入促進支援事業 |
| 現場作業員 | フォロスター養成コース 緑の雇用担い手対策事業 } 共催で実施 |
| フォロスター | フォロスト・マイスター養成初級コース フォロスト・マイスター養成上級コース |



ステップアップ
ステップアップ

フォロスト・マイスターに認定

3 平成21年度実績

(1) 実績額13,730千円(うち森林環境税9,885千円充当)

森とくらす活動

(2)実施状況

フォロスター養成コース



フォレスト・マイスター養成初級コース



フォレスト・マイスター養成上級コース



異業種等新規参入促進支援事業



4 事業期間 平成20年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|--------------------------|-----|-----|-----|--------|--------|--------|
| 計 画 | フォロスター養成コース(研修人数) | - | - | - | 7 | 7 | 14 |
| | フォレスト・マイスター養成初級コース(研修人数) | - | - | - | 12 | 12 | 24 |
| | フォレスト・マイスター養成上級コース(研修人数) | - | - | - | 12 | 12 | 24 |
| | 異業種等新規参入促進支援事業(研修人数) | - | - | - | - | 6 | 6 |
| | 事業費(千円) | - | - | - | 11,537 | 11,987 | 23,524 |
| 実 績 | フォロスター養成コース(研修人数) | - | - | - | 3 | 10 | 13 |
| | フォレスト・マイスター養成初級コース(研修人数) | - | - | - | 8 | 11 | 19 |
| | フォレスト・マイスター養成上級コース(研修人数) | - | - | - | 9 | 5 | 14 |
| | 異業種等新規参入促進支援事業(研修人数) | - | - | - | - | 13 | 13 |
| | 事業費(千円) | - | - | - | 9,132 | 9,885 | 19,017 |

林業普及指導事業（一部森林環境税事業）

森林そ生プロジェクトの成果を県下に普及するため、地域の林業関係者等が推進団地での取り組みを体験するとともに、普及用の広報誌を発行します。

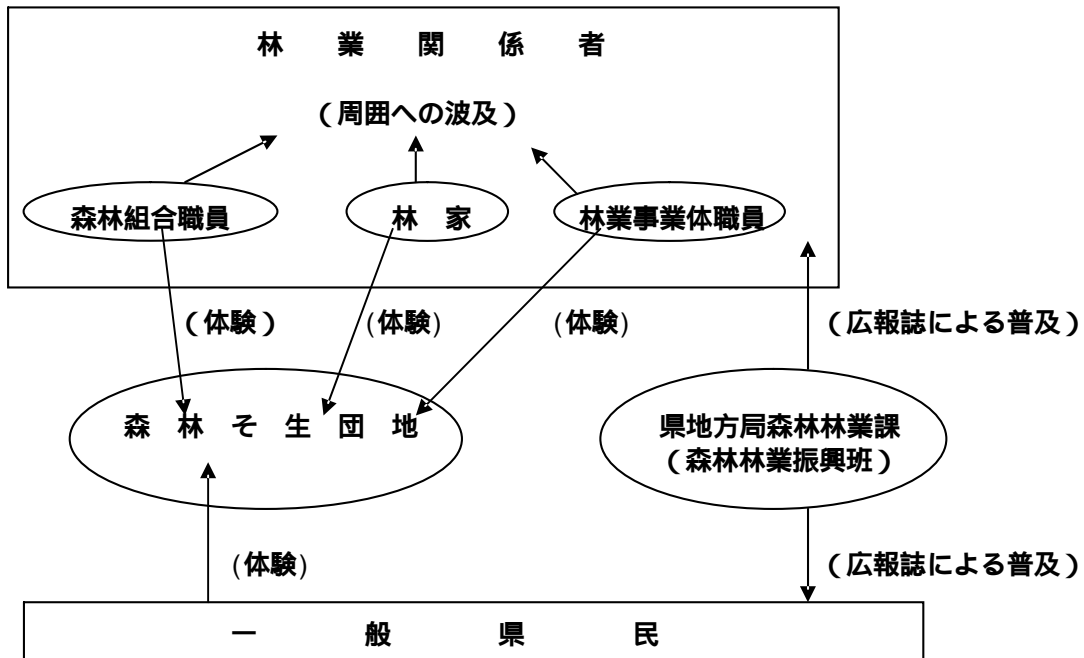
1 ポイント

森林そ生推進団地の成果を普及し、そ生団地を県下全域に広げるために、森林に関わる地域の構成員や森林整備担い手等が推進団地での取り組みを体験します。さらに、森林そ生プロジェクトの県全体への普及を目的とした情報誌を発行します。

2 事業内容

| | |
|------------|---|
| 事業内容 | 各地区に設けられた推進団地で、森林に関わる地域の構成員や森林整備担い手等に対し技術指導や施業効果を体験させ、森林 GIS 等の試験研究成果を活用した新たな団地設定に取り組むとともに、広くプロジェクトを普及するための情報誌を発行する。 |
| 事業期間 | 平成 20 年度～平成 21 年度 |
| 実施主体 | 県下 9 地区（各地方局森林林業課（森林林業振興班）） |
| 対象者実施回数 | 推進団地体験：森林に関わる地域の構成員、森林整備担い手等 県下 9 地区、1 回 25 名、年間 2 回実施 計 450 名（実績 500 名） 情報誌発行：県下 9 地区、各 2,000 部 計 18,000 部 |
| 推進団地での事業内容 | 今後推進すべき高性能林業機械（ルベスタ+グラップル+フォワーダ）を使用した高生産性作業システムを体験（操作・見学等）させ、森林そ生プロジェクトを普及する。 ルベスタ：立木の伐採・玉切り グラップル：伐倒木の集材、玉切り丸太のフォワーダへの積み込み フォワーダ：玉切り丸太を土場まで搬出 |

事業主体 県
事業イメージ



3 平成 21 年度実績

(1) 実績額 2,111 千円（全体事業費 10,787 千円）

(2) 実施状況

現地研修



室内研修



広報誌

林業広報 森林そ生プロジェクト普及事業情報誌

発行所 愛媛県南予地方局森林林業課
〒798-8511 愛媛県宇和島市天神町7番1号
電話 0895-22-5211 (内線: 332,333)

はじめに

愛媛県では、「えひめ森林そ生プロジェクト」と銘打ち、平成18年度より木材生産から加工・流通に至るまでの総合的な施策を進めているところです。

この中で南予流域においては、木材生産を担う川上対策に取り組むため、「南予流域森林そ生プロジェクト」を創設し、従来の分散的な森林施策から、面的なまとまりのある団地を形成した、搬出間伐主体の低コスト施策への転換を推進しています。

うち、宇和島市、鬼北町及び松野町を対象とする宇和島指導区では、南予森林組合を中心に、川之内団地(宇和島市)、祝森・山財団地(宇和島市)、舟の川・北川団地(鬼北町)の3団地を設定しており、団地の取りまとめ、基盤整備、施策の効率化に取り組んでいるところです。

昨年度のプロジェクトの取組結果・課題を踏まえ、森林所有者を対象とした研修会を2回、組合、林業事業者、市町等を対象とした研修を2回、計4回開催しました。



平成21年度森林そ生プロジェクト普及事業 宇和島指導区実施状況

| 区分 | 開催日 | 概要 | 場所 | 対象 | 人数 |
|----|-----------|--|---------------------|-------------------------------|-----|
| 会議 | H21.5.20 | 森林所有者等への事業周知 「団地化にかかる境界明確化」 講師：林業普及指導員 | 愛媛県宇和島庁舎 | 森林所有者 森林組合職員 市町林業担当職員 | 36人 |
| | H21.7.21 | 森林所有者等への事業周知 「団地化にかかる境界明確化」 講師：林業普及指導員 | 松野町町民センター | 森林所有者 森林組合職員 市町林業担当職員 | 14人 |
| 研修 | H21.5.15 | 先進的な林業事業者への視察 「高性能林業機械の作業システム」 視察先：藤岡林業株式会社 | 内子町立川 | 森林組合職員/作業班員 | 5人 |
| | H21.11.30 | 団地施策の推進 「団地施策における事業管理手法」 講師：(株)エフシー、(株)葉測量設計 | 鬼北町町民会館 舟の川・北川団地 | 森林組合職員 認定林業事業者 市町林業担当職員 | 19人 |

4 事業期間 平成20年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|-------------|-----|-----|-----|--------|--------|--------|
| 計 | 推進団地体験者数(人) | - | - | - | 450 | 450 | 900 |
| | 広報誌発行部数(部) | - | - | - | 18,000 | 18,000 | 36,000 |
| 画 | 事業費(千円) | - | - | - | 4,289 | 4,289 | 8,578 |
| | 推進団地体験者数(人) | - | - | - | 500 | 500 | 1,000 |
| 実 | 広報誌発行部数(部) | - | - | - | 18,000 | 18,000 | 36,000 |
| | 事業費(千円) | - | - | - | 3,489 | 2,111 | 5,600 |

「森のめぐみ 木のものがたり展」開催事業

県博物館の資料と施設を地域資源として活用し、森林の自然と歴史に対する県民の理解を深め、森林と共生する文化の創造に貢献するため、「森のめぐみ 木のものがたり展」を開催します。

1 ポイント

愛媛の人々は太古の昔から森林環境に対する知識をはぐくみ、森林と共生してきました。愛媛の森林や木にはどんな特質があり、人々は森とどう付き合い、その資源をどう活用し、森をどのように育てようとしたのでしょうか。その歩みを紐解き、木に親しむことは、明日の森林づくりのために欠かすことはできません。

そのため、県博物館の資料と施設を地域資源として活用し、県内博物館施設等で、森林の自然と歴史をテーマとした総合的な展覧会を巡回して開催し、広く内容を県民に公開することで、森林の自然と歴史の理解を深め、森林と共生する文化の創造に貢献します。

2 事業内容

会場及び展示期間

| 区 分 | 会 場 | 期 間 | 観覧者数 (人) |
|------|------------------------|--------------------------------|-------------|
| 中予会場 | 生涯学習センター（松山市）企画展示室 | H21.9.5(土)～9.23(祝)【17日間】 | 293 |
| 南予会場 | 歴史文化博物館（西予市）企画展示室 | H21.11.14(土)～H22.1.31(日)【62日間】 | 16,424 |
| 東予会場 | 総合科学博物館（新居浜市）企画展示室前ロビー | H22.2.6(土)～3.14(日)【30日間】 | 11,783 |
| 計 | | 【開催日計 109日間】 | 28,500 |

入場料 無料

展示構成

| | |
|-----------------------|--|
| 木を知ろう 森を知ろう 【自然部門】 | 猿掛松（西予市）等の巨木年輪標本や、愛媛の森林の植物標本など、森林に関する自然史資料を展示。 |
| 森と人とのものがたり 【歴史部門】 | 高度成長期以前、戦前戦後の愛媛の山間部や林業に生きた人々の暮らしの写真パネルを展示。 |
| 木とのふれあい 【体験】 | 木製の玩具やパズルなど、子どもが気軽に木に触れることができるスペースを設置。 |
| 巡回資料の他、各館で収蔵品を拡充展示。 | |

森とくらす活動

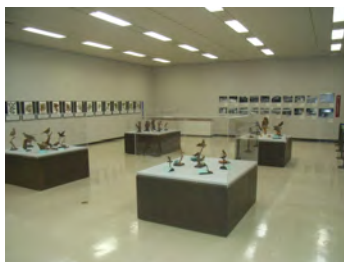
3 平成21年度実績

(1) 実績額 897 千円

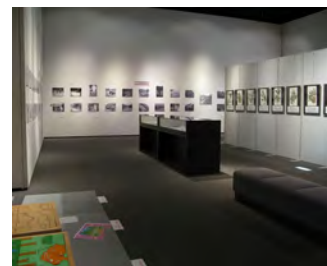
(2) 実施状況



「森のめぐみ」チラシ



生涯学習センター会場



歴史文化博物館会場



総合科学博物館会場

4 事業期間 平成20年度～平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|------|------------|-----|-----|-----|--------------------------------------|---|--------|
| 計画 | 展覧会観覧人数(人) | | - | - | 30,000 | 30,000 | 60,000 |
| | 事業費(千円) | | - | - | 1,898 | 1,012 | 2,910 |
| 実績 | 展覧会観覧人数(人) | | - | - | 30,769 | 28,500 | 59,269 |
| | 事業費(千円) | | - | - | 1,580 | 897 | 2,477 |
| 実施箇所 | | | - | - | (1)県立博物館 (2)歴史文化博物館 (3)総合科学博物館 | (1)生涯学習センター (2)歴史文化博物館 (3)総合科学博物館 | |

「森の学校」開催事業(H21 新規)

幼児期において、森林の中で、五感による自然体験を行うことは、子供の豊かな情操を育むとともに、森林に対する理解促進にもつながる意義深いものです。そのため森を舞台に幼児を対象とした行事を開催します。

1 ポイント

県内各地（東・中・南予）において、幼稚園や保育所の園児とその関係者を対象とした森林観察会を開催する。森にすんでいる生き物の紹介や、森にあるものを使った遊びを通して、森の大切さを子供の頃から認識してもらう内容とします。

また、総合科学博物館を会場に、森に親しむイベント「タネで遊ぼう！」を開催します。

2 事業内容

(ア)「森の学校」開催事業

| 講座名 | 実施月日 | 対象 | 実施場所 | 参加人数 |
|--------------------|---------------------------|-------|------------------------|---------------------|
| 森のようちえん | 平成 21 年 10 月 5 日 | 大洲幼稚園 | 大洲城 (大洲市大洲) | 園児 50 名 |
| | 平成 21 年 10 月 27 日 | 伊予幼稚園 | 伊曾能神社 (伊予市宮下) | 園児 50 名 |
| | 平成 21 年 11 月 12 日 | 神郷幼稚園 | 田上神社 (新居浜市田の上) | 園児 50 名 |
| 親子森林観察会 森はともだち! | 平成 21 年 11 月 3 日 | 一般 | 新居浜市民の森 (新居浜市船木) | 園児 17 名 保護者 16 名 |
| | 平成 21 年 11 月 14 日 | 一般 | 松山総合公園 (松山市朝日ヶ丘) | 園児 17 名 保護者 14 名 |
| | 平成 21 年 11 月 22 日 | 一般 | 宇和島城・城山公園 (宇和島市丸の内) | 園児 12 名 保護者 8 名 |
| 参加者合計 | 園児 196 名 保護者 38 名 計 234 名 | | | |

対象 各地の幼稚園・保育所の園児とその関係者

森のようちえん：幼稚園単位で募集・定員園児 50 名

親子森林観察会森はともだち!：一般募集・定員親子計 40 名

(イ)森に親しむイベント「タネで遊ぼう」(参加無料)

木の実や種子を使った工作やゲームを行い、親子連れなどの参加者に対し、森林に関する理解を深めてもらった。

会場 総合科学博物館エントランスホール

開催日 平成 21 年 11 月 7 日、8 日

参加者 7 日 653 名、8 日 872 名 計 1,525 名(開館 15 周年記念イベントと共催)

3 平成 21 年度実績

(1) 実績額 697 千円

森とくらす活動

(2) 実施状況
「森の学校」開催事業



「森はともだち！」チラシ



「森のようちえん」実施状況



「森はともだち！」実施状況

森に親しむイベント「タネで遊ぼう」



「タネで遊ぼう！」実施状況

「タネで遊ぼう！」チラシ

4 事業期間 平成21年度

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 |
|--------|------------------|-----|-----|-----|-----|-------------------------------|-------|
| 計 画 | 「森の学校」参加人数(人) | - | - | - | - | 240 | 240 |
| | 「タネで遊ぼう！」参加人数(人) | - | - | - | - | 1,000 | 1,000 |
| | 事業費(千円) | - | - | - | - | 1,002 | 1,002 |
| 実 績 | 「森の学校」参加人数(人) | - | - | - | - | 234 | 234 |
| | 「タネで遊ぼう！」参加人数(人) | - | - | - | - | 1,525 | 1,525 |
| | 事業費(千円) | - | - | - | - | 697 | 697 |
| 実施箇所 | | - | - | - | - | 県内6箇所 新居浜市民の森 松山市総合公園ほか | |

(2) 公募事業

県民参加の森づくり公募事業

県民の皆様の豊かな発想を施策に反映するとともに、県民の皆様が自発的に取り組む森林の利活用等の活動を支援することで、森林に対する県民参加の具体化を図るため、広く県民の皆様からの事業提案を募集します。

1 ポイント

県が創設した「森林環境税」の目指す、「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県として取り組む森林環境税事業としてふさわしい施策を、広く県民から公募します。

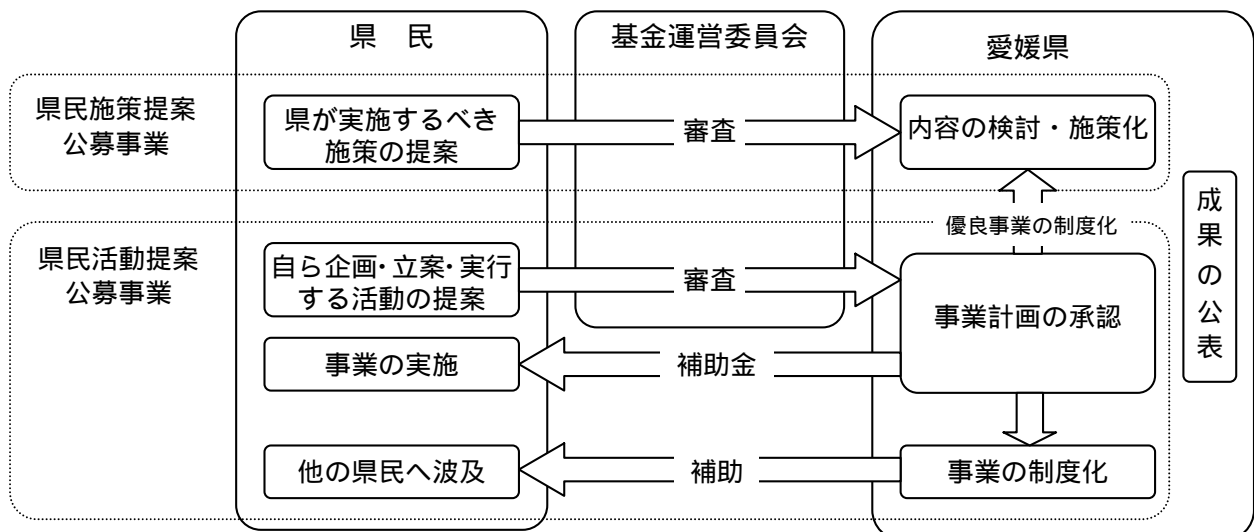
また、県民参加の具体性を確保し、県民の自発的な活動を促進するため、県民自らが企画・立案・実行する活動を公募し、補助するほか、補助した事業については、他の県民にも波及するよう制度化するとともに、必要に応じて県としての施策化も検討します。

2 事業内容

愛媛県森林環境保全基金公募事業募集要領に基づき、以下のとおり県民からの事業提案を募集します。また、事業の選定は、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県で審査・検討のうえ、決定します。

| | |
|----------------|---|
| (1) 県民施策提案公募事業 | <p>【事業概要】 森林環境税を財源として県が実施するべき施策を広く県民から募集し、審査・検討のうえ、県実施事業としてふさわしいものについて施策化を検討します。</p> |
| (2) 県民活動提案公募事業 | <p>【事業概要】 森林環境税の趣旨に即し、県民が自ら企画・立案・実行する活動を広く募集し、審査・選定のうえ、適当と認めるものについては、事業実施に要する必要最小限の経費に対し、補助金を交付します。</p> <p>【対象となる事業の概要】 森とくらす活動に関する事業 森林環境教育、森林保全活動、森林ボランティア活動等 森をつくる活動に関する事業 放置森林、放置竹林、里山林等の整備活動等 木をつかう活動に関する事業 木材利用推進活動、木工広場の開催等</p> <p>【補助率】 事業費 500 千円以下の部分 事業費と同額 事業費 500 千円を超える部分 1/2 ただし上限事業費 2,000 千円とする。</p> |

3 事業イメージ



4 平成21年度実績

県民施策提案公募事業

施策提案 0件

県民活動提案公募事業

(1) 実績額 25,416千円

(2) 実施内容

合計69件の応募があり、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県において厳正に審査のうえ、申請いただいた事業の全てを採択し、この内66件が実施されました。

県民活動提案公募事業一覧表

| 大区分 | 小区分 | 要望事業費等 | | | 県選定事業費等 | | | 実施事業費等 | | |
|-------|------|--------|------------|------------|---------|------------|------------|--------|------------|------------|
| | | 件数 | 事業費 | 補助金額 | 件数 | 事業費 | 補助金額 | 件数 | 事業費 | 補助金額 |
| 森をつくる | 間伐 | 9 | 3,913,142 | 3,818,000 | 9 | 3,740,902 | 3,698,000 | 9 | 3,558,702 | 3,503,000 |
| | 植樹 | 12 | 5,041,250 | 5,038,000 | 12 | 5,001,250 | 4,998,000 | 12 | 5,076,076 | 4,974,000 |
| | 竹林整備 | 3 | 994,777 | 993,000 | 3 | 940,047 | 938,000 | 3 | 944,130 | 938,000 |
| | 環境整備 | 5 | 2,019,700 | 993,000 | 5 | 1,941,700 | 1,940,000 | 5 | 1,875,522 | 1,841,000 |
| | 小計 | 29 | 11,968,869 | 10,842,000 | 29 | 11,623,899 | 11,574,000 | 29 | 11,454,430 | 11,256,000 |
| 木をつかう | 木材普及 | 9 | 5,217,817 | 4,846,000 | 9 | 4,640,317 | 4,307,000 | 8 | 4,336,498 | 4,061,000 |
| | 木工 | 15 | 5,999,110 | 5,751,000 | 15 | 5,309,570 | 5,125,000 | 14 | 4,892,344 | 4,768,000 |
| | 小計 | 24 | 11,216,927 | 10,597,000 | 24 | 9,949,887 | 9,432,000 | 22 | 9,228,842 | 8,829,000 |
| 森とくらす | 環境教育 | 9 | 3,015,920 | 3,013,000 | 9 | 2,625,920 | 2,623,000 | 8 | 2,637,598 | 2,595,000 |
| | 森林体験 | 4 | 1,667,250 | 1,666,000 | 4 | 1,667,250 | 1,666,000 | 4 | 1,625,158 | 1,624,000 |
| | 炭焼 | 3 | 1,158,200 | 1,155,000 | 3 | 1,113,200 | 1,112,000 | 3 | 1,116,552 | 1,112,000 |
| | 小計 | 16 | 5,841,370 | 5,834,000 | 16 | 5,406,370 | 5,401,000 | 15 | 5,379,308 | 5,331,000 |
| 合計 | | 69 | 29,027,166 | 27,273,000 | 69 | 26,980,156 | 26,407,000 | 66 | 26,062,580 | 25,416,000 |

5 全体計画

| 事業内容 | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 計 | |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|------|
| 計画 | 公募事業参加者数 | 1,800人 | 5,400人 | 10,800人 | 10,800人 | 10,800人 | 39,600人 | |
| | 事業費 | 20,000千円 | 30,000千円 | 30,000千円 | 30,000千円 | 30,000千円 | 140,000千円 | |
| 実績 | 公募事業参加者数 | 8,764人 | 13,595人 | 15,060人 | 16,990人 | 18,121人 | 72,530人 | |
| | 事業費 | 17,695千円 | 27,995千円 | 28,909千円 | 26,267千円 | 25,416千円 | 126,282千円 | |
| | 実施状況 | 応募件数 | 83件 | 70件 | 72件 | 75件 | 69件 | 369件 |
| | | 実施件数 | 41件 | 69件 | 71件 | 68件 | 66件 | 315件 |

平成21年度県民活動提案公募事業一覧

| 項目 | 整理番号 | 箇所 | 事業主体 | 区分 | 事業名 | 事業の概要 | 補助金額(円) |
|-------|------|-------|---------------------|----|----------------------------|---|---------|
| 森をつくる | 1 | 新居浜市 | 角野愛護班連絡協議会 | 間伐 | えんとつ山プロジェクト「歴史と環境の森」自然体験学習 | 地域のシンボルの「えんとつ山」で、小学生の愛護班が中心となり、間伐や竹林整備などの体験会を開催した。 | 305,000 |
| | 2 | 砥部町 | えひめ学生森林ボランティア | 間伐 | えひめ学生遊々の森 | 県内の大学生や高校生を対象に、国有林と協定した「えひめ学生遊々の森」で間伐や枝打ちを実施した。 | 450,000 |
| | 3 | 松山市 | 北条林業研究会 | 間伐 | 高縄山系(旧北条市)森林環境整備 | 地域で親しまれている宅並山の登山道沿いの放置林を間伐し、市民の森づくりへの意識向上を図った。 | 500,000 |
| | 4 | 東温市 | ふくさの森の会 | 間伐 | ふくさの森の体験会 | 地域の元集会所とその周辺森林で、森とふれあえる間伐体験、講演会、シイタケ植菌体験など開催した。 | 425,000 |
| | 5 | 東温市 | えひめ千年の森をつくる会 | 間伐 | バイオマスクリスマスinクールスモール2009 | 間伐材の有効利用の方策として、木質バイオマスの利用を普及するため、間伐体験会やペレットストーブなどの利用体験会を開催した。 | 431,000 |
| | 6 | 西予市 | 城川町林業研究会 | 間伐 | 竜沢寺緑地公園森林浴の森づくり | 森林浴全国100選に選定されている「竜沢寺緑地公園」の周辺森林を伐採し、自然に親しむ場を整備を行った。 | 122,000 |
| | 7 | 松野町 | 滑床千年の森をつくる会 | 間伐 | 滑床ふれあいの森 | 源流森林への関心を高めるため、国有林と協定した「滑床ふれあいの森」のヒノキ林の間伐や自然観察を開催した。 | 491,000 |
| | 8 | 松野町 | 森の国山城の会 | 間伐 | 史跡河後森城跡の中世の森づくり | 放置されている里山を、地域住民により整備(間伐、下刈り)し、自然観察会を開催した。 | 240,000 |
| | 9 | 四国中央市 | 特定非営利活動法人倫理生活指導センター | 間伐 | 森林の再生と間伐材の有効活用を図る | 地域の森林の間伐作業を行う。また、産出された間伐材を活用して親子木工教室を開催した。 | 539,000 |
| | 10 | 西条市 | 東予流域林業活性化センター | 植樹 | 石鎚水源の森づくり | 川下住民が、放置森林の間伐や山桜の植樹を行うことにより保水力の高い水源林づくりを行った。 | 499,000 |
| | 11 | 新居浜市 | いいはま環境市民会議 | 植樹 | 森を取り戻そうプロジェクト | 市民から参加を募り、植樹、下刈り、枝打ちなどをとおして、混交林の森づくりを行った。 | 498,000 |
| | 12 | 東温市 | えひめ学生森林ボランティア | 植樹 | えひめ学生の森 | 県内の大学生や高校生を対象に、東温市の「えひめ学生の森」で植樹などを実施した。 | 498,000 |
| | 13 | 松山市 | 宅並山を育てる会 | 植樹 | 森とくらす活動(植樹等) | 地域住民に親しまれる「宅並山」を整備するとともに、地元小学校と連携し、桜・紅葉などの植樹活動を行った。 | 460,000 |
| | 14 | 松山市 | 松山市小野公民館上苑屋分館 | 植樹 | 明神ヶ鼻ドングリの森づくり | 地域に親しまれる里山を整備するため、地域住民がクヌギなどの広葉樹を植樹した。 | 437,000 |
| | 15 | 松山市 | NPO法人松山子ども劇場21 | 植樹 | 里山を再生して子どもと一緒に遊ぼう(パート) | 子ども達と一緒に整備している里山「とよかたの森」の林内整理や植樹によって、より活動しやすいフィールドに整備を行った。 | 293,000 |
| | 16 | 松山市 | 松山市立日浦小・中学校PTA | 植樹 | 日浦の森はみんなの森 | 小中学校のPTAが、日浦地域の森林への理解を高める活動として、植樹や炭焼きなど体験会を開催した。 | 500,000 |
| | 17 | 松山市 | オイスカ愛媛県支局 | 植樹 | 森を体感してみよう「オイスカの森」INえひめ | 松山市民の水源林への関心を高めるため、水源かん養林の下刈りや広葉樹の植樹などを行った。 | 500,000 |
| | 18 | 久万高原町 | 柳谷壮年会 | 植樹 | さくらの里づくり | 急速に過疎化が進み放置森林が増加している久万高原町柳谷地区に「ふるさとづくり」として桜を植樹した。 | 300,000 |
| | 19 | 大洲市 | 梅川林業研究会 | 植樹 | 梅川公園整備 | 地域に親しまれている梅川公園で広葉樹の植樹や下刈りなど地域住民とボランティアで実施した。 | 400,000 |

| 項目 | 整理番号 | 箇所 | 事業主体 | 区分 | 事業名 | 事業の概要 | 補助金額(円) |
|-------|------|-----------------|-------------------------------|-----------------------------|--|--|---------|
| 森をつくる | 20 | 八幡浜市 | 宮内財産区 | 植樹 | 宮内財産区の森整備活動事業 | 地域住民等により植樹活動を行う。 | 120,000 |
| | 21 | 伊予市 | えひめ森林ボランティア連絡協議会 | 植樹 | 彩の森づくり事業 | えひめ森林公園において広葉樹の植栽を行った。 | 469,000 |
| | 22 | 西条市 | 竹林をよくする会 | 竹林整備 | チップパー機による竹林整備と竹の利用事業 | 放置竹林をチップパー機を活用して間伐し、炭や堆肥に活用することによって、竹林整備の必要性と竹の有用性を普及できた。 | 303,000 |
| | 23 | 伊予市 | 市場里山ボランティア会 | 竹林整備 | 市場の放置竹林の整備と遊歩道整備・石淵池奥の湿地復活活動 | 地域住民が訪れなくなった「市場里山」の放置竹林を伐採整理し、炭焼きや植樹を行う里山づくりを行った。 | 281,000 |
| | 24 | 西条市 | 高知里山を愛する会 | 竹林整備 | 竹林の整備と竹の有効活用 | 放置竹林を地域住民により整備し、伐採した竹の有効活用を図る事により、森林環境保全についての意識の高揚と理解を深めることが出来た。 | 354,000 |
| | 25 | 西条市 | NPO法人石鎚山の学校 | 環境整備 | 石鎚山の学校2009 | 石鎚山頂周辺の森林で、自然観察、森林整備体験会を開催し、その成果をまとめた新聞を作成した。 | 431,000 |
| | 26 | 今治市 | NPO法人グリーンキャンドゥ | 環境整備 | 法王ヶ原松林整備 | 県指定景勝地「法王ヶ原」の松林を守るため地域住民が下刈りや植樹などの保全活動を行った。 | 433,000 |
| | 27 | 松山市 | 松山子ども夢ひろば | 環境整備 | こどもの森づくり・森の学校 | 松山市総合公園内の森林で、間伐体験などの里山整備に子どもが参加する森の学校を開催した。 | 360,000 |
| | 28 | 松山市 | えひめ地域づくりネットワーク | 環境整備 | みんなの里山づくり | 松山市窪野の里山を、地域住民と市内の小学生とが共同で交流しながら整備した。 | 335,000 |
| | 29 | 松山市 | 久米里山づくり委員会 | 環境整備 | 久米里山づくり(森の養育学校) | これまで整備してきた「久米里山」を補修するとともに、地元小学校と連携し植樹活動や竹炭づくりなどを行った。 | 282,000 |
| | 30 | 西条市 | 西条地産地消の家づくり推進協議会 | 木材普及 | 西条地産地消の家づくり推進 | 地域材の地産地消への関心を高めるため、木造の家づくりの講習会や間伐体験会などを開催した。 | 396,000 |
| | 31 | 今治市 | 越智今治地域「地産地消の家づくり」推進協議会 | 木材普及 | 越智今治地域「地産地消の家づくり」推進 | 地域材の地産地消への関心を高めるため、木造の家づくりの講習会や間伐体験会などを開催した。 | 500,000 |
| 32 | 松山市 | 愛媛県森林組合職員連盟本会支部 | 木材普及 | 木材市売り体験・間伐材を使った公園施設修復ボランティア | 木材や木材価格への理解を深める講習会を開催するとともに「えひめ森林公園」内のベンチを地域材を使用し修復した。 | 500,000 | |
| 木をつかう | 33 | 東温市 | えひめ千年の森をつくる会 | 木材普及 | 県産材の家づくりを学ぶセミナー | ボランティア活動で手入れしている森林(木材)を生かして使うため、森から家までの流れを学ぶセミナーを行った。 | 500,000 |
| | 34 | 大洲市 | 大洲喜多地産地消の家づくり協議会 | 木材普及 | 大洲喜多地産地消の家づくり促進 | 地域材の地産地消への関心を高めるため、住宅見学会や講習会、植樹体験会などを行った。 | 500,000 |
| | 35 | 宇和島市 | 立正保育園 たちばな保護者会 | 木材普及 | 森とあそぼう | 立正保育園の保護者会が、地域材を使用した木製遊具を保育園の裏山に設置し、園児の森や木材への関心を高めることができた。 | 598,000 |
| | 36 | 西条市 | 西条市グリーン・ツーリズム推進協議会 | 木材普及 | グリーン・ツーリズム施設における地域材を活用した体験教室・情報発信 | グリーン・ツーリズムの推進のため、地域材を活用した案内看板を作成し、設置した。 | 0 |
| | 37 | 松山市 | NPO法人クオリティアンドコミュニケーション オブ アーツ | 木材普及 | 「キャラ森の不思議なクリスマス」商店街の森をつくるプロジェクト | 県民への森に対する関心を高めるため、小学生を対象にクリスマスツリーによる森づくりの制作ワークショップの開催及び展示を行った。 | 588,000 |
| | 38 | 松山市 | 愛媛県森林組合連合会労働組合 | 木材普及 | 間伐材を使った木製ベンチ作り | 木製ベンチの製作を通じて木製品の普及を推進した。 | 479,000 |
| | 39 | 松山市 | 特定非営利活動法人自然環境教育えことのは | 木工 | 樹木の解説および県産材を使った調度品づくりその2 | 木材について学びながら、県産材を使った家庭での調度品(ラックなど)づくり体験会(年10回)開催した。 | 500,000 |

| 項目 | 整理番号 | 箇所 | 事業主体 | 区分 | 事業名 | 事業の概要 | 補助金額(円) |
|-----------------------|------|-------|--------------------|------|-------------------------|--|---------|
| 木 を つ か う | 40 | 松山市 | 木でつながるなかま「円い森」 | 木工 | 木を使って山につながる その3 | 木製玩具作家を講師に、木を学び、木にふれ楽しむ木工教室を開催した。 | 165,000 |
| | 41 | 松山市 | NPO法人JMACS | 木工 | 遊友学舎の木工教室 | 松山市の小学生を対象に、定期的(毎月2回)に木工教室を開催した。 | 500,000 |
| | 42 | 松山市 | チームプロジェクト与作 | 木工 | プロジェクト与作(里山再生プログラム) | 小学生から大学生を対象に、木材の循環利用を考える、地域材を使用したベンチの組立体験会を開催した。 | 487,000 |
| | 43 | 松山市 | NPO法人アジアフィルムネットワーク | 木工 | あおぞらクラフト | 木工広場を開催し、間伐材にふれる機会の創出により、世代間、地域間の交流などを促進し森林との共生文化を育むことができた。 | 500,000 |
| | 44 | 松山市 | NPO法人自在市場協議会 | 木工 | マイ箸作って、森を考える | 市民の森林環境への意識を高めるため、木工体験やパネル展示を行った。 | 470,000 |
| | 45 | 松山市 | 愛媛木材青年協議会 | 木工 | 仙人掌 其の五 木材フェスティバル | 都市部の小学生が気軽に参加できる木工広場を開催し、森の役割、木の大切さを体験してもらった。 | 207,000 |
| | 46 | 久万高原町 | 久万林業まつり実行委員会 | 木工 | 久万林業まつり親子木工 | 久万林業まつりにあわせて、親子が森林や木材について学び体験できる木工広場を開催し、木のすばらしさを知ってもらうことが出来た。 | 500,000 |
| | 47 | 八幡浜市 | NPO法人かわうそ復活プロジェクト | 木工 | 巣箱づくりとプッポウソウの保全活動 | 地域の小学生が、巣箱づくり(木工)や巣箱架けを通して、森林・木材や自然への理解を深めた。 | 0 |
| | 48 | 西予市 | 元気みやのうら | 木工 | 木材とのふれあい促進 | 地域材を使用したベンチを作製し、地域の小学校や公民館などに設置した。 | 500,000 |
| | 49 | 西予市 | 株式会社 エフシー | 木工 | 親子で木工体験 | 親子が気軽に参加し、森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。 | 300,000 |
| | 50 | 愛南町 | 南宇和地区林業振興会議 | 木工 | 木とのふれあい教室(親子手作り木工広場) | 親子が気軽に参加し、森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。 | 299,000 |
| | 51 | 新居浜市 | あそびじゅくトムソヤ | 木工 | トンギコ木工教室 | 地域の小学生等を対象とした木工教室において木製品を制作し、小学校等の公共施設に設置した。 | 85,000 |
| | 52 | 四国中央市 | 四国中央林業研究グループ連絡協議会 | 木工 | 四国中央木工広場 | 小中学生及びその保護者を対象として地域材を活用した木工広場を開催した。 | 50,000 |
| | 53 | 東温市 | えひめ緑サポータークラブ | 木工 | 県産材を活用した公共施設整備活動 | 県産材を活用してベンチ・プランターを作製し、公共施設に設置した。 | 205,000 |
| | 54 | 西条市 | 西条市環境サポーター | 環境教育 | 西条の巨樹に出会う | 西条市の巨樹を調査のうえ冊子を作成し、巨樹にふれるネイチャーゲームなどのイベントを開催した。 | 472,000 |
| | 55 | 新居浜市 | 夢遊友うずい | 環境教育 | 広葉樹林の整備を通じた森林環境教育 | 新居浜市の大生院小学校と連携して、広葉樹の多面的機能の学習や"しいたけ植菌体験"を実施した。 | 60,000 |
| | 56 | 今治市 | 奈良原さんの自然を育む会 | 環境教育 | 自然林体験学習 | 地域住民に親しまれている檜原山で、地元小中学生を対象にした森林環境教育を行う。 | 330,000 |
| | 57 | 松山市 | 木でつながるなかま「円い森」 | 環境教育 | 出張・山につなぐ楽しい時間 その2 | 県内の幼稚園で「木の玉プール」などを使った木にふれる体験会や森に関するお話を開催した。 | 250,000 |
| | 58 | 松山市 | NPO法人JMACS | 環境教育 | 昆虫教室 - 虫たちは森で何をしているのだろう | 松山市の小学生を対象に、森と昆虫の関わりを学ぶ観察会や学習会を開催する。 | 0 |
| 森とくらす | 59 | 内子町 | 建築者集団「おだの匠」 | 環境教育 | 「おだの匠」と創るタケ文化の再生 | 古民家を利用して竹小舞による土壁や竹炭(調湿材)の活用をととして、竹の有効性を普及し竹文化の再生を図った。 | 490,000 |

| 項目 | 整理番号 | 箇所 | 事業主体 | 区分 | 事業名 | 事業の概要 | 補助金額(円) |
|-------|------|------|----------------------|------|----------------------------------|--|------------|
| 森とくらす | 60 | 西予市 | 中村敬治 | 環境教育 | 地産地消による温暖化防止活動事業 | 市内の小学校でしいたけ栽培に関する学習会を開催した。 | 214,000 |
| | 61 | 松山市 | 特定非営利活動法人自然環境教育えことのは | 環境教育 | 森の時間その5～森や木とのふれあい、年輪を知り、味わう～ | 森の時間の流れを学ぶため、森の樹木や木材の観察、樹木の成長過程等を学ぶ学習会を開催した。 | 335,000 |
| | 62 | 伊予市 | えひめ森の案内人会 | 環境整備 | えひめ森林公園内大木・古木等の樹名板取り付け | えひめ森林公園内の大木・古木等に樹名板を取り付け、森林環境教育を行った。 | 444,000 |
| | 63 | 伊予市 | 森林・自然体験活動連絡会 | 森林体験 | 森林・自然体験活動推進 | 都市住民の森林・自然への理解を深めるため、えひめ森林公園などで、自然体験、ネイチャーゲーム、クラフト教室などを開催した。 | 353,000 |
| | 64 | 松山市 | 子育てサークル「ころぼっくる」 | 森林体験 | ママも学ぼう！自然体験教室 | 児童とその親たちを中心に、自然観察会や木工、竹細工などの自然体験教室を開催した。 | 500,000 |
| | 65 | 松山市 | 焚き火クラブ | 森林体験 | 薪を使ってバイオマス活用 | 間伐材の有効利用(木質バイオマスなど)を普及するため、間伐、薪割り体験会や小学校での木工体験会を開催した。 | 338,000 |
| | 66 | 八幡浜市 | さんきら自然塾 | 森林体験 | 「佐田岬半島・木の実図鑑」作成・配布と「春夏秋冬木の役割観察会」 | 「佐田岬半島・木の実図鑑」を作成・配布した。また、自然観察会やビュッティングを開催した。 | 433,000 |
| | 67 | 松山市 | 久米・森と炭焼きの会 | 炭焼 | ドラム缶窯式炭焼きの普及と森林整備 | 放置森(竹)林問題への関心を高めるため、都市部の市民レベルで炭焼き体験会、竹林整備などを行った。 | 349,000 |
| | 68 | 大洲市 | 平野煙友会 | 炭焼 | 炭焼体験学習会 | 放置竹林や未整備里山の森林整備を行い、不要木で子ども達と炭焼き体験を行った。 | 305,000 |
| | 69 | 大洲市 | 肱川中学校PTA | 炭焼 | 地元材を使った炭焼き体験学習事業 | 肱川町で昔から行われた炭焼きを体験することによって森林環境保全への理解を深めると共に木材の需要拡大を図った。 | 458,000 |
| 合 計 | | | | | | | 25,416,000 |

平成21年度県民活動提案公募事業活動状況

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 1

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | えんとつ山プロジェクト「歴史と環境の森」自然体験学習 | | |
| 事業主体名 | 角野愛護班連絡協議会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 妻鳥 俊彦 | 会 員： 40名 | |
| 事務局住所 | 新居浜市大生院2151-10 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 安孫子尚正 | 電 話： 0897-47-3636 | |
| 実施箇所 | 新居浜市 | | |
| 事業の概要 | 地域のシンボルの「えんとつ山」で、小学生の愛護班が中心となり、間伐や竹林整備などの体験会を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 305,939 円 | 補助金額： 305,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 20 回 | 参加延べ人数： 451 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 2

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | えひめ学生遊々の森 | | |
| 事業主体名 | えひめ学生森林ボランティア | | |
| 代表者名 | 代表者名： 安藤 哲次 | 会 員： 25名 | |
| 事務局住所 | 松山市平井町1486 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 安藤 哲次 | 電 話： 089-975-1434 | |
| 実施箇所 | 砥部町 | | |
| 事業の概要 | 県内の大学生や高校生を対象に、国有林と協定した「えひめ学生遊々の森」で間伐や枝打ちを実施した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 450,488 円 | 補助金額： 450,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 6 回 | 参加延べ人数： 60 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | |
|-------|---|
| 事業名 | 高縄山系(旧北条市)森林環境整備 |
| 事業主体名 | 北条林業研究会 |
| 代表者名 | 代表者名: 河原 茂 会 員: 10名 |
| 事務局住所 | 松山市猪木甲330 |
| 連絡先 | 担当者名: 山崎 幹男 電 話: 089-996-0145 |
| 実施箇所 | 松山市 |
| 事業の概要 | 地域で親しまれている宅並山の登山道沿いの放置林を間伐し、市民の森づくりへの意識向上を図った。 |
| 事業費 | 事業費: 501,118 円 補助金額: 500,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数: 5 回 参加延べ人数: 63 人 |
| 状況写真 |  |

| | |
|-------|--|
| 事業名 | ふくさの森の体験会 |
| 事業主体名 | ふくさの森の会 |
| 代表者名 | 代表者名: 村上 帛子 会 員: 5名 |
| 事務局住所 | 東温市横河原1285 |
| 連絡先 | 担当者名: 村上 帛子 電 話: 089-964-2657 |
| 実施箇所 | 東温市 |
| 事業の概要 | 地域の元集会所とその周辺森林で、森とふれあえる間伐体験、講演会、シイタケ植菌体験など開催した。 |
| 事業費 | 事業費: 427,071 円 補助金額: 425,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数: 22 回 参加延べ人数: 403 人 |
| 状況写真 |  |

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 5

| | | | |
|-------|---|-------------------|-----------|
| 事業名 | バイオマスクリスマスinクールスモール2009 | | |
| 事業主体名 | えひめ千年の森をつくる会 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 鶴見 武道 | 会 員： 270名 |
| | 事務局住所 | 東温市井内甲915-2 | |
| 連絡先 | 担当者名： 鶴見 恵子 | 電 話： 089-966-6251 | |
| 実施箇所 | 東温市 | | |
| 事業の概要 | 間伐材の有効利用の方策として、木質バイオマスの利用を普及するため、間伐体験会やペレットストーブなどの利用体験会を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 434,571 円 | 補助金額： 431,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 3 回 | 参加延べ人数： 255 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 6

| | | | |
|-------|--|-------------------|----------|
| 事業名 | 竜沢寺緑地公園森林浴の森づくり | | |
| 事業主体名 | 城川町林業研究会 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 増田 清 | 会 員： 32名 |
| | 事務局住所 | 西予市城川町下相566-1 | |
| 連絡先 | 担当者名： 三上 宗一 | 電 話： 0894-82-0192 | |
| 実施箇所 | 西予市 | | |
| 事業の概要 | 森林浴全国100選に選定されている「竜沢寺緑地公園」の周辺森林を伐採し、自然に親しむ場を整備を行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 122,632 円 | 補助金額： 122,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： 18 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 7

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 滑床ふれあいの森 | | |
| 事業主体名 | 滑床千年の森をつくる会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 安藤 哲次 | 会 員： 80名 | |
| 事務局住所 | 松山市平井町1486 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 安藤 哲次 | 電 話： 089-975-1434 | |
| 実施箇所 | 松野町 | | |
| 事業の概要 | 源流森林への関心を高めるため、国有林と協定した「滑床ふれあいの森」のヒノキ林の間伐や自然観察を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 496,541 円 | 補助金額： 491,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 6 回 | 参加延べ人数： 67 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 8

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 史跡河後森城跡の中世の森づくり | | |
| 事業主体名 | 森の国山城の会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 佐竹 明 | 会 員： 51名 | |
| 事務局住所 | 松野町松丸343 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 高山 剛 | 電 話： 0895-42-1118 | |
| 実施箇所 | 松野町 | | |
| 事業の概要 | 放置されている里山を、地域住民により整備（間伐、下刈り）し、自然観察会を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 240,290 円 | 補助金額： 240,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 2 回 | 参加延べ人数： 21 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 間伐

整理番号 61

| | | | |
|---|--|-------------------|--|
| 事業名 | 森林の再生と間伐材の有効活用を図る | | |
| 事業主体名 | 特定非営利活動法人 倫理生活指導センター | | |
| 代表者名 | 代表者名： 井上 富男 | 会 員： 510名 | |
| 事務局住所 | 四国中央市寒川738-1 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 加地 慶吾 | 電 話： 0896-24-5911 | |
| 実施箇所 | 四国中央市 | | |
| 事業の概要 | 地域の森林の間伐作業を行う。また、産出された間伐材を活用して親子木工教室を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 580,052 円 | 補助金額： 539,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 25 回 | 参加延べ人数： 313 人 | |
|  | | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 9

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 石鎚水源の森づくり | | |
| 事業主体名 | 東予流域林業活性化センター | | |
| 代表者名 | 代表者名： 伊藤 宏太郎 | 会 員： 277名 | |
| 事務局住所 | 西条市大町1211 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 上野 清七 | 電 話： 0897-55-0880 | |
| 実施箇所 | 西条市 | | |
| 事業の概要 | 川下住民が、放置森林の間伐や山桜の植樹を行うことにより保水力の高い水源林づくりを行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 499,390 円 | 補助金額： 499,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 9 回 | 参加延べ人数： 381 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 10

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 森を取り戻そうプロジェクト | | |
| 事業主体名 | にいはま環境市民会議 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 真鍋 昌裕 | 会 員： 42名 | |
| 事務局住所 | 新居浜市八幡2-1-36 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 堀田 一昌 | 電 話： 0897-37-0618 | |
| 実施箇所 | 新居浜市 | | |
| 事業の概要 | 市民から参加を募り、植樹、下刈り、枝打ちなどとおして、混交林の森づくりを行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 499,835 円 | 補助金額： 498,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 7 回 | 参加延べ人数： 215 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 11

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | えひめ学生の森 | | |
| 事業主体名 | えひめ学生森林ボランティア | | |
| 代表者名 | 代表者名： 安藤 哲次 | 会 員： 25名 | |
| 事務局住所 | 松山市平井町1486 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 安藤 哲次 | 電 話： 089-975-1434 | |
| 実施箇所 | 東温市 | | |
| 事業の概要 | 県内の大学生や高校生を対象に、東温市の「えひめ学生の森」で植樹などを実施した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 499,167 円 | 補助金額： 498,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 6 回 | 参加延べ人数： 50 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 12

| | | | |
|-------|---|-------------------|-------|
| 事業名 | 森とくらす活動(植樹等) | | |
| 事業主体名 | 宅並山を育てる会 | | |
| 代表者名 | 代表者名: 有田 晋作 | 会 員: 109名 | |
| 事務局住所 | 松山市二番町4丁目7-2 | | |
| 連絡先 | 担当者名: 大森 武志 | 電 話: 089-948-6735 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 地域住民に親しまれる「宅並山」を整備するとともに、地元小学校と連携し、桜・紅葉などの植樹活動を行った。 | | |
| 事業費 | 事業費: 462,868 円 | 補助金額: 460,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数: 9 回 | 参加延べ人数: | 501 人 |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 13

| | | | |
|-------|--|-------------------|-------|
| 事業名 | 明神ヶ鼻ドングリの森づくり | | |
| 事業主体名 | 松山市小野公民館上苅屋分館 | | |
| 代表者名 | 代表者名: 山本 良之 | 会 員: 178世帯 | |
| 事務局住所 | 松山市平井町1113 | | |
| 連絡先 | 担当者名: 川崎 運徳 | 電 話: 089-975-4521 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 地域に親しまれる里山を整備するため、地域住民がクヌギなどの広葉樹を植樹した。 | | |
| 事業費 | 事業費: 437,330 円 | 補助金額: 437,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数: 1 回 | 参加延べ人数: | 125 人 |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 14

| | |
|-------|---|
| 事業名 | 里山を再生して子どもと一緒に遊ぼう(パート) |
| 事業主体名 | NPO法人松山子ども劇場21 |
| 代表者名 | 代表者名: 中矢 操 会 員: 400名 |
| 事務局住所 | 松山市三番町6-5-7 |
| 連絡先 | 担当者名: 岡本 久美子 電 話: 089-945-0031 |
| 実施箇所 | 松山市 |
| 事業の概要 | 子ども達と一緒に整備している里山「とよかたの森」の林内整理や植樹によって、より活動しやすいフィールドに整備を行った。 |
| 事業費 | 事業費: 297,109 円 補助金額: 293,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数: 10 回 参加延べ人数: 157 人 |
| 状況写真 |  |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 15

| | |
|-------|--|
| 事業名 | 日浦の森はみんなの森 |
| 事業主体名 | 松山市立日浦小・中学校PTA |
| 代表者名 | 代表者名: 井上 正典 会 員: 75名 |
| 事務局住所 | 松山市河中町甲79-2 |
| 連絡先 | 担当者名: 越智 裕子 電 話: 089-977-2798 |
| 実施箇所 | 松山市 |
| 事業の概要 | 小中学校のPTAが、日浦地域の森林への理解を高める活動として、植樹や炭焼きなど体験会を開催した。 |
| 事業費 | 事業費: 500,043 円 補助金額: 500,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数: 6 回 参加延べ人数: 360 人 |
| 状況写真 |  |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 16

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 森を体感してみよう「オイスカの森」INえひめ | | |
| 事業主体名 | オイスカ愛媛県支局 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 宮嶋 祥式 | 会 員： 147名 | |
| 事務局住所 | 松山市鷹子町588-3 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 佐々木 みか | 電 話： 089-970-3100 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 松山市民の水源林への関心を高めるため、水源かん養林の下刈りや広葉樹の植樹などを行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 584,884 円 | 補助金額： 500,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 12 回 | 参加延べ人数： 709 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 17

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | さくらの里づくり | | |
| 事業主体名 | 柳谷壮年会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 矢野 文隆 | 会 員： 93名 | |
| 事務局住所 | 上浮穴郡久万高原町柳井川923 (久万高原町役場柳谷支所内) | | |
| 連絡先 | 担当者名： 三本 一雄 | 電 話： 0892-54-2121 | |
| 実施箇所 | 久万高原町 | | |
| 事業の概要 | 急速に過疎化が進み放置森林が増加している久万高原町柳谷地区に「ふるさとづくり」として桜を植樹した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 306,350 円 | 補助金額： 300,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 6 回 | 参加延べ人数： 513 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 18

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 梅川公園整備 | | |
| 事業主体名 | 梅川林業研究会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 岩田 昇 | 会 員： 18名 | |
| 事務局住所 | 大洲市菅田町菅田甲1954-42 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 尾上 義広 | 電 話： 0893-25-4030 | |
| 実施箇所 | 大洲市 | | |
| 事業の概要 | 地域に親しまれている梅川公園で広葉樹の植樹や下刈りなど地域住民とボランティアで実施した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 400,000 円 | 補助金額： 400,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 5 回 | 参加延べ人数： 62 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 植樹

整理番号 58

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 宮内財産区の森整備活動事業 | | |
| 事業主体名 | 宮内財産区 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 武内 信衛 | 会 員： 3,698名 | |
| 事務局住所 | 八幡浜市保内町宮内1番耕地260 (八幡浜市役所保内庁内) | | |
| 連絡先 | 担当者名： 小野 良二 | 電 話： 0894-22-3111 | |
| 実施箇所 | 八幡浜市 | | |
| 事業の概要 | 地域住民等により植樹活動を行う。 | | |
| 事業費 | 事業費： 120,000 円 | 補助金額： 120,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 2 回 | 参加延べ人数： 67 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 彩の森づくり事業 | | |
| 事業主体名 | えひめ森林ボランティア連絡協議会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 鶴見 武道 | 会 員： 3,042名 | |
| 事務局住所 | 東温市田窪743 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 安藤 哲次 | 電 話： 089-990-7017 | |
| 実施箇所 | 伊予市 | | |
| 事業の概要 | えひめ森林公園において広葉樹の植栽を行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 469,100 円 | 補助金額： 469,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： 29 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | チップパー機による竹林整備と竹の利用事業 | | |
| 事業主体名 | 竹林をよくする会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 青木 延行 | 会 員： 70名 | |
| 事務局住所 | 西条市兎之山甲201-1 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 前 弘之 | 電 話： 0897-53-3778 | |
| 実施箇所 | 西条市 | | |
| 事業の概要 | 放置竹林をチップパー機を活用して間伐し、炭や堆肥に活用することによって、竹林整備の必要性と竹の有用性を普及できた。 | | |
| 事業費 | 事業費： 303,231 円 | 補助金額： 303,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 23 回 | 参加延べ人数： 925 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 竹林整備

整理番号 20

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 市場の放置竹林の整備と遊歩道整備・石淵池奥の湿地復活活動 | | |
| 事業主体名 | 市場里山ボランティア会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 佐伯 美一 | 会 員： 5名 | |
| 事務局住所 | 伊予市市場甲636-1 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 佐伯 美一 | 電 話： 089-982-6977 | |
| 実施箇所 | 伊予市 | | |
| 事業の概要 | 地域住民が訪れなくなった「市場里山」の放置竹林を伐採整理し、炭焼きや植樹を行う里山づくりを行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 283,137 円 | 補助金額： 281,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 65 回 | 参加延べ人数： 116 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 竹林整備

整理番号 56

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 竹林の整備と竹の有効活用 | | |
| 事業主体名 | 高知里山を愛する会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 越智 賢二 | 会 員： 11名 | |
| 事務局住所 | 西条市丹原町高知甲670-1 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 越智 賢二 | 電 話： 0898-68-4681 | |
| 実施箇所 | 西条市 | | |
| 事業の概要 | 放置竹林を地域住民により整備し、伐採した竹の有効活用を図る事により、森林環境保全についての意識の高揚と理解を深めることが出来た。 | | |
| 事業費 | 事業費： 357,762 円 | 補助金額： 354,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 10 回 | 参加延べ人数： 113 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森をつくる活動) 環境整備

整理番号 21

| | | | |
|-------|---|-------------------|------|
| 事業名 | 石鎚森の学校2009 | | |
| 事業主体名 | NPO法人石鎚森の学校 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 十亀 興美 | 会 員： 229名 | |
| 事務局住所 | 西条市西田甲797 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 曾我部英司 | 電 話： 0897-52-5275 | |
| 実施箇所 | 西条市 | | |
| 事業の概要 | 石鎚山頂周辺の森林で、自然観察、森林整備体験会を開催し、その成果をまとめた新聞を作成した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 431,270 円 | 補助金額： 431,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 2 回 | 参加延べ人数： | 70 人 |
| 状況写真 |  | | |


(木をつかう活動) 環境整備

整理番号 22

| | | | |
|-------|--|-------------------|-------|
| 事業名 | 法王ヶ原松林整備 | | |
| 事業主体名 | NPO法人グリーンキャンドゥ | | |
| 代表者名 | 代表者名： 木下 良一 | 会 員： 12名 | |
| 事務局住所 | 上島町弓削下弓削524 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 濱村 隆 | 電 話： 0897-77-2193 | |
| 実施箇所 | 今治市 | | |
| 事業の概要 | 県指定景勝地「法王ヶ原」の松林を守るため地域住民が下刈りや植樹などの保全活動を行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 445,750 円 | 補助金額： 433,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 11 回 | 参加延べ人数： | 348 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | こどもの森づくり・森の学校 | | |
| 事業主体名 | 松山こども夢ひろば | | |
| 代表者名 | 代表者名： 小泉 勇治郎 | 会 員： 20名 | |
| 事務局住所 | 松山市朝日ヶ丘2-1-17 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 三好 康晴 | 電 話： 089-923-4080 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 松山市総合公園内の森林で、間伐体験などの里山整備に子どもが参加する森の学校を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 360,197 円 | 補助金額： 360,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 9 回 | 参加延べ人数： 216 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | みんなの里山づくり | | |
| 事業主体名 | えひめ地域づくりネットワーク | | |
| 代表者名 | 代表者名： 三好 尚美 | 会 員： 14名 | |
| 事務局住所 | 松山市朝日ヶ丘2-1-17 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 三好 尚美 | 電 話： 089-923-4080 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 松山市窪野の里山を、地域住民と市内の小学生とが共同で交流しながら整備した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 335,176 円 | 補助金額： 335,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 2 回 | 参加延べ人数： 57 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 久米里山づくり(森の饗育学校) | | |
| 事業主体名 | 久米里山づくり委員会 | | |
| 代表者名 | 代表者名: 安永 耕造 | 会 員: 81名 | |
| 事務局住所 | 松山市鷹子町54-3 | | |
| 連絡先 | 担当者名: 仙波 英徳 | 電 話: 089-976-4487 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | これまで整備してきた「久米里山」を補修するとともに、地元小学校と連携し植樹活動や竹炭づくりなどを行った。 | | |
| 事業費 | 事業費: 303,129 円 | 補助金額: 282,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数: 6 回 | 参加延べ人数: 76 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 西条地産地消の家づくり推進 | | |
| 事業主体名 | 西条地産地消の家づくり推進協議会 | | |
| 代表者名 | 代表者名: 宇佐美金正 | 会 員: 33名 | |
| 事務局住所 | 西条市大町1211 | | |
| 連絡先 | 担当者名: 玉置 康文 | 電 話: 0897-56-0180 | |
| 実施箇所 | 西条市 | | |
| 事業の概要 | 地域材の地産地消への関心を高めるため、木造の家づくりの講習会や間伐体験会などを開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費: 402,881 円 | 補助金額: 396,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数: 9 回 | 参加延べ人数: 208 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 27

| | |
|-------|---|
| 事業名 | 越智今治地域「地産地消の家づくり」推進 |
| 事業主体名 | 越智今治地域「地産地消の家づくり」推進協議会 |
| 代表者名 | 代表者名： 越智 彰 会 員： 9名 |
| 事務局住所 | 今治市玉川町法界寺甲114-1 |
| 連絡先 | 担当者名： 越智 盛通 電 話： 0898-55-2001 |
| 実施箇所 | 今治市 |
| 事業の概要 | 地域材の地産地消への関心を高めるため、木造の家づくりの講習会や間伐体験会などを開催した。 |
| 事業費 | 事業費： 531,351 円 補助金額： 500,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： 7 回 参加延べ人数： 282 人 |
| 状況写真 |  |

(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 28

| | |
|-------|--|
| 事業名 | 木材市売り体験・間伐材を使った公園施設修復ボランティア |
| 事業主体名 | 愛媛県森林組合職員連盟本会支部 |
| 代表者名 | 代表者名： 矢野 勉 会 員： 35名 |
| 事務局住所 | 松山市三番町4丁目4-1 |
| 連絡先 | 担当者名： 宮浦 英樹 電 話： 089-941-0164 |
| 実施箇所 | 松山市 |
| 事業の概要 | 木材や木材価格への理解を深める講習会を開催するとともに「えひめ森林公園」内のベンチを地域材を使用し修復した。 |
| 事業費 | 事業費： 502,150 円 補助金額： 500,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 参加延べ人数： 50 人 |
| 状況写真 |  |

| | | | |
|-------|---|-------------------|-----------|
| 事業名 | 県産材の家づくりを学ぶセミナー | | |
| 事業主体名 | えひめ千年の森をつくる会 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 鶴見 武道 | 会 員： 270名 |
| | 事務局住所 | 東温市井内甲915-2 | |
| 連絡先 | 担当者名： 鶴見 恵子 | 電 話： 089-966-6251 | |
| 実施箇所 | 東温市 | | |
| 事業の概要 | ボランティア活動で手入れしている森林（木材）を生かして使うため、森から家までの流れを学ぶセミナーを行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 504,035 円 | 補助金額： 500,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 3 回 | 参加延べ人数： | 61 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|---------|
| 事業名 | 大洲喜多地産地消の家づくり促進 | | |
| 事業主体名 | 大洲喜多地産地消の家づくり協議会 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 谷本 佳市 | 会 員： 7名 |
| | 事務局住所 | 大洲市菅田町菅田甲1954-42 | |
| 連絡先 | 担当者名： 宇都宮 辰生 | 電 話： 0893-25-4030 | |
| 実施箇所 | 大洲市 | | |
| 事業の概要 | 地域材の地産地消への関心を高めるため、住宅見学会や講習会、植樹体験会などを行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 541,004 円 | 補助金額： 500,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 5 回 | 参加延べ人数： | 103 人 |
| 状況写真 |  | | |

(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 31

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 森とあそぼう | | |
| 事業主体名 | 立正保育園 たちばな保護者会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 松島 一芳 | 会 員： 143名 | |
| 事務局住所 | 宇和島市神田川原新 4 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 清家 静元 | 電 話： 0895-22-1377 | |
| 実施箇所 | 宇和島市 | | |
| 事業の概要 | 立正保育園の保護者会が、地域材を使用した木製遊具を保育園の裏山に設置し、園児の森や木材への関心を高めることができた。 | | |
| 事業費 | 事業費： 696,982 円 | 補助金額： 598,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 9 回 | 参加延べ人数： 317 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 65

| | | | |
|-------|--|--------------------|--|
| 事業名 | 「キャラ森の不思議なクリスマス」商店街の森をつくらうプロジェクト | | |
| 事業主体名 | NPO法人クオリティ アンド コミュニケーション オブ アーツ | | |
| 代表者名 | 代表者名： 徳永 高志 | 会 員： 31名 | |
| 事務局住所 | 松山市清水町 3 丁目83 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 田中 教夫 | 電 話： 090-9778-1298 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 県民への森に対する関心を高めるため、小学生を対象にクリスマスツリーによる森づくりの制作ワークショップの開催及び展示を行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 678,319 円 | 補助金額： 588,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 5 回 | 参加延べ人数： 2,797 人 | |
| 状況写真 |  | | |


(木をつかう活動) 木材普及

整理番号 67

| | |
|-------|---|
| 事業名 | 間伐材を使った木製ベンチ作り |
| 事業主体名 | 愛媛県森林組合連合会労働組合 |
| 代表者名 | 代表者名： 高田 浩徳 会 員： 47名 |
| 事務局住所 | 松山市三番町4丁目4-1 |
| 連絡先 | 担当者名： 宮浦 英樹 電 話： 089-941-0164 |
| 実施箇所 | 松山市 |
| 事業の概要 | 木製ベンチの製作を通じて木製品の普及を推進した。 |
| 事業費 | 事業費： 479,776 円 補助金額： 479,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 参加延べ人数： 40 人 |
| 状況写真 |  |

(木をつかう活動) 木工

整理番号 32


| | |
|-------|--|
| 事業名 | 樹木の解説および県産材を使った調度品づくりその2 |
| 事業主体名 | 特定非営利活動法人 自然環境教育えことのは |
| 代表者名 | 代表者名： 斉藤 智子 会 員： 10名 |
| 事務局住所 | 松山市菅沢町乙642-3 |
| 連絡先 | 担当者名： 斉藤 智子 電 話： 089-907-3272 |
| 実施箇所 | 松山市 |
| 事業の概要 | 木材について学びながら、県産材を使ったの家庭での調度品（ラックなど）づくり体験会（年10回）開催した。 |
| 事業費 | 事業費： 501,951 円 補助金額： 500,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： 10 回 参加延べ人数： 100 人 |
| 状況写真 |  |

| | | | |
|-------|---|-------------------|---------|
| 事業名 | 木を使って山につながる その3 | | |
| 事業主体名 | 木でつながるなかま「円い森」 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 高橋 佐智子 | 会 員： 3名 |
| | 事務局住所 | 松山市平田町419 | |
| 連絡先 | 担当者名： 高橋 佐智子 | 電 話： 089-979-6388 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 木製玩具作家を講師に、木を学び、木にふれ楽しむ木工教室を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 183,610 円 | 補助金額： 165,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： | 257 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|----------|
| 事業名 | 遊友学舎の木工教室 | | |
| 事業主体名 | NPO法人JMACS | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 中野 博子 | 会 員： 10名 |
| | 事務局住所 | 松山市千舟町6-1-3 | |
| 連絡先 | 担当者名： 八木恵美子 | 電 話： 089-913-0302 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 松山市の小学生を対象に、定期的（毎月2回）に木工教室を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 508,677 円 | 補助金額： 500,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 8 回 | 参加延べ人数： | 252 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|------------------|--|
| 事業名 | プロジェクト与作(里山再生プログラム) | | |
| 事業主体名 | チームプロジェクト与作 | | |
| 代表者名 | 代表者名: 伊藤 和貴 | 会員: 10名 | |
| 事務局住所 | 松山市樽味3-5-7(愛媛大学農学部内) | | |
| 連絡先 | 担当者名: 伊藤 和貴 | 電話: 089-946-9866 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 小学生から大学生を対象に、木材の循環利用を考える、地域材を使用したベンチの組立体験会を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費: 487,200 円 | 補助金額: 487,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数: 2 回 | 参加延べ人数: 75 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|------------------|--|
| 事業名 | あおぞらクラフト | | |
| 事業主体名 | NPO法人アジアフィルムネットワーク | | |
| 代表者名 | 代表者名: 福岡 晋也 | 会員: 25名 | |
| 事務局住所 | 松山市大街道1丁目3-1 | | |
| 連絡先 | 担当者名: 江戸 恵子 | 電話: 089-934-0310 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 木工広場を開催し、間伐材にふれる機会の創出により、世代間、地域間の交流などを促進し森林との共生文化を育むことができた。 | | |
| 事業費 | 事業費: 523,977 円 | 補助金額: 500,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数: 20 回 | 参加延べ人数: 450 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | マイ箸作って、森を考える | | |
| 事業主体名 | NPO法人自在市場協議会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 菅 啓三 | 会 員： 13名 | |
| 事務局住所 | 松山市来住町1102 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 吉田 啓二 | 電 話： 089-905-8551 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 市民の森林環境への意識を高めるため、木工体験やパネル展示を行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 499,932 円 | 補助金額： 470,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 17 回 | 参加延べ人数： 311 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 杣人座 其の五 木材フェスティバル | | |
| 事業主体名 | 愛媛木材青年協議会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 渡部 康彦 | 会 員： 19名 | |
| 事務局住所 | 松山市西垣生1740 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 石井 和典 | 電 話： 089-973-4111 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 都市部の小学生が気軽に参加できる木工広場を開催し、森の役割、木の大切さを体験してもらった。 | | |
| 事業費 | 事業費： 207,425 円 | 補助金額： 207,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： 163 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 久万林業まつり親子木工 | | |
| 事業主体名 | 久万林業まつり実行委員会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 高野 宗城 | 会 員： 48名 | |
| 事務局住所 | 上浮穴郡久万高原町久万212 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 植本 誠滋 | 電 話： 0892-21-1111 | |
| 実施箇所 | 久万高原町 | | |
| 事業の概要 | 久万林業まつりにあわせて、親子が森林や木材について学び体験できる木工広場を開催し、木のすばらしさを知ってもらうことが出来た。 | | |
| 事業費 | 事業費： 500,000 円 | 補助金額： 500,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： 408 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 木材とのふれあい促進 | | |
| 事業主体名 | 元気みやのうら | | |
| 代表者名 | 代表者名： 松島 義幸 | 会 員： 15名 | |
| 事務局住所 | 西予市明浜町高浜甲461-1 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 土居 賢一 | 電 話： 0894-64-1330 | |
| 実施箇所 | 西予市 | | |
| 事業の概要 | 地域材を使用したベンチを作製し、地域の小学校や公民館などに設置した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 532,000 円 | 補助金額： 500,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 3 回 | 参加延べ人数： 52 人 | |
| 状況写真 |  | | |


| | | | |
|-------|---|-------------------|------|
| 事業名 | 親子で木工体験 | | |
| 事業主体名 | 株式会社 エフシー | | |
| 代表者名 | 代表者名： 三瀬 逸雄 | 会 員： 31名 | |
| 事務局住所 | 西予市城川町下相566-1 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 三上 宗一 | 電 話： 0894-82-0192 | |
| 実施箇所 | 西予市 | | |
| 事業の概要 | 親子が気軽に参加し、森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 300,980 円 | 補助金額： 300,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 2 回 | 参加延べ人数： | 81 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|-------|
| 事業名 | 木とのふれあい教室(親子手作り木工広場) | | |
| 事業主体名 | 南宇和地区林材業振興会議 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 清水 雅文 | | |
| 事務局住所 | 南宇和郡愛南町御荘平城3048 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 武智 潔 | 電 話： 0895-72-0931 | |
| 実施箇所 | 愛南町 | | |
| 事業の概要 | 親子が気軽に参加し、森林や木材について学び体験できる木工広場を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 299,905 円 | 補助金額： 299,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： | 370 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|----------|
| 事業名 | トンギコ木工教室 | | |
| 事業主体名 | あそびじゅくトムソーヤ | | |
| 代表者名 | 代表者名： 角田 武博 | 会 員： 6名 | |
| 事務局住所 | 新居浜市大生院215-1-107 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 角田 武博 | 電 話： 0897-41-8339 | |
| 実施箇所 | 新居浜市 | | |
| 事業の概要 | 地域の小学生等を対象とした木工教室において木製品を制作し、小学校等の公共施設に設置した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 90,384 円 | 補助金額： | 85,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： 3 回 | 参加延べ人数： | 94 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|----------|
| 事業名 | 四国中央木工広場 | | |
| 事業主体名 | 四国中央林業研究グループ連絡協議会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 石村 憲一 | 会 員： 39名 | |
| 事務局住所 | 四国中央市三島宮川4-6-53 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 石川 実 | 電 話： 0896-23-2393 | |
| 実施箇所 | 四国中央市 | | |
| 事業の概要 | 小中学生及びその保護者を対象として地域材を活用した木工広場を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 51,094 円 | 補助金額： | 50,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： | 273 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 県産材を活用した公共施設整備活動 | | |
| 事業主体名 | えひめ緑サポータークラブ | | |
| 代表者名 | 代表者名： 横山 久馬二 | 会 員： 54名 | |
| 事務局住所 | 東温市田窪743 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 成瀬 要三 | 電 話： 089-990-7017 | |
| 実施箇所 | 東温市 | | |
| 事業の概要 | 県産材を活用してベンチ・プランターを作製し、公共施設に設置した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 205,209 円 | 補助金額： 205,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： 20 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 西条の巨樹に出会う | | |
| 事業主体名 | 西条市環境サポーター | | |
| 代表者名 | 代表者名： 伊藤 英昭 | 会 員： 8名 | |
| 事務局住所 | 西条市明屋敷164 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 永井 礼子 | 電 話： 0897-52-1221 | |
| 実施箇所 | 西条市 | | |
| 事業の概要 | 西条市の巨樹を調査のうえ冊子を作成し、巨樹にふれるネイチャーゲームなどのイベントを開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 472,504 円 | 補助金額： 472,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 4 回 | 参加延べ人数： 40 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--------------|
| 事業名 | 広葉樹林の整備を通じた森林環境教育 | | |
| 事業主体名 | 夢遊友うずい | | |
| 代表者名 | 代表者名： 内藤 正盛 | 会 員： 50名 | |
| 事務局住所 | 新居浜市大生院1599-5 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 神野 泰次 | 電 話： 0897-43-3104 | |
| 実施箇所 | 新居浜市 | | |
| 事業の概要 | 新居浜市の大生院小学校と連携して、広葉樹の多面的機能の学習や”しいたけ植菌体験”を実施した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 61,740 円 | 補助金額： | 60,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： | 1 回 | 参加延べ人数： 49 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|---------------|
| 事業名 | 自然林体験学習 | | |
| 事業主体名 | 奈良原さんの自然を育む会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 青井 三郎 | 会 員： 66名 | |
| 事務局住所 | 今治市北日吉町3丁目2-28 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 門田 文夫 | 電 話： 0898-22-3251 | |
| 実施箇所 | 今治市 | | |
| 事業の概要 | 地域住民に親しまれている檜原山で、地元小中学生を対象にした森林環境教育を行う。 | | |
| 事業費 | 事業費： 332,564 円 | 補助金額： | 330,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： | 6 回 | 参加延べ人数： 159 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-----------------|-------------------|
| 事業名 | 出張・山につなぐ楽しい時間 その2 | | |
| 事業主体名 | 木でつながるなかま「円い森」 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 高橋 佐智子 | 会 員： 3名 |
| | 事務局住所 | 松山市平田町419 | |
| | 連絡先 | 担当者名： 高橋 佐智子 | 電 話： 089-979-6388 |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 県内の幼稚園で「木の玉プール」などを使った木にふれる体験会や森に関するお話会を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 262,468 円 | 補助金額： 250,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 12 回 | 参加延べ人数： 1,471 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-----------------|-------------------|
| 事業名 | 「おだの匠」と創るタケ文化の再生 | | |
| 事業主体名 | 建築者集団「おだの匠」 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 上野 栄治 | 会 員： 25名 |
| | 事務局住所 | 喜多郡内子町小田81 | |
| | 連絡先 | 担当者名： 上野 栄治 | 電 話： 0892-52-2144 |
| 実施箇所 | 内子町 | | |
| 事業の概要 | 古民家を利用して竹小舞による土壁や竹炭（調湿材）の活用をとおして、竹の有効性を普及し竹文化の再生を図った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 505,700 円 | 補助金額： 490,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 11 回 | 参加延べ人数： 86 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 地産地消による温暖化防止活動事業 | | |
| 事業主体名 | 中村敬治 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 中村 敬治 | |
| | 事務局住所 | 西予市宇和町山田1858 | |
| 連絡先 | 担当者名： 中村 敬治 | 電話： 090-7621-3791 | |
| 実施箇所 | 西予市 | | |
| 事業の概要 | 市内の小学校でしいたけ栽培に関する学習会を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 223,072 円 | 補助金額： 214,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 5 回 | 参加延べ人数： 104 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|------------------|---------|
| 事業名 | 森の時間その5～森や木とのふれあい、年輪を知り、味わう～ | | |
| 事業主体名 | 特定非営利活動法人 自然環境教育えことのは | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 斉藤 智子 | 会員： 10名 |
| | 事務局住所 | 松山市菅沢町乙642-3 | |
| 連絡先 | 担当者名： 斉藤 智子 | 電話： 089-907-3272 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 森の時間の流れを学ぶため、森の樹木や木材の観察、樹木の成長過程等を学ぶ学習会を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 335,254 円 | 補助金額： 335,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 1 回 | 参加延べ人数： 36 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|-----------|
| 事業名 | えひめ森林公園内大木・古木等の樹名板取り付け | | |
| 事業主体名 | えひめ森の案内人会 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 白石 博文 | 会 員： 109名 |
| | 事務局住所 | 砥部町川井214-23 | |
| 連絡先 | 担当者名： 丹 慶一 | 電 話： 089-962-5663 | |
| 実施箇所 | 伊予市 | | |
| 事業の概要 | えひめ森林公園内の大木・古木等に樹名板を取り付け、森林環境教育を行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 444,296 円 | 補助金額： 444,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 6 回 | 参加延べ人数： | 74 人 |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|-----------|
| 事業名 | 森林・自然体験活動推進 | | |
| 事業主体名 | 森林・自然体験活動連絡会 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 近藤 大一 | 会 員： 160名 |
| | 事務局住所 | 松山市南梅本町1147-74 | |
| 連絡先 | 担当者名： 近藤 大一 | 電 話： 089-970-3753 | |
| 実施箇所 | 伊予市 | | |
| 事業の概要 | 都市住民の森林・自然への理解を深めるため、えひめ森林公園などで、自然体験、ネイチャーゲーム、クラフト教室などを開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 353,271 円 | 補助金額： 353,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 8 回 | 参加延べ人数： | 476 人 |
| 状況写真 |  | | |

(森とくらす活動) 森林体験

整理番号 51

| | | | |
|-------|---|--------------|-------------------|
| 事業名 | ママも学ぼう！自然体験教室 | | |
| 事業主体名 | 子育てサークル「ころぼっくる」 | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 井上 千春 | 会 員： 6名 |
| | 事務局住所 | 松山市粟井河原224-1 | |
| | 連絡先 | 担当者名： 井上 千春 | 電 話： 089-994-3071 |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 児童とその親たちを中心に、自然観察会や木工、竹細工などの自然体験教室を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： | 500,737 円 | 補助金額： 500,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： | 14 回 | 参加延べ人数： 188 人 |
| 状況写真 |  | | |

(森とくらす活動) 森林体験

整理番号 52

| | | | |
|-------|--|--------------|-------------------|
| 事業名 | 薪を使ってバイオマス活用 | | |
| 事業主体名 | 焚き火クラブ | | |
| | 代表者名 | 代表者名： 大成 郁生 | 会 員： 18名 |
| | 事務局住所 | 松山市南久米町546-1 | |
| | 連絡先 | 担当者名： 大成 郁生 | 電 話： 089-976-1594 |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 間伐材の有効利用（木質バイオマスなど）を普及するため、間伐、薪割り体験会や小学校での木工体験会を開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： | 338,100 円 | 補助金額： 338,000 円 |
| 活動状況 | 活動回数： | 4 回 | 参加延べ人数： 100 人 |
| 状況写真 |  | | |

(森とくらす活動) 森林体験

整理番号 53

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 「佐田岬半島・木の実図鑑」作成・配布と「春夏秋冬木の役割観察会」 | | |
| 事業主体名 | さんきら自然塾 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 水本 孝志 | 会 員： 30名 | |
| 事務局住所 | 八幡浜市大平1-865-2 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 水本 孝志 | 電 話： 0894-24-4961 | |
| 実施箇所 | 八幡浜市 | | |
| 事業の概要 | 「佐田岬半島・木の実図鑑」を作成・配布した。また、自然観察会やピクニックを開催した。 | | |
| 事業費 | 事業費： 433,050 円 | 補助金額： 433,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 7 回 | 参加延べ人数： 766 人 | |
| 状況写真 |  | | |

(森とくらす活動) 炭焼

整理番号 54

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | ドラム缶窯式炭焼きの普及と森林整備 | | |
| 事業主体名 | 久米・森と炭焼きの会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 片岡 伸二郎 | 会 員： 15名 | |
| 事務局住所 | 松山市来住町1377-4 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 近藤 博道 | 電 話： 089-975-0604 | |
| 実施箇所 | 松山市 | | |
| 事業の概要 | 放置森（竹）林問題への関心を高めるため、都市部の市民レベルで炭焼き体験会、竹林整備などを行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 353,152 円 | 補助金額： 349,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 17 回 | 参加延べ人数： 480 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 事業名 | 炭焼体験学習会 | | |
| 事業主体名 | 平野煙友会 | | |
| 代表者名 | 代表者名： 松平 忠 | 会 員： 10名 | |
| 事務局住所 | 大洲市平野町平地3614-3 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 松平 忠 | 電 話： 0893-23-2130 | |
| 実施箇所 | 大洲市 | | |
| 事業の概要 | 放置竹林や未整備里山の森林整備を行い、不要木で子ども達と炭焼き体験を行った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 305,000 円 | 補助金額： 305,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 9 回 | 参加延べ人数： 185 人 | |
| 状況写真 |  | | |

| | | | |
|-------|--|-------------------|--|
| 事業名 | 地元材を使った炭焼き体験学習事業 | | |
| 事業主体名 | 肱川中学校PTA | | |
| 代表者名 | 代表者名： 大野 建司 | 会 員： 35名 | |
| 事務局住所 | 大洲市肱川町山鳥坂282 | | |
| 連絡先 | 担当者名： 毛利 正寛 | 電 話： 0893-34-2003 | |
| 実施箇所 | 大洲市 | | |
| 事業の概要 | 肱川町で昔から行われた炭焼きを体験することによって森林環境保全への理解を深めると共に木材の需要拡大を図った。 | | |
| 事業費 | 事業費： 458,400 円 | 補助金額： 458,000 円 | |
| 活動状況 | 活動回数： 8 回 | 参加延べ人数： 402 人 | |
| 状況写真 |  | | |

資料編

○愛媛県条例第46号

平成16年12月24日
改正 平成17年7月19日条例第46号

平成20年4月30日条例第42号

愛媛県森林環境税条例を次のように公布する。

愛媛県知事 加 戸 守 行

愛媛県森林環境税条例

(趣旨)

第1条 この条例は、水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策に要する経費の財源を確保するために森林環境税を課するため、県民税の均等割の税率に関し、愛媛県県税賦課徴収条例(昭和25年愛媛県条例第21号。以下「県税条例」という。)の特例を定めるものとする。

(賦課徴収)

第2条 森林環境税は、次条の規定により個人の県民税の均等割の税率に加算し、及び第4条の規定により法人の県民税の均等割の税率に加算して賦課徴収する。

一部改正〔平成20年条例42号〕

(個人の県民税の均等割の税率の特例)

第3条 平成17年度から平成21年度までの各年度分の個人の県民税の均等割の税率は、県税条例第13条第1項第1号の規定にかかわらず、同号に定める額に500円を加算した額とする。

(法人の県民税の均等割の税率の特例)

第4条 平成17年4月1日から平成22年3月31日までの間に開始する各事業年度若しくは各連結事業年度又は当該期間における地方税法(昭和25年法律第226号)第52条第2項第3号の期間に係る法人の県民税の均等割の税率は、県税条例第13条第1項第2号の規定にかかわらず、同号の表の左欄に掲げる法人の区分に応じ、それぞれ当該右欄に定める額に、当該額に100分の5を乗じて得た額を加算した額とする。

一部改正〔平成20年条例42号〕

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

一部改正〔平成17年条例46号〕

(経過措置)

2 平成17年度分の個人の県民税に限り、平成17年1月1日現在において、県内に住所を有することにより均等割の納税義務を負う夫と生計を一にする妻で夫が住所を有する市町村内に住所を有するものに係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例の一部を改正する条例(平成16年愛媛県条例第26号)附則第8項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に200円」とする。

一部改正〔平成17年条例46号〕

3 平成18年度分の個人の県民税に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者(地方税法等の一部を改正する法律(平成17年法律第5号)第1条の規定による改正後の地方税法(以下「新法」という。)の施行地に住所を有しない者を除く。)に係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例(平成17年愛媛県条例第46号)附則第3項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に100円」とする。

追加〔平成17年条例46号〕

4 平成19年度分の個人の県民税に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者(新法の施行地に住所を有しない者を除く。)に係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例(平成17年愛媛県条例第46号)附則第5項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に300円」とする。

追加〔平成17年条例46号〕

附 則(平成17年7月19日条例第46号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年1月1日から施行する。(後略)

(県民税に関する経過措置)

2 第1条の規定による改正後の愛媛県県税賦課徴収条例(以下「新条例」という。)附則第6条の規定は、平成18年度以後の年度分の個人の県民税について適用し、平成17年度分までの個人の県民税については、なお従前の例による。

3 平成18年度分の個人の県民税の均等割に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者(地方税法等の一部を改正する法律(平成17年法律第5号)第1条の規定による改正後の地方税法(昭和25年法律第226号。以下「新法」という。)の施行地に住所を有しない者を除く。)に係る新条例第13条第1項の規定の適用については、同項第1号中「1,000円」とあるのは、「300円」とする。

4 県は、平成18年度分の個人の県民税の所得割に限り、所得割の納税義務者で、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であったものの所得割(新条例第13条第3項に規定する分離課税に係る所得割を除く。以下この項において同じ。)については、新条例の規定中所得割に関する部分(新条例第16条を除く。)を適用した場合における所得割の額から、当該額の3分の2に相当する額を控除するものとする。この場合における新条例第16条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例(平成17年愛媛県条例第46号)附則第4項」とする。

5 平成19年度分の個人の県民税の均等割に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者(新法の施行地に住所を有しない者を除く。)に係る新条例第13条第1項の規定の適用については、同項第1号中「1,000円」とあるのは、「600円」とする。

6 県は、平成19年度分の個人の県民税の所得割に限り、所得割の納税義務者で、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であったものの所得割(新条例第13条第3項に規定する分離課税に係る所得割を除く。以下この項において同じ。)については、新条例の規定中所得割に関する部分(新条例第16条を除く。)を適用した場合における所得割の額から、当該額の3分の1に相当する額を控除するものとする。この場合における新条例第16条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例(平成17年愛媛県条例第46号)附則第6項」とする

附 則(平成20年4月30日条例第42号抄)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

○愛媛県条例第50号

愛媛県森林環境保全基金条例を次のように公布する。

平成16年12月24日

愛媛県知事 加 戸 守 行

愛媛県森林環境保全基金条例

(設置)

第1条 水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策を推進するため、森林環境保全基金（以下「基金」という。）を設置する。

(積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、愛媛県森林環境税条例（平成16年愛媛県条例第46号）の規定による森林環境税の収入額に相当する額から賦課徴収に要する費用を控除した額で一般会計歳入歳出予算（以下「予算」という。）で定める額とする。

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(運用益金の処理)

第4条 基金の運用から生ずる収益は、予算に計上して、基金に編入する。

(処分)

第5条 基金は、第1条の目的を達成するための事業に要する経費並びに基金の管理及び運営に要する経費に充てるため、その全部又は一部を処分することができる。

(繰替運用)

第6条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(愛媛県森林環境保全基金運営委員会)

第7条 第5条に規定する事業に関する事項その他基金に関する事項を調査審議させる等のため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、学識経験のある者その他適当と認められる者のうちから、知事が委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、基金の管理及び運営に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿

選任数：10名

任 期：平成21年4月1日～平成23年3月31日（2年間）

（五十音順）

| 選任区分 | 氏名 | 職名 | 備考 |
|-----------|--------------------|--------------------|------|
| 木材関係者 | おか しんじ 岡 慎治 | 前愛媛木材青年協議会会長 | |
| 消費者代表 | おやまだ けいこ 小山田 敬子 | 前えひめ消費生活センター友の会会長 | 副委員長 |
| ボランティア関係者 | きくち おさむ 菊池 修 | えひめNPOセンター代表理事 | |
| 学識経験者 | しらいし まさや 白石 雅也 | 愛媛大学名誉教授 | 委員長 |
| 漁業関係者 | たけべ つきみ 武部 月美 | 前愛媛県漁協女性部連合会副会長 | |
| 一般県民 | たけもり まりえ 竹森 まりえ | WEB企画制作 | |
| 福祉関係者 | なかにし のりこ 中西 典子 | 愛媛大学教育学部准教授 | |
| 森林所有者 | ますだ きよし 増田 清 | 愛媛県林業研究グループ連絡協議会会長 | |
| 環境教育関係者 | やまだ ゆみ 山田 由美 | 前愛媛県PTA連合会副会長 | |
| 企業関係者 | やまもと いさお 山本 功 | 愛媛県中小企業団体中央会会長 | |

森林環境税普及啓発用ポスター・シンボルマーク

ポスター（平成17年10月選定）

<作者>

- | | | | | |
|---|----|---|-----|------------|
| 1 | いし | だ | じゅん | 今治市立常盤小学校 |
| 2 | きく | ち | のり | 八幡浜市立日土小学校 |
| 3 | なか | が | ゆき | 県立三島高等学校 |
| 4 | ひら | わ | ま | 県立今治工業高等学校 |
| 5 | ぶく | は | まい | 県立三崎高等学校 |
| | 福 | 原 | あや | |
| | | だ | 礼 | |
| | | 田 | 子 | |
| | | | か | |
| | | | 花 | |



シンボルマーク

<デザイン作者>

いけ だ まさ よ 一般 （平成17年10月選定）
池 田 正 誉

“えひめの森を吹き抜けるさわやかな風、その風に髪をなびかせ森を育む愛媛の子供達”を表現するため、EHIMEの「E」の文字をコンセプトに、明るく元気に森を守り育てる愛媛の子供をイメージしてデザイン化しました。

<愛称作者>

たか つき ゆう ま 県立松山南高等学校
高 月 悠 馬

（平成18年10月選定）



愛称 E~もりくん

税制度の概要

| 納める方式 | 県民税均等割上乘せ課税方式（法定普通税） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-----------|----|-----------|-------|----------|---------|-------------|----------|---------|------------|----------|--------|---------------|---------|--------|------|---------|--------|
| 納める人 | 県内に住所、事業所などがある個人・法人 （個人県民税及び法人県民税の均等割の納税義務者） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 納める額 | <p><個人> 年額500円 年齢65歳以上で前年の所得が125万円以下の者については、平成18年度分は100円、平成19年度分は300円になります。</p> <p><法人> 県税条例で定める均等割額の5%相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資本等の金額の区分</th> <th>税率</th> <th>左のうち森林環境税</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50億円超</td> <td>840,000円</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>10億円超50億円以下</td> <td>567,000円</td> <td>27,000円</td> </tr> <tr> <td>1億円超10億円以下</td> <td>136,500円</td> <td>6,500円</td> </tr> <tr> <td>1,000万円超1億円以下</td> <td>52,500円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>21,000円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table> | 資本等の金額の区分 | 税率 | 左のうち森林環境税 | 50億円超 | 840,000円 | 40,000円 | 10億円超50億円以下 | 567,000円 | 27,000円 | 1億円超10億円以下 | 136,500円 | 6,500円 | 1,000万円超1億円以下 | 52,500円 | 2,500円 | 上記以外 | 21,000円 | 1,000円 |
| 資本等の金額の区分 | 税率 | 左のうち森林環境税 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50億円超 | 840,000円 | 40,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10億円超50億円以下 | 567,000円 | 27,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1億円超10億円以下 | 136,500円 | 6,500円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1,000万円超1億円以下 | 52,500円 | 2,500円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上記以外 | 21,000円 | 1,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 納める方法 | <p>個人県民税は市町が給与所得者は特別徴収、事業所得者等は普通徴収、法人県民税は法人が県に申告納付します。</p> <p><個人の場合></p> <p><法人の場合></p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 税收の管理 | 森林環境税は普通税として徴収しますが、その目的を明確にするため、基金に積み立て、基金運営委員会を設置することにより適正に管理します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施期間 | 実施期間は5年間とし、期間満了時に見直し・検討を行います。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

お問い合わせ

〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2 愛媛県庁
農林水産部森林局森林整備課保護緑化係
 TEL 089-912-2597 FAX 089-912-2594

〒791-0212 東温市田窪743
森の交流センター
 TEL 089-990-7017 FAX 089-990-7073
<http://www.pref.ehime.jp/index.jsp>